（様式第10）

附総 番 7768 号

令和 4 年 10 月 3 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 公立大学法人 横浜市立大学

理事長 小山内 いづ美

公立大学法人横浜市立大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和 3 年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2
氏名	公立大学法人横浜市立大学 理事長 小山内 いづ美

（注） 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

公立大学法人横浜市立大学附属病院

3 所在の場所

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦3-9
電話（ 045 ） 787 － 2800

4 診療科名

4－1 標榜する診療科名の区分

○	1	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
	2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

（注） 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	

内科と組み合わせた診療科名等							
	1呼吸器内科		2消化器内科		3循環器内科		4腎臓内科
○	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							

（注） 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

（2）外科

外科							
外科と組み合わせた診療科名							
	1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科		8小児外科
診療実績							

（注）　1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に〇印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

（3）その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

（注）　標榜している診療科名に〇印を付けること。

（4）歯科

歯科					有
歯科と組み合わせた診療科名					
	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科
歯科の診療体制					

（注）　1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に〇印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

（5）（1）～（4）以外でその他に標榜している診療科名

1	呼吸器科	2	循環器科	3	消化器科	4	リハビリテーショ	5	形成外科
6	病理診断科	7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

（注）　標榜している診療科名について記入すること。

5　病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
26		16		632	674

（単位：床）

６　医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	461	27	488
歯科医師	15	1.1	16.1
薬剤師	50	12	59.7
保健師	0	0	0
助産師	43	1	43.8
看護師	757	42	776.4
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	3	3	5.9
管理栄養士	11	1	11.8

職種	員数
看護補助者	59
理学療法士	16
作業療法士	7
視能訓練士	5
義肢装具士	0
臨床工学士	17
栄養士	0
歯科技工士	1
診療放射線技師	49

職種		員数
診療エックス線技師		0
臨床検査	臨床検査技師	74
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師		0
医療社会事業従事者		12
その他の技術員		17
事務職員		208
その他の職員		2

（注）　1　報告書を提出する年度の10月１日現在の員数を記入すること。
2　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

７　専門の医師数

専門医名	人数（人）	専門医名	人数（人）
総合内科専門医	79	眼科専門医	8
外科専門医	39	耳鼻咽喉科専門医	10
精神科専門医	10	放射線科専門医	21
小児科専門医	19	脳神経外科専門医	12
皮膚科専門医	8	整形外科専門医	16
泌尿器科専門医	9	麻酔科専門医	28
産婦人科専門医	16	救急科専門医	7
		合計	282

（注）　1　報告書を提出する年度の10月１日現在の員数を記入すること。
2　人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

８　管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名　（　後藤　隆久　）　任命年月日　令和　2　年　4　月　1 日

医療安全管理責任者（統括安全管理者）の経験を有する。

９　前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
１日当たり平均入院患者数	496　人	15　人	511　人
１日当たり平均外来患者数	1738　人	79　人	1818　人
１日当たり平均調剤数	602　剤		
必要医師数	149　人		

必要歯科医師数	2	人
必要薬剤師数	18	人
必要（准）看護師数	317	人

（注）　1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	195 ㎡	鉄骨造	病床数	8 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	［固定式の場合］	床面積	11.55～13.43 ㎡		病床数 13	床
	［移動式の場合］	台数	台			
医薬品情報管理室	［専用室の場合］	床面積	32			㎡
	［共用室の場合］	共用する室名				
化学検査室	1278 ㎡	鉄骨造	（主な設備）	生化学多項目自動分析装置 検体前処理・搬送システム		
細菌検査室	145 ㎡	鉄骨造	（主な設備）	自動細菌検査装置、全自動血液培養装置		
病理検査室	312 ㎡	鉄骨造	（主な設備）	自動免疫染色装置、電子顕微鏡		
病理解剖室	183 ㎡	鉄骨造	（主な設備）	解剖室、更衣室、安置室（冷蔵室）		
研究室	14,749 ㎡	鉄骨造	（主な設備）	動物実験センター、RI研究センター、臨床研究棟		
講義室	277 ㎡	鉄骨造	室数 1	室	収容定員 130	人
図書室	2398 ㎡	鉄骨造	室数	室	蔵書数 15万7千	冊程度

（注）　1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	80 ．6 %	逆紹介率	82 ．0 %

算出根拠			
算出根拠	A：紹介患者の数	15354	人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	16919	人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1274	人
	D：初診の患者の数	20636	人

（注）　1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長（○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況

相馬 孝博	千葉大学医学部附属病院　医療安全管理部	○	医療に係る安全管理に識見を有する者	無	1
水地 啓子	森法律事務所		医療に係る法律に識見を有する者	無	1
足立 雅子	病院ボランティアアランパスの会		医療を受ける立場の者	無	2
寺内　康夫	本学医学部長		その他の学識経験を有する者（内部委員）	有	1
上野　圭介	法人事務局副局長		その他の医療従事者以外の者（内部委員）	有	2

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13　監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法 大学のホームページで上で公開	

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数（人）
先進医療の種類の合計数	
取扱い患者数の合計（人）	0

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数（人）
LDLアフェレシス療法　閉塞性動脈硬化症（薬物療法に抵抗性を有するものであり、かつ、血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、フォンタン分類ⅡB度以上のものに限る。）	4人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術　子宮頸がん（FIGOによる臨床進行期分類がⅠB期以上及びⅡB期以下の扁平上皮がん又はFIGOによる臨床進行期分類がⅠA2期以上）	0人
S－1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法　膵臓がん（遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。）	1人
自家骨髄単核球移植による下肢血管再生治療　バージャー病（従来の治療法に抵抗性を有するものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。）	0人
自家骨髄単核球移植による血管再生治療　全身性強皮症（難治性皮膚潰瘍を伴うものに限る。）	0人
先進医療の種類の合計数	5
取扱い患者数の合計（人）	5

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	結腸癌に対するロボット支援下結腸切除	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 現在、結腸癌に対する保険適応の技術は、腹腔鏡手術と開腹手術である。 しかし、腹腔鏡下手術については、腹腔外から鉗子を挿入し、操作するための習熟に時間を要する手術であり、開腹での結腸切除術は、 出血量が増え、術後の腸閉塞のリスクが高いことが報告されている。一方、内視鏡手術支援ロボット(da Vinci Surgical System)は 1）3-D画像下で10～15倍の拡大視効果 2）手振れ防止機能 3）多関節機能 などの特徴を有す。深く狭い領域での操作を要する直腸癌手術においては、本システムを使用することで、より安全で精緻な手術操作が可能となり、腹腔鏡下手術の特徴である低侵襲性を保ちつつ、癌手術の根治性の向上が期待できる。			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

（注）1　当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

（注）2　医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること（当該医療が先進医療の場合についても記入すること）。

その他の高度医療の種類の合計数	1
取扱い患者数の合計（人）	6

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	5	58	クッシング病	1
2	筋萎縮性側索硬化症	23	59	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	1
3	原発性側索硬化症	1	60	下垂体前葉機能低下症	19
4	進行性核上性麻痺	10	61	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	2
5	パーキンソン病	78	62	サルコイドーシス	25
6	大脳皮質基底核変性症	5	63	特発性間質性肺炎	12
7	ハンチントン病	2	64	肺動脈性肺高血圧症	18
8	シャルコー・マリー・トゥース病	1	65	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	39
9	重症筋無力症	51	66	リンパ脈管筋腫症	1
10	先天性筋無力症候群	1	67	網膜色素変性症	3
11	多発性硬化症／視神経脊髄炎	71	68	特発性門脈圧亢進症	1
12	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	10	69	原発性胆汁性胆管炎	17
13	封入体筋炎	2	70	原発性硬化性胆管炎	1
14	多系統萎縮症	12	71	自己免疫性肝炎	10
15	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	33	72	クローン病	16
16	ライソゾーム病	4	73	潰瘍性大腸炎	50
17	副腎白質ジストロフィー	1	74	慢性特発性偽性腸閉塞症	13
18	ミトコンドリア病	2	75	全身型若年性特発性関節炎	31
19	もやもや病	2	76	TNF受容体関連周期性症候群	1
20	プリオン病	1	77	非典型溶血性尿毒症症候群	1
21	HTLV-1関連脊髄症	1	78	ブラウ症候群	2
22	全身性アミロイドーシス	5	79	先天性ミオパチー	2
23	神経線維腫症	9	80	筋ジストロフィー	3
24	天疱瘡	13	81	神経フェリチン症	1
25	膿疱性乾癬（汎発型）	9	82	前頭側頭葉変性症	1
26	中毒性表皮壊死症	2	83	ビッカースタッフ脳幹脳炎	1
27	高安動脈炎	24	84	限局性皮質異形成	1
28	巨細胞性動脈炎	9	85	結節性硬化症	3
29	結節性多発動脈炎	6	86	家族性良性慢性天疱瘡	1
30	顕微鏡的多発血管炎	18	87	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	7
31	多発血管炎性肉芽腫症	10	88	特発性後天性全身性無汗症	4
32	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	11	89	ウィルソン病	1
33	悪性関節リウマチ	9	90	多脾症候群	1
34	バージャー病	8	91	修正大血管転位症	1
35	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	92	三尖弁閉鎖症	2
36	全身性エリテマトーデス	165	93	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	2
37	皮膚筋炎／多発性筋炎	65	94	ファロー四徴症	1
38	全身性強皮症	47	95	急速進行性糸球体腎炎	1
39	混合性結合組織病	27	96	一次性ネフローゼ症候群	1
40	シェーグレン症候群	19	97	オスラー病	3
41	成人スチル病	9	98	偽性副甲状腺機能低下症	1
42	再発性多発軟骨炎	4	99	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2
43	ベーチェット病	93	100	家族性地中海熱	4
44	特発性拡張型心筋症	13	101	中條・西村症候群	1
45	肥大型心筋症	2	102	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	1
46	拘束型心筋症	1	103	慢性再発性多発性骨髄炎	1
47	再生不良性貧血	8	104	強直性脊椎炎	2
48	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	105	巨大静脈奇形（頚部口腔咽頭びまん性病変）	1
49	特発性血小板減少性紫斑病	19	106	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
50	原発性免疫不全症候群	10	107	後天性赤芽球癆	1
51	IgA 腎症	14	108	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1
52	多発性嚢胞腎	17	109	嚢胞性線維症	1
53	黄色靭帯骨化症	1	110	IgG4関連疾患	4
54	後縦靭帯骨化症	13	111	若年発症型両側性感音難聴	1
55	特発性大腿骨頭壊死症	33	112	好酸球性副鼻腔炎	9
56	下垂体性ADH分泌異常症	6	113	多発性多中心性キャッスルマン病	1
57	下垂体性PRL分泌亢進症	2			

疾患数	113
合計患者数（人）	1354

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（基本診療科）

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準	・歯科外来診療環境体制加算1
・特定機能病院入院基本料（一般病棟7対1、結核病棟7対1、精神病棟7対1）	・超急性期脳卒中加算
・診療録管理体制加算1	・救急医療管理加算
・医師事務作業補助体制加算1	・急性期看護補助体制加算
・看護職員夜間配置加算	・療養環境加算
・重症者等療養環境特別加算	・無菌治療室管理加算1
・無菌治療室管理加算2	・緩和ケア診療加算
・精神科身体合併症管理加算	・精神科リエゾンチーム加算
・摂食障害入院医療管理加算	・栄養サポートチーム加算
・医療安全対策加算1	・感染防止対策加算1
・感染防止対策地域連携加算	・抗菌薬適正使用支援加算
・患者サポート体制充実加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・ハイリスク妊娠管理加算	・ハイリスク分娩管理加算
・呼吸ケアチーム加算	・後発医薬品使用体制加算1
・病棟薬剤業務実施加算1	・病棟薬剤業務実施加算2
・データ提出加算2	・入退院支援加算1
・せん妄ハイリスク患者ケア加算	・精神疾患診療体制加算
・精神科急性期医師配置加算	・地域医療体制確保加算
・特定集中治療室管理料1	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・新生児特定集中治療室管理料1	・小児入院医療管理料3
・入院時食事療養／生活療養（Ⅰ）	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療料）

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・ウイルス疾患指導料
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・糖尿病合併症管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・がん患者指導管理料イ
・がん患者指導管理料ロ	・がん患者指導管理料ハ
・がん患者指導管理料ニ	・外来緩和ケア管理料
・移植後患者指導管理料（臓器移植後）	・移植後患者指導管理料（造血幹細胞移植後）
・糖尿病透析予防指導管理料	・小児運動器疾患指導管理料
・乳腺炎重症化予防・ケア指導料	・婦人科特定疾患治療管理料
・腎代替療法指導管理料	・夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算1
・外来放射線照射診療料	・ニコチン依存症管理料
・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算	・がん治療連携計画策定料
・肝炎インターフェロン治療計画料	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・薬剤管理指導料	・医療機器安全管理料1
・医療機器安全管理料2	・医療機器安全管理料（歯科）
・精神科退院時共同指導料2	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
・持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）	・遺伝学的検査
・精密触覚機能検査	・骨髄微小残存病変量測定
・BRCA1／2遺伝子検査	・がんゲノムプロファイリング検査
・抗HLA抗体（スクリーニング検査）及び抗HLA抗体（抗体特異性同定検査）	・HPV核酸検出およびHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
・検体検査管理加算（Ⅰ）	・検体検査管理加算（Ⅳ）
・国際標準検査管理加算	・遺伝カウンセリング加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・胎児心エコー法	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・ヘッドアップティルト試験	・人工膵臓検査、人工膵臓療法
・長期継続頭蓋内脳波検査	・長期脳波ビデオ同時記録検査1
・脳波検査判断料1	・遠隔脳波診断
・単線維筋電図	・神経学的検査

・補聴器適合検査	・黄斑局所網膜電図
・全視野精密網膜電図	・ロービジョン検査判断料
・コンタクトレンズ検査料1	・内服・点滴誘発試験
・CT透視下気管支鏡検査加算	・画像診断管理加算1
・画像診断管理加算3	・ポジトロン断層撮影
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・コンピューター断層撮影（CT撮影）
・磁気共鳴コンピューター断層撮影（MRI撮影）	・冠動脈CT撮影加算
・心臓MRI撮影加算	・乳房MRI撮影加算
・頭部MRI撮影加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・外来化学療法加算1	・連携充実加算
・無菌製剤処理料	・心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）	・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
・呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	・摂食機能療法の注3に掲げる摂食嚥下支援加算
・がん患者リハビリテーション料	・歯科口腔リハビリテーション料2
・児童思春期精神科専門管理加算	・認知療法・認知行動療法
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）

・医療保護入院等診療料	・硬膜外自家血注入
・エタノールの局所注入（甲状腺）	・エタノールの局所注入（副甲状腺）
・人工腎臓	・導入期加算2及び腎代替療法実績加算
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・下肢末梢動脈疾患指導管理加算
・CAD／CAM冠	・センチネルリンパ節加算
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）
・骨移植術（軟骨移植術を含む。）（同種骨移植（非生体）（同種骨移植（特殊なものに限る。）））	・骨移植術（軟骨移植術を含む）（自家培養軟骨移植術に限る。）
・椎間板内酵素注入療法	・脳刺激装置植込術（頭蓋骨内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））
・緑内障手術（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）	・網膜付着組織を含む硝子体切除術（眼内内視鏡を用いるもの）
・網膜再建術	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術および植込型骨導補聴器交換術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型（拡大副鼻腔手術）	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・顎関節人工関節全置換術
・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）、内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術	・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検（併用）	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検（単独）
・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）

・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので、内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腟腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・経皮的中隔心筋焼灼術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(心筋リードを用いるもの)	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・補助人工心臓	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・経皮的下肢動脈形成術	・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出手術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・体外衝撃波胆石破砕術
・腹腔鏡下肝切除術	・生体部分肝移植術
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術

・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合を除く。）	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	・腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・人工尿道括約筋植込・置換術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	・腹腔鏡下仙骨膣固定術
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る。）	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。）	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術）
・輸血管理料Ⅰ	・輸血適正使用加算
・コーディネート体制充実加算	・自己生体組織接着剤作成術
・自己クリオプレシピテート作製術（用手法）	・同種クリオプレシピテート作製術
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・歯周組織再生誘導手術	・広範囲顎骨支持型装置埋込手術
・麻酔管理料（Ⅰ）	・麻酔管理料（Ⅱ）

・放射線治療専任加算	・外来放射線治療加算
・高エネルギー放射線治療	・1回線量増加加算
・強度変調放射線治療（IMRT）	・画像誘導放射線治療（IGRT）
・体外照射呼吸性移動対策加算	・定位放射線治療
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・病理診断管理加算２
・悪性腫瘍病理組織標本加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・歯科矯正診断料	・顎口腔機能診断料（顎変形症（顎離断等の手術を必要とするものに限る。）の手術前後における歯科矯正に係るもの）
・酸素の購入単価	・

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変（MRD）量の測定	・多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療（当該病院において提供していたものに限る。）から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	(1.) 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	22	
剖検の状況	剖検症例数（例）	22
	剖検率（%）	9

（注） 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研 究 課 題 名	研 究 者 氏 名	所 属 部 門	金　額	補助元又は委託元	
Investigating a novel therapeutic strategy for preleukemic clonal hematopoiesis based on proinflammatory cytokine-mediated cell extrinsic mechanism of clonal expansion.	Kunimoto H(代)	血液・免疫・感染症内科学 血液グループ	USD 150,000	補 委	American Society of Hematology Global Research Award (2019-2022)
Investigating a novel therapeutic strategy for preleukemic clonal hematopoiesis based on proinflammatory cytokine-mediated cell extrinsic mechanism of clonal expansion.	Kunimoto H(代)	血液・免疫・感染症内科学 血液グループ	USD 20,000	補 委	American Society of Hematology Global Research Award Supplement (2021)
高リスク染色体異常を有する新規白血病細胞株を応用した抗がん剤耐性機構の解明	國本博義(代)	血液・免疫・感染症内科学 血液グループ	130万円	補 委	学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) (2021-2023年度)
ミトコンドリアダイナミックスによる白血病幹細胞制御機構の解明と新規治療への応用	國本博義(代)	血液・免疫・感染症内科学 血液グループ	50万円	補 委	学術研究助成基金助成金基盤研究(B) (2020年度-2021年度)
高リスク染色体異常を有する新規白血病細胞株を応用した抗がん剤耐性機構の解明	國本博義(代)	血液・免疫・感染症内科学 血液グループ	100万円	補 委	第15回小林がん学術振興会先駆的研究研究助成金
高リスク染色体異常を有する患者由来白血病モデルを応用した抗がん剤耐性機構の解明	國本博義(代)	血液・免疫・感染症内科学 血液グループ	50万円	補 委	2021年度日本血液学会研究助成金
移植後再発をきたす高リスク白血病のアポトーシス回避機構に基づく治療戦略基盤の確立	國本博義(代)	血液・免疫・感染症内科学 血液グループ	100万円	補 委	令和3年度安田記念医学財団若手癌研究助成金
ミトコンドリアダイナミックスによる白血病幹細胞制御機構の解明と新規治療への応用	中島秀明(代)	血液・免疫・感染症内科学 血液グループ	410万円	補 委	学術研究助成基金助成金 基盤研究(B) (2020-2022年度)
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する疫学調査等の推進に関する研究	中島秀明(分)	血液・免疫・感染症内科学 血液グループ	13，000万円	補 委	AMED新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業
転写因子IRF5阻害剤による全身性エリテマトーデスの革新的治療法とそのコンパニオン診断法の開発	中島秀明(分)， 桐野洋平(分)， 吉見竜介(分)	血液・免疫・感染症内科学 血液グループ	70万円	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構，日本医療研究開発機構研究費，難治性疾患等実用化研究事業，免疫アレルギー疾患等実用化研究事業（免疫アレルギー疾患実用化研究分野）【免疫アレルギー疾患領域】医薬品等開発研究（ステップ0，1，2）（免疫アレルギー疾患実用化研究事業）(2020-2022年度)
国内流行HIV及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究	中島秀明(分)	血液・免疫・感染症内科学 血液グループ	45万円	補 委	感染症実用化研究事業　エイズ対策実用化研究事業(2020-2022年度)
全身性エリテマトーデスにおける自己抗体の病的役割の解明と新規治療戦略の構築	中島秀明(分)	血液・免疫・感染症内科学 血液グループ	5万円	補 委	日本学術振興会，科学研究費補助金基盤研究（C）(2019-2021年度)
ベーチェット病のゲノムワイド亜型解析によるエビデンス創出とレジストリー構築	中島秀明(分)	血液・免疫・感染症内科学 血液グループ	5万円	補 委	日本学術振興会，科学研究費補助金基盤研究（B）(2019年度- 2023年度)
ベーチェット病のゲノムワイド亜型解析によるエビデンス創出とレジ	桐野洋平(代)	血液・免疫・感染症内科学	260万円	補	日本学術振興会 科学研究費補助金基

計:　13

ストリー構築		リウマチグループ		委	盤研究(B)(2019-2022年度)
脊椎関節炎・ベーチェット病の疾患感受性遺伝子ERAPIのマウスを用いた機能解析	桐野洋平(代)	血液・免疫・感染症内科学 リウマチグループ	250万円	補 委	日本リウマチ学会 次世代基礎研究推進プログラム(2020-2021年度)
ベーチェット病の病態解明および治療法開発を目的とした全国レジストリの構築	桐野洋平(分)	血液・免疫・感染症内科学 リウマチグループ	50万円	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 難治性疾患実用化研究事業(2020-2022年度)
ベーチェット病に関する調査研究	桐野洋平(分)	血液・免疫・感染症内科学 リウマチグループ	25万円	補 委	厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金(2020-2022年度)
ベーチェット病の臨床亜群形成因子に基づく予後予測	桐野洋平(分)	血液・免疫・感染症内科学 リウマチグループ	10万円	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)(2021-2023年度)
組織におけるナトリウム代謝異常をターゲットとした全身性強皮症の病態解明	桐野洋平(分)	血液・免疫・感染症内科学 リウマチグループ	10万円	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)(2021-2023年度)
組織におけるナトリウム代謝異常をターゲットとした全身性強皮症の病態解明	峯岸 薫(代)	血液・免疫・感染症内科学 リウマチグループ	78万円	補 委	学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)(2021-2023年度)
23Na-MRIを用いた早期関節リウマチにおける予後不良因子の同定	峯岸 薫(代)	血液・免疫・感染症内科学 リウマチグループ	100万円	補 委	日本リウマチ学会 早期RA研究推進プログラム研究助成(2022-2021年度)
Na-MRIを用いた全身性強皮症におけるナトリウム代謝異常の解明	峯岸 薫(代)	血液・免疫・感染症内科学 リウマチグループ	100万円	補 委	公益財団法人渡邉財団 第27回磁気健康科学研究助成
全身性エリテマトーデスにおける自己抗体の病的役割の解明と新規治療戦略の構築	吉見竜介(代)	血液・免疫・感染症内科学 リウマチグループ	117万円	補 委	日本学術振興会, 科学研究費補助金基盤研究(C)(2019-2021年度)
全身性強皮症に伴う皮膚潰瘍に対する自家骨髄単核球移植を用いた血管再生療法に関する研究開発	吉見竜介(代)	血液・免疫・感染症内科学 リウマチグループ	591万円	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 日本医療研究開発機構研究費 再生医療実用化研究事業, 多能性幹細胞(iPS／ES細胞), 体性幹細胞等を用いて, 再生医療等安全性確保法に従って実施する臨床研究(2020-2022年度)
全身性エリテマトーデスにおける自己抗体の病原性について	吉見竜介(代)	血液・免疫・感染症内科学 リウマチグループ	100万円	補 委	先進医薬研究振興財団, 血液医学分野一般研究助成 (2020-2021年)
IT社会の医療情報が医療トラストに与えるメカニズムの解明: 若年膠原病を対象として	吉見竜介(分)	血液・免疫・感染症内科学 リウマチグループ	10万円	補 委	日本学術振興会, 科学研究費補助金基盤研究(B)(2019, 4- 2022, 3)
ベーチェット病のゲノムワイド亜型解析によるエビデンス創出とレジストリー構築	吉見竜介(分)	血液・免疫・感染症内科学 リウマチグループ	5万円	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金基盤研究(B)(2019-2023年度)
COVID-19感染症の臨床情報データバンクを活用した病態変容に伴う全オミックスと免疫応答解明に基づく重症化阻止法の開発	加藤英明(分)	血液・免疫・感染症内科学 感染症グループ	975万円	補 委	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業(2021年度-2022年度)
COVID-19に係る国際多施設アダプティブランダム化比較プラットフォーム試験を通じた, 迅速・効率的な治療法確立のための臨床研究基盤の強化	加藤英明(分)	血液・免疫・感染症内科学 感染症グループ	6.5万円	補 委	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業(2021年度-2022年度)
人工知能を用いた人工股関節全置換術における最適なインプラント設置に関する研究	稲葉 裕	整形外科	169万円	補 委	科学研究費補助金 基盤研究(C)
筋骨格・骨のイメージベース力学解析の有機的連携構築と骨疾患の治療戦略抽出への展開	稲葉 裕	整形外科	30万円	補 委	科学研究費補助金 基盤研究(B)
変形性関節症における力学的負荷に対しスクレロスチンが関節軟骨に果たす役割の解明	熊谷 研	整形外科	260万円	補 委	科学研究費補助金 基盤研究(C)

計: 18

関節リウマチ患者の関節軟骨におけるWntシグナル発現とスクレロスチンの役割	熊谷　研	整形外科	100万円	補 委	日本イーライリリー株式会社　公募型研究助成
全自動リアルタイムPCRによるインプラント周囲感染の迅速診断への有用性の評価	崔　賢民	整形外科	13万円	補 委	科学研究費助成事業　若手研究
人工股関節全置換術における3次元歩行・動作解析を用いた脊椎－骨盤アライメント評価	池　裕之	整形外科	169万円	補 委	科学研究費助成金 若手研究
「咳嗽・喀痰の診療ガイドライン2019」喀痰総論の改定に向けたエビデンスの構築	金子　猛(代)，原　悠(分)，堀田 信之(分)	呼吸器病学	25万円	補 委	令和2年度学術研究助成基金助成金基盤研究（C）（一般）(R2-R5年度)
COVID-19感染回復後の後遺症障害の実態調査	金子　猛(分)	呼吸器病学	20万円	補 委	令和2年厚生労働科学特別研究事業
気管支喘息における上皮間葉転換の発現機序に関する研究	工藤　誠(代)	呼吸器病学	助成なし	補 委	平成27年度学術研究助成基金助成金基盤研究(C)(2015-2022年度)
肺がん腫瘍細胞のヘプシジン発現量とがん免疫療法の治療効果に及ぼす影響の解析	山本昌樹(代)	呼吸器病学	20万円	補 委	令和2年度学術研究助成基金助成金基盤研究（C）（2020～2022年度）
高血圧症における皮膚レニン-アンジオテンシン系の病態生理学的意義の解明	小豆島健護(代)	循環器・腎臓・高血圧内科学	143万円	補 委	日本学術振興会 令和2年度研究活動スタート支援(R2-R3年度)
糖尿病性腎臓病における腎エネルギー代謝の病態生理学的意義の解明	小豆島健護(代)	循環器・腎臓・高血圧内科学	468万円	補 委	日本学術振興会 令和3年度若手研究
腸内細菌と脾臓B2細胞に着目した，動脈硬化症の分子病態の解明	荒川健太郎(代)，石上友章(分)	循環器・腎臓・高血圧内科学	179万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(R2-R4年度)
『興奮・転写連関』に着目した高血圧症の食塩感受性の尿細管性機序の分子病態の解明	石上友章(代)	循環器・腎臓・高血圧内科学	169万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(R2-R4年度)
多発性嚢胞腎の新規創薬標的の検証	石上友章(代)	循環器・腎臓・高血圧内科学	352万円	補 委	日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費(R3-R4年度)
重症虚血肢に対し，近赤外線分光装置(NIRS)を使用した至適運動療法を確立する研究	石上友章(分)	循環器・腎臓・高血圧内科学	300万円	補 委	日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費
重症患者の全身・摂食嚥下機能に応じたリハビリテーションプログラム開発と効果検証	石上友章(分)，峯岸慎太郎(分)	循環器・腎臓・高血圧内科学	20万円	補 委	文部科学省:科学研究費補助金 基盤研究(B)(H29-R3年度)
白血球・免疫細胞における受容体結合因子の病態生理学的意義	畝田一司(代)	循環器・腎臓・高血圧内科学	143万円	補 委	科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金 若手研究(B)(H31-R3年度)
受容体結合性機能選択的制御蛋白の新機能に着目した腎性老化の機序解明と制御治療開発	田村功一(代)，畝田一司(分)，小林　竜(分)，涌井広道(分)	循環器・腎臓・高血圧内科学	3157万円	補 委	科学研究費補助金 基盤研究(B)(H30-R3年度)
糖尿病性腎臓病・慢性腎臓病における新規血管新生因子の病態生理学的意義の検討	金岡知彦(代)，田村功一(分)，涌井広道(分)	循環器・腎臓・高血圧内科学	110万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究（C）(H31-R3年度)
心筋障害後の年齢・時間的変化による免疫細胞の役割	木野旅人	循環器・腎臓・高血圧内科学	200万円	補 委	上原記念科学振興財団リサーチフェローシップ
高血圧感受性遺伝子ATP2B1と動脈硬化の直接的関連の病態解明並びに治療戦略開発	小林雄祐(代)	循環器・腎臓・高血圧内科学	65万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(H31-R3年度)
収縮機能の保持された心不全におけるRANKL/RANK/OPGシステムの役割	上村大輔(代)	循環器・腎臓・高血圧内科学	208万円	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)(R3-R5年度)
皮膚組織の受容体結合性機能制御蛋白による心血管腎臓病の	田村功一(代)	循環器・腎臓・高	208万円	補	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的研究(萌芽)(R2-R4年

新規病態連関制御機構の解明		血圧内科学		委	度）
高血圧−脳心血管病−腎臓病の病態関連の機序解明と新規治療開発をめざした研究	田村功一(代),涌井広道(分)	循環器・腎臓・高血圧内科学	240万円	(補) 委	学長裁量事業「かもめプロジェクト」（H30−R5年度）
精緻な疾患レジストリーと遺伝・環境要因の包括的解析による糖尿病性腎臓病，慢性腎臓病の予後層別化と最適化医療の確立	田村功一（分）	循環器・腎臓・高血圧内科学	250万円	(補) 委	日本医療研究開発機構（AMED）受託研究費
糖尿病性腎症，慢性腎臓病の重症化抑制に資する持続的・自律的エビデンス創出システムの構築と健康寿命延伸・医療最適化への貢献	田村功一（分）	循環器・腎臓・高血圧内科学	260万円	(補) 委	日本医療研究開発機構（AMED）受託研究費
病院前12誘導心電図の有用性の検証とその普及−神奈川循環器救急レジストリー研究−	田村功一（分）	循環器・腎臓・高血圧内科学	1万円	(補) 委	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究(C)（R2−R4年度）
致死的不整脈におけるSCN5A-Nedd4-2系の分子メカニズム解明	峯岸慎太郎（代）	循環器・腎臓・高血圧内科学	182万円	(補) 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究（R2−R3年度）
老化関連脳心血管病における受容体結合因子の病態生理学的意義	涌井広道(代),田村功一（分）	循環器・腎臓・高血圧内科学	148万円	(補) 委	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究(C)（R2−R4年度）
正コレステロール血症を呈する閉塞性動脈硬化症に対するLDL吸着療法の検討と受容体結合蛋白に着目したメカニズムの解明	涌井広道（代）	循環器・腎臓・高血圧内科学	170万円	(補) 委	日本透析医会 公募研究助成　R3−4年度
レニン-アンジオテンシン系過剰活性化抑制因子に着目した高血圧・腎臓病の脳腎連関制御	涌井広道（代）	循環器・腎臓・高血圧内科学	200万円	(補) 委	日本腎臓病協会・日本ベーリンガーインゲルハイム共同研究事業 研究助成金，R3−4年度
糖脂肪毒性下の膵島ミトコンドリア機能障害・炎症の病態解明と治療法の創出	寺内康夫（代）	内分泌・糖尿病内科	637万円	(補) 委	科学研究費基盤研究（B）
LOTUSによる神経変性と炎症の制御に基づく多発性硬化症の画期的な治療法開発	高橋慶太（代），田中章景（分），竹内英之（分）	神経内科学・脳卒中医学	100万円	(補) 委	文科省科学研究費基盤研究（C）（令和2年－令和4年）
T型カルシウムチャネロパチーにおける神経変性分子基盤の解明	橋口俊太（代）	神経内科学・脳卒中医学	50万円	(補) 委	文科省科学研究費若手研究（令和3年－令和5年）
VRと運動学習転移を用いたパーキンソン病における新しい運動訓練の開発	田中章景（分）	神経内科学・脳卒中医学	12.5万円	(補) 委	文科省科学研究費基盤研究（C）（令和2年－令和4年）
パーキンソン病の仮面様顔貌と認知症発症の関連についての検討：前向きコホート研究	東山雄一（代）	神経内科学・脳卒中医学	80万円	(補) 委	文科省科学研究費若手研究（令和2年－令和4年）
パーキンソン病の疾患予後に影響を与える非運動症状の新規実用的評価方法の確立	上木英人（代）	神経内科学・脳卒中医学	220万円	(補) 委	文科省科学研究費若手研究（令和3年－令和5年）
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	田中章景（分）	神経内科学・脳卒中医学	110万円	(補) 委	令和3年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業）
運動学習に着目した新規脳機能評価法を活用したエビデンス創出	田中章景（分）	神経内科学・脳卒中医学	40万円	(補) 委	日本医療研究開発機構受託研究費（AMED）
運動失調症の医療水準，患者QOLの向上に資する研究	田中章景（分）	神経内科学・脳卒中医学	70万円	(補) 委	令和3年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業）
ミクログリアRIPK1の解析に基づくアミロイド・タウ連関解明と新規治療法の開発	勝元敦子（代），田中章景（分），竹内英之（分）	神経内科学・脳卒中医学	160万円	(補) 委	文科省科学研究費基盤研究（C）（令和3年－令和5年）

計：　18

孤発性ALS病態形成におけるDEAD box RNA helicaseの役割解明	多田美紀子(代)，田中章景(分)，竹内英之(分)，土井　宏(分)	神経内科学・脳卒中医学	100万円	補 委	文科省科学研究費基盤研究(C)(平成31年－令和3年)
新規イントロンリピート病CANVASの病態解析モデルの構築	田中章景(代)，竹内英之(分)，土井宏(分)	神経内科学・脳卒中医学	130万円	補 委	文科省科学研究費基盤研究(C)(令和3年－令和5年)
神経核内封入体病(NIID)の原因遺伝子同定と病態解明	田中章景(分)	神経内科学・脳卒中医学	10万円	補 委	文科省科学研究費基盤研究(B)(令和1年－令和3年)
神経核内封入体病(NIID)の疾患概念確立および診断基準作成に関する研究	田中章景(分)	神経内科学・脳卒中医学	5万円	補 委	令和2年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業)
神経変性疾患の凝集体形成における SGTA の機能解析	窪田　瞬(代)	神経内科学・脳卒中医学	50万円	補 委	横浜医学財団(令和3年)
成人SMA患者レジストリの整備，成人期SMAの臨床的検討	田中章景(分)	神経内科学・脳卒中医学	30万円	補 委	日本医療研究開発機構受託研究費(AMED)
脊髄小脳失調症42型疾患修飾治療開発と光遺伝学手法を用いた病態基盤の解明	土井　宏(代)，田中章景(分)，竹内英之(分)，国井美紗子(分)	神経内科学・脳卒中医学	125万円	補 委	文科省科学研究費基盤研究(C)(令和3年－令和5年)
全身炎症によるALS病勢促進の機序解明	古宮裕泰(代)	神経内科学・脳卒中医学	120万円	補 委	文科省科学研究費研究活動スタート支援(令和3年－令和5年)
単球系細胞から捉えた全身炎症による神経変性疾患の病態進展の機序解明	竹内英之(代)，田中章景(分)，土井　宏(分)	神経内科学・脳卒中医学	120万円	補 委	文科省科学研究費基盤研究(C)(令和3年－令和5年)
難治性神経疾患における免疫病態の解明と診断・治療法開発	田中章景(分)	神経内科学・脳卒中医学	40万円	補 委	令和2年度精神・神経疾患研究開発事業費
扁桃体腫大を伴う側頭葉てんかんの病態背景の解明と新規治療法の開発	国井美紗子(代)，田中章景(分)，土井　宏(分)，多田美紀子(分)，東山雄一(分)	神経内科学・脳卒中医学	130万円	補 委	文科省科学研究費基盤研究(C)(令和3年－令和5年)
ヒト上皮性腫瘍の発生・進展機構の解明と新規治療標的の同定	利野　靖(分)	消化器外科	325万円	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)次世代がん医療創生研究事業一次公募・応用研究タイプ・研究領域E・チーム型基礎研究，応用研究(2021年度)
局所進行胃癌に対する術前補助化学療法の個別化を目指したバイオマーカーの検索	青山　徹(代)	消化器外科	120万円	補 委	日本学術振興会科学研究費助成事業基盤研究(C)(2021-2023年度)
甲状腺未分化癌患者由来オルガノイドによる新規薬剤感受性予測とバイオマーカーの確立	菅沼伸康(代)	消化器外科	143万円	補 委	日本学術振興会科学研究費助成事業基盤研究(C)(2019－2021年度)
膵癌における癌局所免疫が果たす役割の解明	遠藤 格(代)，松山隆生(分)，本間祐樹(分)	消化器・腫瘍外科学	72万円	補 委	文部科学省科学研究費 基盤研究(C)(2019年度-2021年度)
排便時ガスによる大腸癌新規診断法の研究	石部敦士(代)	消化器・腫瘍外科学	30万円	補 委	文部科学省科学研究費 基盤研究(B)(2018年度-2021年度)
メチオニン制限による膵癌新規治療の開発	三宅謙太郎(代)	消化器・腫瘍外科学	100万円	補 委	文部科学省科学研究費 若手研究(2020年度-2023年度)
エンハンサー解析手法を用いた膵胆管合流異常での発癌メカニズムの解明	本間祐樹(代)	消化器・腫瘍外科学	210万円	補 委	文部科学省科学研究費 若手研究(2021年度-2022年度)
腫瘍内細菌叢が腫瘍微小環境を介して乳癌幹細胞に及ぼす影響	山田顕光(代)	消化器・腫瘍外科学	110万円	補 委	文部科学省科学研究費 若手研究(2021年度-2023年度)
大腸癌における硫黄代謝物に関	小澤真由美(代)	消化器・腫瘍外	130万円	補	文部科学省科学研究費 若手研究(2021

計:　19

する研究	[illegible]	科学	[illegible]	委	年度-2023年度)
肝細胞癌手術患者における免疫エフェクター細胞とアディポサイトカインの検討	澤田雄(代)	消化器・腫瘍外科学	110万円	補 委	文部科学省科学研究費 若手研究(2021年度～2025年度)
血中TFPI2を用いた新規膵癌バイオマーカーの開発	清水康博(代)	消化器・腫瘍外科学	80万円	補 委	文部科学省科学研究費 若手研究(2021年度-2025年度)
化学放射線療法後の膵癌局所免疫におけるIRF-5の抗腫瘍効果の解明	三宅謙太郎	消化器・腫瘍外科学	70万円	補 委	公益財団法人　日本膵臓病研究財団
日本の集中治療臨床情報を基盤として人工知能を用いた本邦発の重症度予測モデルの開発とパネルデータ活用環境の醸成	髙木俊介(代)	麻酔科学	1,800万円	補 委	令和二年度厚生労働科学研究費 補助金(臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業)
呼気プロポフォール連続測定の臨床使用のための基盤研究	増井健一	麻酔科学	主任研究者，0千円（研究機関総額442万円）	補 委	文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(C)（2018-2021年度）
統合レジストリによる多発性筋炎／皮膚筋炎関連間質性肺疾患の個別化医療基盤の構築	増井健一(分)	麻酔科学	30万円	補 委	AMED（2021-2023年度）
低酸素曝露動物モデルにおいてT型Caチャネル阻害剤に胎児遺伝子抑制作用はあるか	佐々木誠（代）	麻酔科学	429万円	補 委	若手研究（2020-2023年度）
インターフェロン制御因子5を標的とした急性呼吸窮迫症候群の分子標的治療の開発	竹内一郎（代），西井基継（分），田村智彦（分），小川史洋（分）	救急医学	416万円	補 委	2021年度文部科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）3年
Single-Cell RNA sequenceによるARDS病態の網羅的探索	本澤大志（代），西井基継（分），谷口隼人（分），田村智彦（分），小川史洋（分），竹内一郎（分）	救急医学	429万円	補 委	2021年度文部科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）3年
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する治療薬開発のための実用的な予後予測・治療スコアの開発と社会実装	竹内一郎（代），山本紘司（分），小山洋史（分），富樫謙一（分），西井基継（分）	救急医学	1400万円	補 委	令和2年度新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業（新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する治療薬開発推進のための技術開発等）1年
患者腫瘍移植モデルを用いたmTOR経路とてんかん性異常の関連の解明	池谷直樹（代）	脳神経外科学	429万円	補 委	科学研究費助成事業 若手研究 (2019-2021)
IL-4誘導のM2ミクログリアは，中枢神経の直接縫合法で神経再生を促進する	末永　潤（代）	脳神経外科学	500万円	補 委	科学研究費補助金基盤研究(C) (2019-2021)
新たな神経炎症経路に着目したくも膜下出血後認知機能障害の病態解明と治療応用	高瀬　創 (代)	脳神経外科学	442万円	補 委	科学研究費補助金基盤研究(C) (2020-2023)
正常圧水頭症における新規神経炎症機構の役割: 神経索路画像と分子生物学的アプローチを用いたトランスレーショナル研究	高瀬　創 (代)	脳神経外科学	810万円	補 委	公益財団法人 大樹生命厚生財団 第53回医学研究助成 (2020-2022)
脳震盪における生物学的予後診断マーカーの開発とその意義	高瀬　創 (代)	脳神経外科学	88万円	補 委	一般社団法人 日本損害保険協会 交通事故医療研究助成 (2020-2022)
脳震盪と神経血管炎症:長期的認知機能診断マーカーの開発と治療への展開	高瀬　創 (代)	脳神経外科学	310万円	補 委	一般社団法人 JA共済総合研究所 JA共済 交通事故医療研究助成 (2021-2022)
脳動脈瘤の壁内微小環境と炎症機構	高瀬　創 (代)	脳神経外科学	64万円	補 委	公益財団法人 横浜学術教育振興財団 2021年度 研究助成 (2021-2022)
脳震盪と神経炎症:慢性障害性分子機構と治療応用	高瀬　創 (代)	脳神経外科学	88万円	補 委	一般社団法人 日本損害保険協会　交通事故医療研究助成 (2021-2023)
難治性中枢神経系悪性腫瘍に対する標的治療法の開発	立石健祐 (代)	脳神経外科学	100万円	補 委	横浜市立大学 第5期戦略的研究推進事業

計:　19

分子標的アプローチによるグリオーマ関連てんかん制御	立石健祐(代)	脳神経外科学	100万円	補 委	公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団 LIP. 横浜トライアル助成金
チラブルチニブの中枢神経原発悪性リンパ腫(PCNSL)に対する効果に関する基礎研究	立石健祐(代)	脳神経外科学	2,000万円	補 委	小野薬品工業株式会社共同研究費(2020-2022)
IDH1変異神経膠腫に対するDNA高変異に起因する悪性化回避を目指した治療法の開発	立石健祐(代)	脳神経外科学	442万円	補 委	科学研究費補助金基盤研究(C)(2019-2022)
HPVワクチンの有効性の評価のための大規模疫学研究	宮城悦子(分)	産婦人科学	445万円	補 委	日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費(革新的がん医療実用化研究事業)(2020-2022)
子宮頸がん検診における細胞診とHPV検査併用の有用性に関する研究	宮城悦子(分)	産婦人科学	100万円	補 委	日本医療研究開発機構(AMED)受託研究費(革新的がん医療実用化研究事業)(2020-2022)
わが国の子宮頸がん検診におけるHPV検査導入の問題点と具体的な運用方法の検討	宮城悦子(分)	産婦人科学	50万円	補 委	厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)
生まれ年度によるHPVワクチン接種環境の違いに着目した子宮頸がん罹患リスクの評価・子宮頸がん検診受診勧奨手法の開発とHPVワクチンの有効性評価	宮城悦子(分)	産婦人科学	(代表者一括計上),(研究代表者: 上田 豊)	補 委	厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)(2020-2022)
日本の先天異常発生動向とその影響要因およびその解析方法に関する研究	倉澤健太郎(代),宮城悦子(分)	産婦人科学	700万円	補 委	日本医療研究開発機構(AMED)・成育疾患克服等総合研究事業(2019-2021)
先天異常モニタリングに関する研究	倉澤健太郎(代)	産婦人科学	300万円	補 委	日本産婦人科医会おぎゃー献金基金
ワクチンで予防可能な疾病のサーベイランスとワクチン効果の評価に関する研究	倉澤健太郎(分)	産婦人科学	100万円	補 委	日本医療研究開発機構(AMED)補助金(新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業)
福島県内外での疾病動向の把握に関する調査研究	倉澤健太郎(協)	産婦人科学	933万円	補 委	環境省放射線健康管理・健康不安対策事業(放射線の健康影響に係る研究調査事業)
シスプラチンを含む化学療法を施行される子宮がん患者の嘔気・嘔吐に対する六君子湯の効果ープラセボ対照無作為化二重盲検比較検証試験	ルイズ横田奈朋(分)	産婦人科学	25万円	補 委	日本医療研究開発機構(AMED)研究費(革新的がん医療実用化研究事業)(2019-2021)
染色体異常モザイク胚から健常児が生まれるのはなぜか?	浜之上はるか(分)	産婦人科学	7万円	補 委	日本学術振興会/科学研究費助成事業/基盤研究(C)(2021-2023)
新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた 医師の働き方改革が大学病院勤務医師の働き方に与える 影響の検証とその対策に資する研究	鈴木幸雄(分)	産婦人科学	(代表者一括計上),(研究代表者: 裵 英洙,他)	補 委	厚生労働科学特別研究事業/ 厚生労働行政推進調査事業費補助金
転写因子IRF5阻害剤による全身型エリテマトーデスの革新的治療法とそのコンパニオン診断法の開発	伊藤秀一(分)	遺伝子診療科	70万円	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)研究費(免疫アレルギー疾患等実用化研究事業)(R2-R4年度)
自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備,移行医療体制の構築,診療ガイドライン確立に関する研究	伊藤秀一(分)	遺伝子診療科	60万円	補 委	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)(R2-R4年度)
小児腎領域の希少・難治性疾患群の診療・研究体制の発展	伊藤秀一(分)	遺伝子診療科	40万円	補 委	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)(R2-R4年度)
子供の研究と環境に関する全国調査(エコチル調査)	伊藤秀一(分)	小児科学	9,749万円	補 委	環境省(平成29-令和8年度)
ロングリードシーケンサーを用いた神経筋疾患の原因探索と病態	宮武聡子(代)	遺伝子診療科	130万円	補	日本学術振興会 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究

計: 18

た神経筋疾患の原因探索と病態解明	宮武聡子(代)	遺伝子診療科	130万円	補 委	学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)(R2-R4年度)
補体に着目した小児血管炎の病態解明と新規治療法としての抗補体療法の可能性の検討	伊藤秀一(代)	小児科学	110万円	補 委	学術研究助成基金助成金基盤研究(C)(科学研究費助成事業)(令和3-5年度)
新生児黄疸治療最適化のためのスマート光線治療器の開発	伊藤秀一(分)	小児科学	979万円	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(AMED)免疫アレルギー疾患実用化研究事業 (令和2-5年度)
転写因子IRF5阻害剤による全身型エリテマトーデスの革新的治療法とそのコンパニオン診断法の開発	伊藤秀一(分)	小児科学	70万円	補 委	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構(AMED)免疫アレルギー疾患実用化研究事業(令和2-4年度)
自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備, 移行医療体制の構築, 診療ガイドライン確立に関する研究	伊藤秀一(分)	小児科学	60万円	補 委	厚労省科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患性疾患政策事業)(令和2-4年度)
小児腎領域の希少・難治性疾患群の診療・研究体制の発展	伊藤秀一(分)	小児科学	40万円	補 委	厚労省科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患性疾患政策事業)(令和2-4年度)
小児急性骨髄性白血病における簡便かつ高精度のリスク層別化の構築	柴　徳生(代)	小児科学	1,160万円	補 委	革新的がん医療実用化研究事業(AMED)(令和2-4年度)
難治性小児急性骨髄性白血病のエピゲノム機構の解明	柴　徳生(代)	小児科学	110万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(令和1-3年度)
小児急性骨髄性白血病におけるEpigenetics 制御メカニズムの解明	柴　徳生(代)	小児科学	200万円	補 委	公益財団法人　武田振興財団2020年度「医学系研究助成」がん領域(令和2-5年度)
小児急性骨髄性白血病におけるPRDM16-SKI融合遺伝子の意義の解明	柴　徳生(代)	小児科学	50万円	補 委	公益財団法人　令和3年度日本血液学会研究助成
再発難治小児急性骨髄性白血病に対する PRDM16 を標的とした新規核酸医薬の開発	柴　徳生(代)	小児科学	40万円	補 委	公益財団法人横浜学術教育振興財団2021年度研究助成
小児急性リンパ性白血病治療におけるステロイド関連脂肪肝のトランジェント・エラストグラフィーを用いた非侵襲的な評価とバイオマーカーの探索	田野島玲大(代)	小児科学	300万円	補 委	臨床薬理研究振興財団賞　令和3年学術奨励賞
持続可能な母乳率調査方法の開発ーメールを使った前向き調査の全国展開に向けてー	西巻　滋(代)	小児科学	180万円	補 委	令和2年度科学研究費補助金 基盤研究(C)(令和2-4年度)
ドナーミルクを安定供給できる母乳バンクを整備するための研究	西巻　滋(分)	小児科学	20万円	補 委	厚生労働科学費補助金成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業)(令和2-3年度)
NK細胞機能に着目した全身型若年性特発性関節炎の病態解析	大宅　喬(代)	小児科学	78万円	補 委	科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究.(令和2-4年度)
好中球・補体連関に着目した新型コロナウイルス感染症2019(COVID-19) mRNAワクチンの副反応の免疫学的解明	村瀬絢子(代)	小児科学	30万円	補 委	第2回横浜市立大学医学部小児科同門会学術研究資金助成
冠動脈CTにおける流体練成解析法を用いた冠血流予備量比の基礎的・臨床的検討	宇都宮大輔(分)	放射線診断学	15万円	補 委	科学研究補助金事業基盤(C) (2018-2021)
造影CTでのヨード増強効果がもたらす新たな線量増加の影響に関する研究	宇都宮大輔(分)	放射線診断学	43万円	補 委	科学研究補助金事業基盤(C) (2018-2022)
画面共有・対話コンサルテーション機能を備えた次世代型遠隔画像診断の有用性に関する実証研究	山城恒雄(代)	放射線診断学	592万円	補 委	科学技術振興機構 SCORE大学推進型拠点都市環境整備型 イノベーションデザインプラットフォームGAPファンド
心臓MRIの高次元画像特徴量と機械学習を用いた非虚血性心筋	加藤真吾(代)	放射線診断学	50万円	補	一般財団法人横浜総合医学振興財団

計:　19

機械学習を用いた非虚血性心筋症の新たなリスク因子の探索	加藤真吾(代)	放射線診断学	50万円	補 委	わかば研究助成
高解像度遅延造影MRIによる左房線維化評価: 心房細動, 心不全における臨床的意義	加藤真吾(代)	放射線診断学	143万円	補 委	科学研究補助金事業 若手研究(2019-2022)
COVID-19 関連心臓障害に関する調査研究(TRACE-COVID)	加藤真吾(分)	放射線診断学	300万円	補 委	厚生労働行政推進調査事業費補助金
深層学習モデルを用いた脳核医学検査の画質改善および撮像時間短縮の検討	石渡義之(代)	放射線診断学	65万円	補 委	科学研究費助成事業若手研究(2020-2022)
難治性悪性脳腫瘍に対する日本発放射性薬剤64Cu-ATSM による新治療法開発－早期承認を目指す第I相拡大コホート試験の実施	栗原宏明(代), 山本弥生(分), 日野彩子(分), 小嶋大地(分)	放射線診断学	9689.5万円	補 委	AMED革新的がん医療実用化研究事業
遺伝病のthin slice撮像と人工知能による磁気共鳴画像診断法の樹立	野澤久美子(分)	放射線診断学	13万円	補 委	科学研究補助金事業基盤(C) (2021-2023)
呼吸器系先天異常疾患の診療体制構築とデータベースおよび診療ガイドラインに基づいた医療水準向上に関する研究	野澤久美子(分)	放射線診断学	30万円	補 委	厚生労働科学研究費(難治性疾患政策研究事業)(2020-2022)
小児およびAYA世代の横紋筋肉腫患者に対するリスク層別化臨床試験実施による標準的治療法の開発	野澤久美子(分)	放射線診断学	22.1万円	補 委	AMED革新的がん医療実用化研究事業(2020-2022)
1H-MRS法を用いた脳内代謝物の測定に関する研究	相田典子(代)	放射線診断学	20万円	補 委	神奈川県立病院小児医療基金研究助成金
頭部MRI arterial spin labeling(ASL)画像を用いた小児の画像診断に関する研究	藤田和俊(分)	放射線診断学	17.3万円	補 委	神奈川県立病院小児医療基金研究助成金
新技術を用いた小児躯幹部MRI画像診断に関する研究	藤井裕太(分)	放射線診断学	21.2万円	補 委	神奈川県立病院小児医療基金研究助成金
MRSによる小児脳内代謝物濃度の自動診断解析システムの開発	相田典子(分)	放射線診断学	13万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(一般)(2019-2021)
体幹部放射線治療における呼吸性移動 －四次元アルゴリズム解析と治療法の標準化－	幡多政治(代)	放射線治療学	32万円(416万円)	補 委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)
Impact of imaging conditions on the target delineation in radiotherapy planning.	Hata M(代)	放射線治療学	43万円	補 委	GE Healthcare Pharma Educational Grant
AYA(Adolescent & Young Adult, 思春期・若年成人)世代のがん治療における至適治療法の解明と治療法の標準化, 新規治療法の開発に関する研究	幡多政治(代)	放射線治療学	50万円	補 委	第一三共奨学寄付プログラム
リン酸カルシウムペーストを用いた乳がんと前立腺がんの臨床研究	幡多政治(分)	放射線治療学	91万円(403万円)	補 委	文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)
「精神科救急医療体制整備の均てん化に資する研究」	杉山直也(代)	精神医学	950万円	補 委	令和3年度厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)(21GC1010)
「持続可能で良質かつ適切な精神医療とモニタリング体制の確保に関する研究」	杉山直也(分)	精神医学	182万円	補 委	令和3年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(障害者政策総合研究事業)(20GC2003)
抗精神病薬が膵臓における代償性ベータ細胞増加機構のシグナル経路へ及ぼす影響	服部早紀(代)	精神医学	200万円	補 委	令和3年度武田科学振興財団 研究助成＜精神・神経・脳領域＞
アラキドン酸カスケードに着目した統合失調症患者の心血管性突然死の病態解明	服部早紀(代)	精神医学	188万円	補 委	文部科学省科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)研究活動スタート支援(令和2年度-令和4年度)

計: 19

トランスオミクス解析による統合失調症の心血管系突然死の病態解明	服部早紀(代)	精神医学	195万円	補 委	文部科学省科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(令和3年度-令和6年度)
次元的アプローチによる精神疾患脳画像への深層学習の応用	山口博行(代)	精神医学	78万円	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究(2019年-2022年)
自殺リスクの遺伝因子に関する国際共同研究	菱本明豊(代)	精神医学	610万円	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)),(2021年-2022年)
ポリジェニックリスクスコアを用いた自殺リスクの予測と遺伝学的解明	菱本明豊(代)	精神医学	470万円	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業 国際共同研究加速基金 基盤研究(B),(2021年-2022年)
対面診療に比したオンライン診療の非劣勢試験: COVID-19 によって最も影響を受け得る精神疾患に対するマスタープロトコル試験による検証	菱本明豊(分)	精神医学	480万円	補 委	令和3年度日本医療研究開発機構(AMED)(障害者対策総合研究開発事業(精神障害分野),(2021年-2022年)
AMPA 受容体密度を指標とした慢性疼痛患者の痛み定量化バイオマーカー開発研究	菱本明豊(分)	精神医学	48万円	補 委	令和3年度日本医療研究開発機構(AMED)(慢性の痛み解明研究事業),(2021年-2022年)
COVID-19等による社会変動下に即した応急的遠隔対応型メンタルヘルスケアの基盤システム構築と実用化促進にむけた効果検証	菱本明豊(分)	精神医学	200万円	補 委	令和3年度日本医療研究開発機構(AMED)障害者対策総合研究開発事業(精神障害分野),(2021年-2022年)
ベーチェット病の病態解明および治療法開発を目的とした全国レジストリの構築	水木信久(代)	眼科学	863万円	補 委	日本医療研究開発機構(AMED)難治性疾患実用化研究事業(H2～R4)
ベーチェット病に関する調査研究	水木信久(分)	眼科学	30万円	補 委	厚労科研
難治性ぶどう膜炎疾患を対象としたエクソーム解析	水木信久(代)	眼科学	240万円	補 委	文科研 基盤研究 B :(R2～R4)
ベーチェット病とサルコイドーシスを対象としたマルチオミックス解析	水木信久(分)	眼科学	20万円	補 委	文科研 基盤研究 C :(R2～R4)
HLAリスク因子陰性のベーチェット病患者を対象としたゲノムワイド関連解析	水木信久(分)	眼科学	10万円	補 委	文科研 基盤研究 C :(R2～R4)
ゲノムデータに基づいた正常眼圧緑内障の発症パスウェイ解析	水木信久(分)	眼科学	20万円	補 委	文科研 基盤研究 C :(R3～R5)
ベーチェット病の臨床亜群形成因子に基づく予後予測	水木信久(分)	眼科学	5万円	補 委	文科研 基盤研究 C :(R3～R5)
ベーチェット病のゲノムワイド亜型解析によるエビデンス創出とレジストリー構築	水木信久(分)	眼科学	5万円	補 委	文科研 基盤研究 B :(R1～R3)
血清エクソソーム由来マイクロRNA解析によるベーチェット病のバイオマーカーの探索	竹内正樹	眼科学	91万円	補 委	文科研 基盤研究 C :(R3～R5)
シスプラチン難聴予防薬剤の臨床応用に向けた内耳障害予防と抗腫瘍効果の比較検討	荒井康裕(代)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	416万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(令和3-6年度)
唾液腺発癌におけるEWSR1-ATF1融合遺伝子の機能解析	折舘伸彦(代)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	416万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(令和3-5年度)
痙攣性発声障害レジストリを活用した診断基準及び重症度分類のバリデーション評価研究	折舘伸彦(分)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	30万円	補 委	AMED難治性疾患実用化事業
痙攣性発声障害疾患レジストリを利用した診断基準及び重症度分類の妥当性評価と改訂に関する研究	折舘伸彦(分)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	助成金なし	補 委	厚労科研難治性疾患政策研究事業(令和3年度)

計: 20

研究開発プロジェクト：がん 難治がんの微小環境からみた新規バイオマーカーおよび治療法の開発	折舘伸彦(代)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	200万円	補 委	横浜市立大学 第5期 戦略的研究推進事業
シスプラチンによる遅発性悪心・嘔吐の原因と新しい治療法の検討；血清鉄過剰の解消	木谷洋輔(代)，高橋秀聡(分)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	416万円	補 委	科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)(令和3-5年度)
スーパーエンハンサーを介した遺伝子発現制御によるHPV関連中咽頭癌発癌機構の解明	佐野大佑(代)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	340万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(令和1-3年度)
唾液腺腺様嚢胞癌と腫瘍関連神経を中心とした癌微小環境の相互作用の解明	高橋秀聡(代)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	429万円	補 委	科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)(令和1-3年度)
がん関連神経を標的とした画期的治療法の開発	高橋秀聡(代)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	100万円	補 委	横浜市立大学 学術的研究推進事業
唾液腺導管癌の癌微小環境における自律神経相互作用の臨床的・分子病理学的意義	高橋秀聡(分)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	416万円	補 委	科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)(令和3-5年度)
サイトカイン網羅的解析による好酸球性中耳炎病態の解明	高橋秀聡(代)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	130万円	補 委	科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)(令和3-5年度)
頭頸部扁平上皮癌オルガノイドの接触型共培養による転移リンパ節被膜外浸潤の機序解明	西村剛志(代)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	390万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(令和3-5年度)
腫瘍関連神経と癌微小環境の相互作用によるHPV関連中咽頭癌発癌機構の解明	波多野 孝(代)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	377万円	補 委	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(令和2-4年度)
創傷治癒および全身性強皮症の血管障害における単球マクロファージの病態的関与	山口由衣(代)	皮膚科学	120万円	補 委	日本学術振興会 令和3年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)
単球・マクロファージ分化・形質異常に基づく全身性強皮症の病態解析	山口由衣(代)	皮膚科学	300万円	補 委	日本皮膚科学会 令和3年度日本皮膚科学会皮膚医学研究基金(ロート製薬寄付)
薬剤性間質性肺炎・重症薬疹に関するバイオマーカー候補の適格性確認と規制要件案の作成に関する研究	山口由衣(分)	皮膚科学	409.5万円	補 委	AMED 令和3年度日本医療研究開発機構研究費(医薬品等規制調和・評価研究事業)
ステロイド全身療法により効果不十分であったスティーヴンス・ジョンソン症候群(SJS)及び中毒性表皮壊死症(TEN)患者を対象とするエタネルセプト療法	山口由衣(分)	皮膚科学	260万円	補 委	AMED 令和3年度日本医療研究開発機構研究費(臨床研究・治験推進研究事業)
非HIV免疫再構築症候群の疾患概念確立とバイオマーカーの研究開発	山口由衣(分)	皮膚科学	34.1万円	補 委	AMED 令和3年度日本医療研究開発機構研究費(免疫アレルギー疾患実用化研究事業)
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	山口由衣(分)	皮膚科学	100万円	補 委	厚生労働省 令和3年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)
重症薬疹の病態におけるγ-chain の役割	渡邉裕子(代)	皮膚科学	80万円	補 委	日本学術振興会 令和3年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究
Periostinによる線維化誘導メカニズムの解明	金岡美和(代)	皮膚科学	10万円	補 委	日本学術振興会 令和3年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究
創傷治癒におけるCOL22A1の発現と病態形成関与の検討	渡邊友也(代)	皮膚科学	100万円	補 委	横浜市立大学 令和3年度学術的研究推進事業 若手研究者支援プロジェクト
創傷治癒におけるCOL22A1の発現と病態形成関与の検討	渡邊友也(代)	皮膚科学	40万円	補 委	横浜市立大学 令和3年度学術的研究推進事業 若手科研費支援プロジェクト
Shear Stress and Endothelial Pathology in Intracranial Atherosclerosis.	Kitajima H (Co-investigator)	口腔外科学	$8,130.84	補 委	National Institute of Health, Research Project (R01)(2020-2024)
口腔癌頸部リンパ節転移に対するICGラクトソームを用いたセラノ	飯田昌樹(代)，來生 知(分)，光藤	口腔外科学	198万円	補	科学研究助成事業(学術研究助成基金

計: 20

るICGファントームを用いたセラノスティクス	來生 知(分), 光藤健司(分)	口腔外科学	198万円	委	助成金)基盤研究(C)(2019-2021年度)
超小型磁気センサー内蔵のカテーテルナビゲーションシステムに関する研究	大屋貴志(代), 佐久間一郎(分), 光藤健司(分)	口腔外科学	299万円	(補) 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(B)(2020-2024年度)
温熱療法とIL-1R阻害薬の臨床応用に向けた併用療法の開発	小栗千里(代), 中島英行(分), 來生知(分), 光藤健司(分)	口腔外科学	75万円	(補) 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(2018-2022年度)
患者由来口腔がんモデルの臨床的有用性(不均一性)を生かした新規治療戦略の創出	來生 知(代)	口腔外科学	470万円	(補) 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(B)
数値流体力学によるシミュレーションを用いたオーダーメイド動注化学療法の開発	北島大朗(代)	口腔外科学	65万円	(補) 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(2019-2022年度)
腫瘍治療電場(TTF)を用いた口腔癌に対する低侵襲治療の開発	小泉敏之(代), 來生 知(分)	口腔外科学	14万円	(補) 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(2017-2021年度)
磁性造影剤を用いたMRLによる口腔癌センチネルリンパ節の同定と転移の検索	杉山聡美(代)	口腔外科学	195万円	(補) 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(2021-2022年度)
造影超音波検査を用いた口腔癌頸部リンパ節転移の革新的早期診断法の確立	杉山聡美(代)	口腔外科学	143万円	(補) 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)研究活動スタート支援(2020-2021年度)
口腔癌に対する腫瘍選択性磁性体を用いたハイパーサーミアによる低侵襲的治療の開発	藤内 祝(代), 光藤健司(分), 小泉敏之(分), 中鍛治里奈(分)	口腔外科学	364万円	(補) 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(B)(2020-2022年度)
炎症シグナルが誘導するサイトカインネットワークと口腔癌転移機構の解明	馬場隼一(代)	口腔外科学	210万円	(補) 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(2021-2022年度)
口腔癌におけるCaveolin-1 とIL-6の役割	光藤健司(代)	口腔外科学	143万円	(補) 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(2018-2021年度)
口腔扁平上皮癌の悪性化に伴う間葉系および骨髄系間質細胞の免疫制御と調節因子の変化	光藤健司(分)	口腔外科学	130万円	(補) 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(2020-2022年度)
休止期腫瘍細胞特性と腫瘍不均一性及び癌幹細胞性との相互関連性解析と癌治療への応用	光藤健司(分)	口腔外科学	130万円	(補) 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(2019-2021年度)
進行口腔癌に対する動注養子免疫療法と免疫チェックポイント阻害剤併用療法の開発	光永幸代(代), 來生 知(分)	口腔外科学	203万円	(補) 委	科学研究助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(2018-2021年度)
新しいPET診断法開発	高橋琢哉(代), 中村 健(分)	リハビリテーション科	15万円	(補) 委	2021年度戦略的研究推進事業
神奈川県におけるスモン患者の現状調査	久留聡(代), 中村 健(分)	リハビリテーション科	60万円	(補) 委	令和3年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)
担がん状態と薬剤耐性に関わるゲノム異常・エピゲノム変化を基盤とした代謝機構の解明	藤井誠志(代)	病理診断科・病理部	429万円	(補) 委	科研費 基盤研究(C)
免疫反応の可視化によるセンチネルリンパ節内転移の画像診断技術の開発	藤井誠志(分)	病理診断科・病理部	20万円	(補) 委	科研費 基盤研究(C)
SCRUM-Japan GI-SCREEN基盤を活用した血液循環腫瘍DNAゲノムスクリーニングに基づくHER2遺伝子異常を有する固形がんに対するDS-8201aの医師主導治験	藤井誠志(分)	病理診断科・病理部	100万円	(補) 委	AMED 臨床研究・治験推進研究事業
「頭頸部表在癌全国登録調査」に基づいた頭頸部表在癌に対する診断・治療法の開発に関する	藤井誠志(分)	病理診断科・病理部	20万円	(補)	AMED 革新的がん医療実用化研究事業

計: 20

研究		理部		委	
高分化型脂肪肉腫の組織亜型を通した，線維増生と炎症細胞誘導に関わる分子機構の解析	加藤生真(代)	病理診断科・病理部	140万円	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究(B)(2019-2021年度)
先天性血小板減少症・止血凝固異常症の遺伝的疾患病態の解明	内山由理	難病ゲノム診断科	468万円	補 委	日本学術振興会 学術研究助成基金助成金　若手研究(2021-2022年度)
極端な表現型に着目した新規自己炎症性疾患の原因遺伝子解明	土田奈緒美	難病ゲノム診断科	416万円	補 委	日本学術振興会 学術研究助成基金助成金　若手研究(2020-2022年度)
SLEの遺伝学的病態解明と治療法の開発	土田奈緒美	難病ゲノム診断科	200万円	補 委	2020年度GSKジャパン研究助成 (2020, 8.～2022, 3.)
新規自己炎症性疾患原因遺伝子の検索	土田奈緒美	難病ゲノム診断科	100万円	補 委	公益財団法人日本リウマチ財団 令和元年度リウマチ性疾患調査・研究助成 (2020, 4.～2025, 3.)
AYA世代および成人T細胞性急性リンパ性白血病の小児型治療適用における限界年齢と新規バイオマーカー探索に関する研究	山崎悦子(分)	臨床検査部	26万円	補 委	AMED (R2.4.1－R5.3.31)
小児から成人をシームレスに対象とした B前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する前方視的臨床試験による標準治療の開発研究	山崎悦子(分)	臨床検査部	28.6万円	補 委	AMED (2019.4.1－2022.3.31)
収縮機能の保持された心不全におけるRANKL/RANK/OPGシステムの役割	上村大輔	臨床検査部	208万円	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) (2021.4－2024.3)
日本の集中治療臨床情報を基盤として人工知能を用いた本邦発の重症度予測モデルの開発とパネルデータ活用環境の醸成	髙木俊介(代)	集中治療部	1800万円	補 委	令和二年度 厚生労働科学研究費 補助金(臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業)
免疫チェックポイント阻害薬による副作用モニタリング	堀田信之(代)	化学療法センター	10万円	補 委	大鵬薬品奨学寄附金(がん領域)
免疫チェックポイント阻害薬による副作用モニタリング	堀田信之(代)	化学療法センター	10万円	補 委	帝人ファーマ株式会社
癌疾患における免疫チェックポイント阻害薬による副作用のリスク,発現パターンを解明するための研究	堀田信之(代)	化学療法センター	50万円	補 委	第一三共奨学寄附金
肝細胞死により誘導される癌幹細胞化と癌悪性化のメカニズム	近藤正晃(代)	消化器内科学	195万円	補 委	令和元年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(令和元年-3年度)
上皮-間葉転換を介した膵臓癌進展メカニズムと治療標的への可能性の検討	佐藤　健(代)	消化器内科学	208万円	補 委	令和元年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(令和元年-3年度)
臨床検体の網羅的遺伝子解析による胃癌不均一性メカニズムの解明	芝田　渉(代)	消化器内科学	117万円	補 委	令和元年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(令和元年-3年度)
エピジェネティックな変化を基盤とする新規胃発癌モデルの構築	前田　愼(代)	消化器内科学	195万円	補 委	令和元年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(令和元年-3年度)
ISXに着目した非H.pylori胃細菌叢除菌による胃発癌対策治療の確立	須江聡一郎(代)	消化器内科学	143万円	補 委	令和2年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)(令和2年-4年度)
難治性肝癌のCD8陽性T細胞誘導を介した免疫療法改善の検討とバイオマーカーの構築	中馬　誠	消化器内科学	416万円	補 委	文部省科学研究費助成 基盤研究(C)(2021-2023年度)

計:　17

進行肝細胞癌における治療方針(分子標的治療, 免疫治療)決定のためのバイオマーカーの確立	中馬　誠	消化器内科学	270万円	㊒補 委	横浜市立大学先進医療推進事業(2020-2022年度)
ct-DNAと剖検検体を用いた膵癌化学療法中に生じる3次元的遺伝子変化の解明	杉森一哉, 杉森慎, 前田　慎	消化器内科学	143万円	㊒補 委	日本学術振興会　科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究©
肝内胆管癌に対するPIC3K阻害薬及びWee1阻害薬の臨床応用に係る基盤研究	金子　卓	消化器内科学	247万円	㊒補 委	日本学術振興会　科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究
膵癌診断におけるリキッドバイオプシー実用化に関する研究	杉森　慎	消化器内科学	50万円	㊒補 委	. 横浜市がん研究助成, 学内先進医療事業, 50症例
血中循環腫瘍由来ドライバー変異遺伝子の定量的モニタリングの臨床的有用性に関する研究	杉森　慎	消化器内科学	50万円	㊒補 委	横浜市がん研究助成, 学内先進医療事業
血中循環腫瘍由来ドライバー変異遺伝子の定量的モニタリングの 臨床的有用性に関する研究	杉森　慎	消化器内科学	50万円	㊒補 委	日本膵臓病研究財団 膵臓病研究奨励賞
PanCAN Young Investigator Award	杉森　慎	消化器内科学	1,200 USD	㊒補 委	パンキャンジャパン
				補 委	

計:　12

合計:　252

(注) 1　国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申 請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、〇印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Kunimoto H, Nakajima H	血液・免疫・感染症内科学 血液グループ	A cornerstone in normal and malignant hematopoiesis.	Cancer Sci, 112(1): 31-40, 2021	Original Article
2	Nakajima H	血液・免疫・感染症内科学 血液グループ	Molecular Pathogenesis and Treatment of Myelodysplastic Syndromes.	Intern Med, 2021 Jan 1;60(1):15-23	Original Article
3	Nakajima H, Murakami K	血液・免疫・感染症内科学 血液グループ	O-GlcNAcylation: Implications in normal and malignant hematopoiesis.	Exp Hematol, 101-102: 16-24, 2021	Original Article
4	Teshigawara-Tanabe H, Hagihara M, Matsumura A, et al.	血液・免疫・感染症内科学 血液グループ	Passenger lymphocyte syndrome after ABO-incompatible allogeneic hematopoietic stem cell transplantation; dynamics of ABO allo-antibody and blood type conversion.	Hematology, 26(1): 835-839, 2021	Case report
5	Hamada N, Maeda A, Takase-Minegishi K, et al.	血液・免疫・感染症内科学 リウマチグループ	Incidence and Distinct Features of Immune Checkpoint Inhibitor-Related Myositis From Idiopathic Inflammatory Myositis: A Single-Center Experience With Systematic Literature Review and Meta-Analysis.	Frontiers in immunology, 12: 803410, 2021	Original Article
6	Hirahara L, Kirino Y, Soejima Y, et al.	血液・免疫・感染症内科学 リウマチグループ	Efficacy and safety of apremilast for 3 months in Behçet's disease: A prospective observational study.	Modern Rheumatology, 31(4): 856-861, 2021	Original Article
7	Iizuka Y, Takase-Minegishi K, Hirahara L, et al.	血液・免疫・感染症内科学 リウマチグループ	Beneficial Effects of Apremilast on Genital Ulcers, Skin Lesions, and Arthritis in Patients With Behçet's Disease: A Systematic Review and Meta-Analysis.	Mod Rheumatol, 2021 Nov 10; roab098	Original Article
8	Kirino Y, Takase-Minegishi K, Tsuchida N, et al.	血液・免疫・感染症内科学 リウマチグループ	Tocilizumab in VEXAS relapsing polychondritis: a single-center pilot study in Japan.	Annals of the Rheumatic Diseases, 80(11): 1501-1502, 2021	Letter
9	Nagai H, Kirino Y, Nakano H, et al.	血液・免疫・感染症内科学 リウマチグループ	Elevated serum gasdermin D N-terminal implicates monocyte and macrophage pyroptosis in adult-onset Still's disease.	Rheumatology (Oxford), 60(8): 3888-3895, 2021	Original Article
10	Kirino Y, Enaka M, Yamaguchi Y, et al.	血液・免疫・感染症内科学 リウマチグループ	Pathogenic UBA1 variants associated with VEXAS syndrome in Japanese patients with relapsing polychondritis.	Ann Rheum Dis, 80: 1057-1061, 2021	Original Article
11	Kato H, Ohya T, Arai Y, Nakagawa K	血液・免疫・感染症内科学 感染グループ	Visualisation of droplet spread produced by a nebuliser during the COVID-19 pandemic.	QJM, 114(9): 623-624, 2021	Original Article
12	Samukawa S, Yoshimi R, Kirino Y, Nakajima H	血液・免疫・感染症内科学 感染グループ	The PRY/SPRY domain of pyrin/TRIM20 interacts with β2-microglobulin to promote inflammasome formation.	Sci Rep, 11(1): 23613, 2021	Original Article
13	Choe H, Kobayashi N, Kobayashi D, et al.	整形外科	Postoperative excessive external femoral rotation in revision total hip arthroplasty is associated with muscle weakness in iliopsoas and gluteus medius and risk for hip dislocation.	Journal of Orthopaedic Surgery and Research. 2021 Oct 9; 16(1): 582	Original Article

計: 13

14	Choe H, Kobayashi N, Oba M, et al.	整形外科	Application of Ultrasonography During Sternocleidomastoid Muscle Release for Congenital Muscular Torticollis: A Case Report	JBJS Case Connecter. 2021 Oct 14; 11(4)	Case report
15	Kumagai K, Fujimaki H, Yamada S, et al.	整形外科	Changes of synovial fluid biomarker levels after opening wedge high tibial osteotomy in patients with knee osteoarthritis.	Osteoarthritis and Cartilage. 2021 Jul; 29(7): 1020-1028	Original Article
16	Nejima S, Kumagai K, Fujimaki H, et al.	整形外科	Medialization of the mechanical axis of the tibia is related to lateralization of the tibial tuberosity in knee osteoarthritis.	The Knee. 2021 Jun; 30: 134-140	Original Article
17	Nejima S, Kumagai K, Fujimaki H, et al.	整形外科	Increased contact area of flange and decreased wedge volume of osteotomy site by open wedge distal tibial tuberosity arc osteotomy compared to the conventional technique.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc, 2021 Oct; 29(10):3450-3457	Original Article
18	Otoshi A, Kumagai K, Yamada S, et al.	整形外科	Return to sports activity after opening wedge high tibial osteotomy in patients aged 70 years and older.	Journal of Orthopaedic Surgery and Research. 2021 Sep 28; 16(1): 576	Original Article
19	Watanabe S, Kobayashi N, Tomoyama A, et al.	整形外科	Clinical characteristics and risk factors for culture-negative periprosthetic joint infections.	Journal of Orthopaedic Surgery and Research. 2021 May 3; 16(1): 292	Original Article
20	Watanabe S, Choe H, Kobayashi N, et al.	整形外科	Prediction of pelvic mobility using whole-spinal and pelvic alignment in standing and sitting position in total hip arthroplasty patients.	Journal of Orthopaedic surgery (Hong Kong). 2021 May-Aug; 29(2): 23094990211019099 (オンライン)	Original Article
21	Choe H, Tatro JM, Hausman BS, et al.	整形外科	Staphylococcus aureus and Acinetobacter baumannii Inhibit Osseointegration of Orthopedic Implants.	Infection and Immunity. 2022 Mar 17; 90(3): e0066921 (オンライン)	Original Article
22	Nejima S, Kumagai K, Yamada S, et al.	整形外科	Risk of interference between the tibial tunnel and locking screws in medial meniscus posterior root repair and open wedge high tibial osteotomy.	Journal of Experimental Orthopaedics. 2022 Mar 15; 9(1): 25	Original Article
23	Abe K, Choe H, Oba M, et al.	整形外科	Inflammation and nutrition based screening tests for detection of infection in cases of rapid hip destruction.	Scientific Reports. 2022 Mar 4; 12(1): 3586	Original Article
24	Choe H, Kobayashi N, Ito Y, et al.	整形外科	Detection of mecA and 16S rRNA Genes Using Real-Time PCR Can Be Useful in Diagnosing Iliopsoas Abscess, Especially in Culture-Negative Cases: RT-PCR for Iliopsoas Abscess.	BioMed Research International. 2022 Feb 11; 2022: 2209609(オンライン)	Original Article
25	Hayashida K, Kawabata Y, Kato I, et al.	整形外科	Clinical and pathological analysis of giant cell tumor of bone with denosumab treatment and local recurrence.	J Orthop Sci. 2022 Jan; 27(1): 215-221	Original Article
26	Adachi S, Oshikata C, Kaneko T, Tsurikisawa N	呼吸器病学	Rituximab and dupilumab improve eosinophilic granulomatosis with polyangiitis with multiple pulmonary thrombi.	Allergy Asthma Clin Immunol, 18: 18, 2022	Original Article
27	Chen H, Matsumoto H, Horita N, et al.	呼吸器病学	Prognostic factors for mortality in invasive pneumococcal disease in adult: a system review and meta-analysis.	Int J Infect Dis, 11: 11865, 2021	Original Article

計: 13

28	Chen H, Ishihara M, Horita N, et al.	呼吸器病学	Effectiveness of Cell-Free and Concentrated Ascites Reinfusion Therapy in the Treatment of Malignancy-Related Ascites: A Systematic Review and Meta-Analysis.	Cancers (Basel), 13: 4873, 2021	Original Article
29	Chen H, Katakura S, Horita N, et al.	呼吸器病学	Immunohistochemical markers to diagnose primary squamous cell carcinoma of the lung: a meta-analysis of diagnostic test accuracy.	Ther Adv Med Oncol, 14: 17588359211065152, 2022	Original Article
30	Chiyako O, Maiko W, Masatsugu I, et al.	呼吸器病学	Mite avoidance decreased mite-specific IgE levels and ameliorated asthma symptoms in subjects who lived in temporary housing after natural disasters.	Allergol Immunopathol (Madr), 49: 171-179, 2021	Original Article
31	Eriguchi T, Takeda A, Tateishi Y, et al.	呼吸器病学	Comparison of stereotactic body radiotherapy and radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma: Systematic review and meta-analysis of propensity score studies.	Hepatol Res, 51: 813-822, 2021	Original Article
32	Fujiwara Y, Horita N, Namkoong H, Galsky MD	呼吸器病学	The effect of adding immune checkpoint inhibitors on the risk of pneumonitis for solid tumours: a meta-analysis of phase III randomised controlled trials.	Eur J Cancer, 150: 168-178, 2021	Original Article
33	Fukuda N, Horita N, Katakura S, et al.	呼吸器病学	The best regimens for chemo-naïve incurable non-squamous non-small cell lung cancer with a programmed death-ligand 1, tumor proportion score 1-49%: a network meta-analysis.	Transl Lung Cancer Res, 10: 3550-3566, 2021	Original Article
34	Fukuda N, Kobayashi N, Masuda M, et al.	呼吸器病学	Clinical Features and Risk Factors for Mortality in Hospitalized Older Adults with Pneumonia.	Can Respir J, 2021: 5644824, 2021	Original Article
35	Fukuda N, Horita N, Namkoong H, et al.	呼吸器病学	Best regimens for treating chemo-naïve incurable squamous non-small cell lung cancer with a programmed death-ligand 1 tumor proportion score of 1%-49%: A network meta-analysis.	Thorac Cancer, 13: 84-94, 2022	Original Article
36	Fukumoto T, Horita N	呼吸器病学	Single or dual immune checkpoint inhibitor as adjuvant therapy in advanced melanoma.	Eur J Cancer, 147: 140-141, 2021	Original Article
37	Hamada N, Maeda A, Takase-Minegishi K, et al.	呼吸器病学	Incidence and Distinct Features of Immune Checkpoint Inhibitor-Related Myositis From Idiopathic Inflammatory Myositis: A Single-Center Experience With Systematic Literature Review and Meta-Analysis.	Front Immunol, 12: 803410, 2021	Original Article
38	Hara Y, Nakashima K, Nagasawa R, et al.	呼吸器病学	Heme oxygenase-1 in patients with interstitial lung disease: A review of the clinical evidence.	Am J Med Sci, 362: 122-129, 2021	Original Article
39	Horita N, Miyagi E, Mizushima T, et al.	呼吸器病学	Severe anaphylaxis caused by intravenous anti-cancer drugs.	Cancer Med, 10: 7174-7183, 2021	Original Article
40	Horita N, Kato H, Watanabe K, et al.	呼吸器病学	Decline in mortality due to respiratory diseases in Japan during the coronavirus disease 2019 pandemic.	Respirology, 27: 175-176, 2022	Original Article

計:　12

41	Hoshi M, Kobayashi N, Tanaka K, et al.	呼吸器病学	Diagnostic utility of transbronchial biopsy for Hodgkin's lymphoma: A case study.	Thorac Cancer, 12: 3281-3285, 2021	Original Article
42	Inoue R, Watanabe K, Saigusa Y, et al.	呼吸器病学	Effect of coexisting advanced extrapulmonary solid cancer on progression of Mycobacterium avium complex lung disease.	J Bras Pneumol, 47: e20200520, 2021	Original Article
43	Inoue R, Watanabe K, Saigusa Y, et al.	呼吸器病学	Effect of coexisting advanced extrapulmonary solid cancer on progression of Mycobacterium avium complex lung disease.	J Bras Pneumol, 47: e20200520, 2021	Original Article
44	Ishii M, Horita N, Takeuchi M, et al.	呼吸器病学	Inhaled Corticosteroid and Secondary Glaucoma: A Meta-analysis of 18 Studies.	Allergy Asthma Immunol Res, 13: 435-449, 2021	Original Article
45	Kamada K, Konno S, Kaneko T, et al.	呼吸器病学	The effect of the outbreak of COVID-19 on respiratory physicians and healthcare in Japan: Serial nationwide surveys by the Japanese Respiratory Society.	Respir Investig, 59: 792-798, 2021	Original Article
46	Kamimaki C, Kobayashi N, Hirata M, et al.	呼吸器病学	T-cell response to phytohemagglutinin in the interferon-γ release assay as a potential biomarker for the response to immune checkpoint inhibitors in patients with non-small cell lung cancer.	Thorac Cancer, 12: 1726-1734, 2021	Original Article
47	Kamimaki C, Yamamoto M, Sawazumi T, et al.	呼吸器病学	A functionally improved case of obstructive impairment caused by systemic lupus erythematosus.	Breathe (Sheff), 17: 200288, 2021	Original Article
48	Kimura Y, Nakai Y, Shin J, et al.	呼吸器病学	Identification of serum prognostic biomarkers of severe COVID-19 using a quantitative proteomic approach.	Sci Rep, 11: 20638, 2021	Original Article
49	Kobayashi N, Katakura S, Kamimaki C, et al.	呼吸器病学	Resistance mechanisms of epidermal growth factor receptor tyrosine kinase inhibitors in non-small cell lung cancer patients: A meta-analysis.	Thorac Cancer, 12: 1096-1105, 2021	Original Article
50	Matsumoto H, Horita N, Ito K, et al.	呼吸器病学	Disease control and objective responsive rates in randomized phase II trials evaluating non-first-line chemotherapy for non-small cell lung cancer: a systematic review of 74 trials.	Transl Lung Cancer Res, 10: 2278-2289, 2021	Original Article
51	Matsumoto H, Kobayashi N, Somekawa K, et al.	呼吸器病学	Pembrolizumab monotherapy versus pembrolizumab plus chemotherapy in patients with non-small-cell lung cancer: A multicenter retrospective trial.	Thorac Cancer, 13: 228-235, 2022	Original Article
52	Miyake S, Higurashi T, Jono T, et al.	呼吸器病学	Real-world evaluation of a computed tomography-first triage strategy for suspected Coronavirus disease 2019 in outpatients in Japan: An observational cohort study.	Medicine (Baltimore), 100: e26161, 2021	Original Article
53	Miyakawa K, Kubo S, Stanleyraj Jeremiah S, et al.	呼吸器病学	Persistence of Robust Humoral Immune Response in Coronavirus Disease 2019 Convalescent Individuals Over 12 Months After Infection.	Open Forum Infect Dis, 9: ofab626, 2021	Original Article

計: 13

54	Mukae H, Kaneko T, Obase Y, et al.	呼吸器病学	JRS guidelines committee for the management of cough and sputum: The Japanese respiratory society guidelines for the management of cough and sputum (digest edition).	Respir Investig, 59: 270-290, 2021	Original Article
55	Nagano A, Takeuchi M, Horita N, et al.	呼吸器病学	Ehçet's disease and activities of daily living.	Rheumatology (Oxford), 61:1133-114, 2022	Original Article
56	Nishikawa Y, Hara Y, Tagami Y, et al.	呼吸器病学	The Extent of Honeycombing on Computed Tomography Cannot Predict the Treatment Outcome of Patients with Acute Exacerbations of Interstitial Lung Disease.	Can Respir J, 2021: 7456315, 2021	Original Article
57	Oshikata C, Watanabe M, Hashimoto K, et al.	呼吸器病学	Mite allergen avoidance decreases allergic symptoms in children in Ishinomaki city of Japan after natural disasters.	Allergol Immunopathol (Madr), 50: 23-32, 2021	Original Article
58	Shinoda M, Shinkai M, Hara Y, et al.	呼吸器病学	Efficacy and safety of carboplatin and pemetrexed followed by maintenance with pemetrexed for elderly patients with advanced non-squamous non-small cell lung cancer: A single-arm, open-label, multicenter, phase II study.	Asia Pac J Clin Oncol, 17: 486-494, 2021	Original Article
59	Somekawa K, Horita N, Kaneko A, et al.	呼吸器病学	Adverse events induced by nivolumab and ipilimumab combination regimens.	Ther Adv Med Oncol, 14:17588359211058393, 2022	Original Article
60	Tagami Y, Hara Y, Murohashi K, et al.	呼吸器病学	Comparison of Clinical Features between the High and Low Serum KL-6 Patients with Acute Exacerbation of Interstitial Lung Diseases.	Can Respir J, 2021: 9099802, 2021	Original Article
61	Tateishi Y, Horita N, Namkoong H, et al.	呼吸器病学	Postoperative radiotherapy for completely resected Masaoka/Masaoka-Koga stage II/III thymoma improves overall survival: An updated meta-analysis of 4,746 patients.	J Thorac Oncol, 16: 677-685, 2021	Original Article
62	Tateishi Y, Takeda A, Horita N, et al.	呼吸器病学	Stereotactic body radiotherapy with a high maximum dose improves local control, cancer-specific death and overall survival in peripheral early-stage non-small cell lung cancer.	Int J Radiat Oncol Biol Phys, 111: 143-151, 2021	Original Article
63	Teranishi S, Sugimoto C, Nagayama H, et al.	呼吸器病学	Combination of Pembrolizumab With Platinum-containing Chemotherapy for Pulmonary Enteric Adenocarcinoma.	Cancer Diagn Prog, 2: 253-257, 2022	Original Article
64	Ushio R, Yamamoto M, Miyasaka A, et al.	呼吸器病学	Nivolumab-induced Vogt-Koyanagi-Harada-like Syndrome and Adrenocortical Insufficiency with Long-term Survival in a Patient with Non-small-cell Lung Cancer.	Intern Med, 60: 3593-3598, 2021	Original Article
65	Watanabe K, Horita N, Kaneko T	呼吸器病学	The triple therapy for chronic obstructive pulmonary disease increases the risk of pneumonias compared to the dual-bronchodilator therapy.	J Thorac Dis, 13: 6099-6101, 2021	Original Article

計: 12

66	Gohbara M, Sugano T, Ishikawa T, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	A case of a coronary covered stent for repeated restenosis at the anastomosis site between saphenous vein graft and graft prosthesis.	Journal of Cardiology Case, 9: 31, 2021	Original Article
67	Gohbara M, Iwahashi N, Sato R, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Skeletal muscle mass is associated with glycemic variability in patients with ST segment elevation myocardial infarction.	Heart Vessels, 36(7): 945-954, 2021	Original Article
68	Gohbara M, Iwahashi N, Nakahashi H, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Clinical impact of admission urinary 8-hydroxydeoxyguanosine level for predicting cardiovascular mortality in patients with acute coronary syndrome.	Heart Vessels, 36(1): 38-47, 2021	Original Article
69	Gohbara M, Sugano T, Narikawa M, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Bailout technique for the guide extension catheter entrapment by a coronary stent.	Cardiovasc Interv Ther, Jan;37(1):211-212,2022	Original Article
70	Ishigami T, Nanki T, Sugawara T, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	On Behalf Of Oracle Arthritis Investigators: Rationale and Design of the Orencia Atherosclerosis and Rheumatoid Arthritis Study (ORACLE Arthritis Study): Implications of Biologics against Rheumatoid Arthritis and the Vascular Complications, Subclinical Atherosclerosis.	Methods Protoc, 4(4): 83, 2021	Original Article
71	Kamimura D, Cain-Shields LR, Clark D, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Physical Activity, Inflammation, Coronary Artery Calcification, and Incident Coronary Heart Disease in African Americans: Insights From the Jackson Heart Study.	Mayo Clin Proc, 96: 901-911, 2021	Original Article
72	Kato S, Fukui K, Kodama S, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Prognostic value of resting coronary sinus flow determined by phase-contrast cine cardiovascular magnetic resonance in patients with known or suspected coronary artery disease.	J Cardiovasc Magn Reson, 23(1): 97, 2021	Original Article
73	Kato S, Kitamura H, Hayakawa K, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Coronary artery disease and heart failure in patients with idiopathic pulmonary fibrosis.	Heart Vessels, 36(8): 1151-1158, 2021	Original Article
74	Kato S, Fukui K, Kodama S, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Cardiovascular magnetic resonance assessment of coronary flow reserve improves risk stratification in heart failure with preserved ejection fraction.	J Cardiovasc Magn Reson, 23(1): 112, 2021	Original Article
75	Kawai Y, Uneda K, Yamada T, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Comparison of effects of SGLT-2 inhibitors and GLP-1 receptor agonists on cardiovascular and renal outcomes in type 2 diabetes mellitus patients with/without albuminuria: A systematic review and network meta-analysis.	Diabetes Res Clin Pract, 183: 109146, 2021	Original Article
76	Kawai Y, Toya Y, Wakui H, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Potential effective treatment of shortening continuous erythropoietin receptor activator treatment interval combined with iron supplementation in hemodialysis patients.	J Pharmacol Sci, 147(1): 118-125, 2021	Original Article
77	Kawai Y, Toya Y, Wakui H, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Comparison of the effects of weekly and biweekly intravenous CERA administration on erythropoiesis: A randomized controlled trial.	J Clin Hypertens, 23(4): 870-878, 2021	Original Article

計: 12

78	Kawai Y, Sankoda A, Waki K, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Efficacy of the Self-management Support System DialBetesPlus for Diabetic Kidney Disease: Protocol for a Randomized Controlled Trial.	JMIR Res Protoc, 10(8): e31061, 2021	Original Article
79	Kinguchi S, Wakui H, Ito Y, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Relationship between basal sodium intake and the effects of dapagliflozin in albuminuric diabetic kidney disease.	Sci Rep, 11(1): 951, 2021	Original Article
80	Konishi M, Akiyama E, Matsuzawa Y, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Prognostic impact of muscle and fat mass in patients with heart failure.	J Cachexia Sarcopenia Muscle, 12(3): 568-576, 2021	Original Article
81	Konishi M, Akiyama E, Shibata A, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Moderate potassium lowering effect of exogenous atrial natriuretic peptide in patients with acute heart failure.	J Cardiol, 78(6): 558-563, 2021	Original Article
82	Konishi M, Kagiyama N, Kamiya K, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Impact of sarcopenia on prognosis in patients with heart failure with reduced and preserved ejection fraction.	Eur J Prev Cardiol, 28: 1022-1029, 2021	Original Article
83	Narikawa M, Kiyokuni M, Hosoda J, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	A case report of pulmonary vein isolation with radiofrequency catheter using superior vena cava approach in patient with paroxysmal atrial fibrillation and inferior vena cava filter.	Eur Heart J Case Rep, 5(2): ytaa562, 2021	Original Article
84	Nitta M, Ochiai R, Nakano S, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Characteristics of patients with adult congenital heart disease treated by non-specialized doctors: The potential loss of follow-up.	Journal of Cardiology, 77: 17-22, 2021	Original Article
85	Nozaki K, Kamiya K, Hamazaki N, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Validity and utility of the questionnaire-based FRAIL scale in elderly patients with heart failure: Findings from the FRAGILE-HF.	J Am Med Dir Assoc, 22(8): 1621-1626, 2021	Original Article
86	Saigo S, Kino T, Uchida K, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Blood Pressure Elevation of Tubular Specific (P)RR Transgenic Mice and Lethal Tubular Degeneration due to Possible Intracellular Interactions between (P)RR and Alternative Renin Products.	Int J Mol Sci, 23(1): 302, 2021	Original Article
87	Saigo S, Nitta M, Shigenaga A, Ishikawa T, Tamura K, Kimura K	循環器・腎臓・高血圧内科学	Ingenuity of transthoracic echocardiogram in diagnosing acute aortic dissection: A case report.	J Echocardiogr, 19(4): 263-265, 2021	Original Article
88	Suzuki T, Kamimura D, Wakui H, Tamura K	循環器・腎臓・高血圧内科学	May need more comprehensive approach to residual risks in well controlled hypertensive patients.	Hypertens Res, 44(2): 253-255, 2021	Original Article
89	Taguchi S, Azushima K, Yamaji T, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Effects of tumor necrosis factor-α inhibition on kidney fibrosis and inflammation in a mouse model of aristolochic acid nephropathy.	Sci Rep, 11(1): 23587, 2021	Original Article

計:　12

90	Tamura K, Uchida K, Ishigami T	循環器・腎臓・高血圧内科学	An interesting link between quality of sleep and a measure of blood pressure variability.	J Clin Hypertens (Greenwich), 23(2): 331-333, 2021	Original Article
91	Tamura K, Azushima K, Kinguchi S, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	ATRAP, a receptor-interacting modulator of kidney physiology, as a novel player in blood pressure and beyond.	Hypertens Res,45(1):32-39,2022	Original Article
92	Urate S, Wakui H, Azushima K, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Aristolochic Acid Induces Renal Fibrosis and Senescence in Mice.	Int J Mol Sci, 22(22): 12432, 2021	Original Article
93	Uneda K, Kawai Y, Yamada T, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Systematic review and meta-analysis for prevention of cardiovascular complications using GLP-1 receptor agonists and SGLT-2 inhibitors in obese diabetic patients.	Sci Rep, 11(1): 10166, 2021	Original Article
94	Uneda K, Kayo T, Akiba S, et al.	循環器・腎臓・高血圧内科学	Therapeutic potential of ubaien for refractory gastrointestinal diseases: Japanese case reports and literature review.	Traditional & Kampo Medicine, 8(3): 234-237, 2021	Original Article
95	Li J, Inoue R, Togashi Y, Okuyama T, et al.	内分泌・糖尿病内科	Imeglimin ameliorates beta-cell apoptosis by modulating the endoplasmic reticulum homeostasis pathway.	Diabetes. 2022 Mar 1;71(3):424-439	Original Article
96	Okuyama T, Kyohara M, Terauchi Y, Shirakawa J	内分泌・糖尿病内科	The Roles of the IGF Axis in the Regulation of the Metabolism: Interaction and Difference between Insulin Receptor Signaling and IGF-I Receptor Signaling.	Int J Mol Sci. 2021 Jun 24;22(13):6817	Original Article
97	Terauchi Y, Takada T, Yoshida S	内分泌・糖尿病内科	A randomized controlled trial of a structured program combining aerobic and resistance exercise for adults with type 2 diabetes in Japan.	Diabetology International, 13(1): 75-84, 2022	Original Article
98	Terui S, Akamatsu R, Arai M, et al.	内分泌・糖尿病内科	Immediate Glucose-Lowering Effect After the First Administration of Dulaglutide: A Retrospective, Single-Center, Observational Study.	Diabetes Ther. 2021 Nov;12(11):2873-2889	Original Article
99	Ueda N, Higashiyama Y, Saito A, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Relationship between motor learning and gambling propensity in Parkinson's disease.	J Clin Exp Neuropsychol. 44(1):50-61, 2022	Original Article
100	Ueda N, Higashiyama Y, Saito A, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Relationship between motor learning and gambling propensity in Parkinson's disease.	J Clin Exp Neuropsychol. 44(1):50-61, 2022	Original Article
101	Kytövuori L, Sipilä J, Doi H, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Biallelic expansion in RFC1 as a rare cause of Parkinson's disease.	NPJ Parkinsons Dis. 8(1):6, 2022	Original Article
102	Morihara K, Higashiyama Y, Asano S, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Seen by a Glance, But Not by a Stare-A Case Study of a Patient With Simultanagnosia.	Arch Clin Neuropsychol 37(4):865-871, 2022	Original Article
103	Ando A, Riku Y, Akagi A, Miyahara H, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Multiple system atrophy variant with severe hippocampal pathology.	Brain Pathol, 32(1):e13002, 2022	Original Article
104	Niino M, Fukumoto S, Okuno T, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Correlation of the symbol digit modalities test with the quality of life and depression in Japanese patients with multiple sclerosis.	Mult Scler Relat Disord. 57:103427, 2022	Original Article

計:　14

105	Higashiyama Y, Hamada T, Saito A, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Neural mechanisms of foreign accent syndrome: Lesion and network analysis.	Neuroimage Clinical, 31: 102760, 2021	Original Article
106	Komiya H, Takeuchi H, Ogawa Y, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Ablation of interleukin-19 improves motor function in a mouse model of amyotrophic lateral sclerosis.	Mol Brain, 14(1): 74, 2021	Original Article
107	Yamaura G, Ito T, Miyaji Y, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Therapeutic efficacy of heparin and direct factor Xa inhibitors in cancer-associated cryptogenic ischemic stroke with venous thromboembolism.	Thromb Res, 206: 99-103, 2021	Original Article
108	Komiya H, Harada K, Morishita R, et al.	神経内科学・脳卒中医学	“COVID arm” detected by MR neurography.	eNeurological Sci, 25: 100377, 2021	Original Article
109	Fukuda H, Yamaguchi D, Nyquist K, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Father-to-offspring transmission of extremely long NOTCH2NLC repeat expansions with contractions: genetic and epigenetic profiling with long-read sequencing.	Clin Epigenet, 13(1): 204, 2021	Original Article
110	Hori H, Kudo Y, Kuroiwa Y, Tanaka F	神経内科学・脳卒中医学	Azure Lunulae and Leukoencephalopathy in Wilson Disease.	Intern Med, 60: 1479, 2021	Original Article
111	Hamada T, Higashiyama Y, Saito A, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Qualitative Deficits in Verbal Fluency in Parkinson’s Disease with Mild Cognitive Impairment: A Clinical and Neuroimaging Study.	J Parkinsons Dis, 11(4): 2005-2016, 2021	Original Article
112	Morihara K, Kakinuma K, Kobayashi E, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Improvement in callosal disconnection syndrome with recovery of callosal connectivity.	NEUROCASE, 27(3): 323-331, 2021	Original Article
113	Koizumi R, Ueda N, Mugita A, Kimura K, Kishida H, Tanaka F	神経内科学・脳卒中医学	Extremely Early Detection of Preclinical Magnetic Resonance Imaging Abnormality in Creutzfeldt-Jakob Disease With the V180I Mutation.	Frontiers in Neurology, 12: 751750, 2021	Case report
114	Mizuguchi T, Toyota T, Miyatake S, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Complete sequencing of expanded SAMD12 repeats by long-read sequencing and Cas9-mediated enrichment.	Brain, 144(4): 1103-1117, 2021	Original Article
115	Johkura K, Takahashi K, Kudo Y, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Cerebral perfusion changes in chronic dizziness: A single-photon emission computed tomography study.	eNeurological Sci, 25: 100367, 2021	Original Article
116	Kudo Y, Takahashi K, Sugawara E, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Bedside video-oculographic evaluation of eye movements in acute supratentorial stroke patients: A potential biomarker for hemispatial neglect.	Journal of the Neurological Sciences, 425: 117442, 2021	Original Article
117	Takahashi K, Johkura K	神経内科学・脳卒中医学	Adduction-abduction asymmetry in video head impulse test gain.	Auris Nasus Larynx, 48(6): 1229-1230, 2021	Original Article

計: 14

118	Amari K, Sugawara E, Yamamoto R, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Antiplatelet Loading Effects Prior to Endovascular Treatment: Carotid Artery Stenosis versus Unruptured Cerebral Aneurysms.	JNET J Neuroendovasc Ther, 15: 347-351, 2021	Original Article
119	Ikezawa J, Yokochi F, Okiyama R, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Is Generalized and Segmental Dystonia Accompanied by Impairments in the Dopaminergic System?	Front Neurol, 12: 751434, 2021	Original Article
120	Kumutpongpanich T, Ogasawara M, Ozaki A, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Clinicopathologic Features of Oculopharyngodistal Myopathy With LRP12 CGG Repeat Expansions Compared With Other Oculopharyngodistal Myopathy Subtypes.	JAMA neurology, 78(7): 853-863, 2021	Original Article
121	Ota S, Kanno S, Morita A, Narita W, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Echolalia in patients with primary progressive aphasia.	Eur J Neurol, 28(4): 1113-1122, 2021	Original Article
122	Iwase T, Yoshida M, Iwasaki Y, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Selective extension of cerebral vascular calcification in an autopsy case of Fahr's syndrome associated with asymptomatic hypoparathyroidism.	Neuropathology, 41(5): 387-395, 2021	Original Article
123	Kimura M, Hashiguchi S, Tanaka K, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Takotsubo Cardiomyopathy in Bickerstaff Brainstem Encephalitis Triggered by COVID-19.	Front Neurol, 24(12): 822247, 2021	Case report
124	Lipponen J, Helisalmi S, Raivo J, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Molecular epidemiology of hereditary ataxia in Finland.	BMC Neurol, 21(1): 382, 2021	Original Article
125	Landin-Romero R, Liang C, Monroe P, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Brain changes underlying progression of speech motor programming impairment.	Brain Communications, 3(3): fcab205: 2021	Original Article
126	Kuroda N, Kubota T, Horinouchi T, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Risk factors for psychological distress in electroencephalographytechnicians during the COVID-19 pandemic: A national-level cross-sectional survey in Japan.	Epilepsy Behav, 125: 108361, 2021	Original Article
127	Nomoto M, Konopaske GT, Yamashita N, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Clinical evidence that a dysregulated master neural network modulator may aid in diagnosing schizophrenia.	Proc Natl Acad Sci U S A, 118(31): e2100032118, 2021	Original Article
128	Maxwell BA, Gwon Y, Mishra A, et al.	神経内科学・脳卒中医学	Ubiquitination is essential for recovery of cellular activities after heat shock.	Science, 372(6549): eabc3593, 2021	Original Article
129	Aoyama J, Kuwahara T, Sano D, et al.	がん総合医科学	Combination of Performance Status and Lymphocyte-monocyte Ratio as a Novel Prognostic Marker for Patients With Recurrent/Metastatic Squamous Cell Carcinoma of the Head and Neck.	Cancer Diagn Progn. 2021 Jul 3;1(4):353-361	Original Article
130	Kessoku T, Uneno Y, Urushibara-Miyachi Y, et al.	がん総合医科学	Development of a list of competencies and entrustable professional activities for resident physicians during death pronouncement: a modified Delphi study.	BMC Med Educ. 2022 Feb 22;22(1):119	Original Article

計: 13

131	Sato S, Oshima Y, Matsumoto Y, et al.	がん総合医科学	The new prognostic score for unresectable or recurrent gastric cancer treated with nivolumab: A multi-institutional cohort study.	Ann Gastroenterol Surg. 2021 Jul 13;5(6):794-803	Original Article
132	Iwaki M, Kessoku T, Kanamori T, et al.	がん総合医科学	Tapentadol Safety and Patient Characteristics Associated with Treatment Discontinuation in Cancer Therapy: A Retrospective Multicentre Study in Japan.	Pain Ther, 2021 Dec;10(2): 1635-1648	Case report
133	Kobayashi N, Takano S, Ito K, et al.	がん総合医科学	Safety and efficacy of peptide receptor radionuclide therapy with 177Lu-DOTA0-Tyr3-octreotate in combination with amino acid solution infusion in Japanese patients with somatostatin receptor-positive, progressive neuroendocrine tumors.	Ann Nucl Med. 2021 Dec;35(12):1332-1341	Original Article
134	Suzuki C, Yamada A, Adachi S, et al.	がん総合医科学	Bromodomain-containing Protein 4 Is a Favourable Prognostic Factor in Breast Cancer Patients.	Anticancer Res. 2021 Jul;41(7):3597-3606	Original Article
135	Ozaki A, Kessoku T, Kasai Y, et al.	がん総合医科学	Elobixibat Effectively Relieves Chronic Constipation in Patients with Cancer Regardless of the Amount of Food Intake.	Oncologist. 2021 Oct;26(10):e1862-e1869	Original Article
136	Kobayashi N, Wild D, Kaul F, et al.	がん総合医科学	Retrospective study of peptide receptor radionuclide therapy for Japanese patients with advanced neuroendocrine tumors.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2021 Sep;28(9): 727-739	Original Article
137	Sekizawa K, Nakagawa K, Ichikawa Y, et al.	がん総合医科学	Relationship between stromal regulatory T cells and the response to neoadjuvant chemotherapy for locally advanced rectal cancer.	Surg Today. 2022 Feb;52(2):198-206	Original Article
138	Kurita Y, Fujita Y, Sekino Y, et al.	がん総合医科学	IgG4-related sclerosing cholangitis may be a risk factor for cancer.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2021 Jun;28(6):524-532	Original Article
139	Mikami Y, Yamada A, Suzuki C, et al.	がん総合医科学	Predicting Nonsentinel Lymph Node Metastasis in Breast Cancer: A Multicenter Retrospective Study.	J Surg Res. 2021 Aug;264:45-50	Original Article
140	Hasegawa S, Kobayashi N, Okubo N, et al.	がん総合医科学	Pathological Findings of the Host Immune Reaction in the Tumor Microenvironment of Gastroenteropancreatic Neuroendocrine Neoplasms.	Intern Med. 2021 Apr 1;60(7):977-983	Original Article
141	Nemoto H, Uchida K, Minami T, et al.	心臓血管外科	A massive postoperative stroke caused by a carotid thrombus that occurred during the surgical repair of an aortic dissection.	SAGE Open Medical Case Reports, 9:1-4, 2021	Original Article
142	Tamagawa H, Aoyama T, Numata M, et al.	消化器外科	Prognostic significance of the preoperative C-reactive protein-to-albumin ratio in patients with colorectal cancer.	Journal of Cancer Research and Therapeutics, 17(4): 1075-1080, 2021	Original Article
143	Tamagawa H, Numata M, Aoyama T, et al.	消化器外科	Impact of Intraoperative Blood Loss on the Survival of Patients With Stage II/III Colorectal Cancer: A Multicenter Retrospective Study.	In Vivo, 35(6):3483-3488, 2021	Original Article

計: 13

144	Aoyama T, Nakazono M, Segami K, et al.	消化器外科	The Clinical Influence of the C-Reactive Protein-to-Albumin Ratio in Patients Who Received Curative Treatment for Gastric Cancer.	In Vivo, 35(6):3475-3482, 2021	Original Article
145	Aoyama T, Nakazono T, Nagasawa S, Segami K	消化器外科	Clinical impact of a perioperative exercise program for Sarcopenia and overweight/Obesity gastric Cancer.	In Vivo, 35(2):707-712,2021	Original Article
146	Aoyama T, Nakazono M, Segami K, et al.	消化器外科	Safety and Feasibility of Gastrectomy for Gastric Cancer in Patients Receiving Antiplatelet and/or Anticoagulation Treatment.	Anticancer Research, 41(11):5605-5610, 2021	Original Article
147	Numata M, Tamagawa H, Kazama K, et al.	消化器外科	Potential Benefits of Minimally Invasive Laparoscopy in Reducing Local Recurrence After Surgery for Low Rectal Cancer.	Anticancer Research, 41(5):2617-2623, 2021	Original Article
148	Atsumi Y, Kawahara S, Kakuta S, et al.	消化器外科	Low Preoperative Albumin-to-Globulin Ratio Is a Marker of Poor Prognosis in Patients With Esophageal Cancer.	In Vivo, 35(6):3555-3561, 2021	Original Article
149	Atsumi Y, Rino Y, Aoyama T, et al.	消化器外科	A Gender Comparison of Bone Metabolic Changes After Gastric Cancer Surgery: A Prospective Observational Study.	In Vivo, 35(4):2341-2348,2021.	Original Article
150	Atsumi Y, Numata M, Kazama K, et al.	消化器外科	Can D3 Lymph Node Dissection for Patients With Colon Cancer With a Poor C-Reactive Protein/Albumin Ratio Improve Survival Outcomes?	Anticancer Research, 41(10):5097-5106, 2021	Original Article
151	Aoyama T, Nakazono M, Nagasawa S, et al.	消化器外科	The Association of the Lymphocyte-to-C-Reactive- Protein Ratio With Gastric Cancer Patients Who Receive Curative Treatment.	In Vivo, 2022 Jan-Feb; 36(1):482-489	Original Article
152	Kazama K, Shiozawa M, Numata M, et al.	消化器外科	Comparison of safety and efficacy of fluorouracil＋oxaliplatin＋irinotecan (FOLFOXIRI) and modified FOLFOXIRI with bevacizumab for metastatic colorectal cancer: data from clinical practice.	International Journal of Colorectal Disease, 37(2):337-348, 2022 Feb	Original Article
153	Numata M, Shiozawa M, Godai T, et al.	消化器外科	Prediction of lateral lymph node metastasis using OSNA method for mesorectal lymph nodes in low rectal cancer: A prospective study by the Kanagawa Yokohama Colorectal Cancer Study Group (KYCC1801).	Journal of Surgical Oncology, 125(3):457-464, 2022 Mar	Original Article
154	Suganuma N, Kawachi K, Yamashita T, et al.	乳腺甲状腺外科	Quality Control of Breast Cancer Surgery Samples: Introducing Time Stamp Checking.	Biopreservation and Biobanking, 19(5):369-375, 2021	Original Article
155	Yamamoto H, Matsuyama R, Kumamoto T, et al.	消化器・腫瘍外科学	Mortality, morbidity, and failure to rescue in hepatopancreatoduodenectomy: An analysis of patients registered in the National Clinical Database in Japan.	J Hepatobiliary Pancreat Sci, 28(4): 305-316, 2021	Original Article

計: 12

156	Matsuyama R, Matsuo K, Mori R, et al.	消化器・腫瘍外科学	Incidental Gallbladder Cancer on Cholecystectomy: Strategy for Re-resection of Presumed Benign Diseases from a Retrospective Multicenter Study by the Yokohama Clinical Oncology Group.	In Vivo, 35(2): 1217-1225, 2021	Original Article
157	Ishibe A, Watanabe J, Ota M, Endo I	消化器・腫瘍外科学	Response to the Comments on "A Prospective, Single-Arm, Multicenter Trial of Diverting Stoma Followed by Neoadjuvant Chemotherapy Using mFOLFOX6 for Obstructive Colon Cancer: YCOG1305 (PROBE study)".	Ann Surg, 274(6): e879-e880, 2021	Original Article
158	Ozawa M, Ishibe A, Suwa Y, et al.	消化器・腫瘍外科学	A novel discriminant formula for the prompt diagnosis of strangulated bowel obstruction.	Surg Today, 51(8): 1261-1267, 2021	Original Article
159	Yamada A, Kumamaru H, Shimizu C, et al.	消化器・腫瘍外科学	Systemic therapy and prognosis of older patients with stage II/III breast cancer: A large-scale analysis of the Japanese Breast Cancer Registry.	Eur J Cancer, 154: 157-166, 2021	Original Article
160	Fukuoka H, Watanabe J, Oshi M, et al.	消化器・腫瘍外科学	The risk factors for incisional hernia after laparoscopic colorectal surgery: a multicenter retrospective study at Yokohama Clinical Oncology Group.	Surg Endosc, 35(7): 3471-3478, 2021	Original Article
161	Fukuoka H, Andou T, Moriya T, et al.	消化器・腫瘍外科学	Sulphur metabolism in colon cancer tissues: a case report and literature review.	J Int Med Res, 49(11): 3000605211059936, 2021	Original Article
162	Oshi M, Satyananda V, Angarita FA, et al.	消化器・腫瘍外科学	Angiogenesis is associated with an attenuated tumor microenvironment, aggressive biology, and worse survival in gastric cancer patients.	Am J Cancer Res, 11(4): 1659-1671, 2021	Original Article
163	Oshi M, Angarita FA, Tokumaru Y, et al.	消化器・腫瘍外科学	A Novel Three-Gene Score as a Predictive Biomarker for Pathologically Complete Response after Neoadjuvant Chemotherapy in Triple-Negative Breast Cancer.	Cancers (Basel), 13(10): 2401, 2021	Original Article
164	Oshi M, Gandhi S, Tokumaru Y, et al.	消化器・腫瘍外科学	Conflicting roles of EGFR expression by subtypes in breast cancer.	Am J Cancer Res, 11(10): 5094-5110, 2021	Original Article
165	Oshi M, Gandhi S, Huyser MR, et al.	消化器・腫瘍外科学	MELK expression in breast cancer is associated with infiltration of immune cell and pathological compete response (pCR) after neoadjuvant chemotherapy.	Am J Cancer Res, 11(9): 4421-4437, 2021	Original Article
166	Oshi M, Kawaguchi T, Yan L, et al.	消化器・腫瘍外科学	Immune cytolytic activity is associated with reduced intra-tumoral genetic heterogeneity and with better clinical outcomes in triple negative breast cancer.	Am J Cancer Res, 11(7): 3628-3644, 2021	Original Article
167	Oshi M, Gandhi S, Angarita FA, et al.	消化器・腫瘍外科学	A novel five-gene score to predict complete pathological response to neoadjuvant chemotherapy in ER-positive/HER2-negative breast cancer.	Am J Cancer Res, 11(7): 3611-3627, 2021	Original Article

計:　12

168	Oshi M, Patel A, Le L, et al.	消化器・腫瘍外科学	G2M checkpoint pathway alone is associated with drug response and survival among cell proliferation-related pathways in pancreatic cancer.	Am J Cancer Res, 11(6): 3070-3084, 2021	Original Article
169	Oshi M, Tokumaru Y, Angarita FA, et al.	消化器・腫瘍外科学	Adipogenesis in triple-negative breast cancer is associated with unfavorable tumor immune microenvironment and with worse survival.	Sci Rep, 11(1): 12541, 2021	Original Article
170	Oshi M, Murthy V, Takahashi H, et al.	消化器・腫瘍外科学	Urine as a Source of Liquid Biopsy for Cancer.	Cancers (Basel), 13(11): 2652, 2021	Original Article
171	Ohya H, Watanabe J, Goto K, et al.	消化器・腫瘍外科学	Study protocol: a multicenter randomized controlled trial of the multifaceted workload reduction of the anti-adhesion barrier for diverting ileostomy in laparoscopic rectal surgery, YCOG 2005 (ADOBARRIER study).	Int J Colorectal Dis, 36(12): 2763-2768, 2021	Original Article
172	Toyoda J, Sahara K, Tsilimigras DI, et al.	消化器・腫瘍外科学	Survival Benefit of Primary Tumor Resection Among Elderly Patients with Pancreatic Neuroendocrine Tumors.	World J Surg, 45(12): 3643-3651, 2021	Original Article
173	Chouliaras K, Oshi M, Asaoka M, et al.	消化器・腫瘍外科学	Increased intratumor heterogeneity, angiogenesis and epithelial to mesenchymal transition pathways in metaplastic breast cancer.	Am J Cancer Res, 11(9): 4408-4420, 2021	Original Article
174	Gandhi S, Oshi M, Murthy V, et al.	消化器・腫瘍外科学	Enhanced Thermogenesis in Triple-Negative Breast Cancer Is Associated with Pro-Tumor Immune Microenvironment.	Cancers (Basel), 13(11): 2559, 2021	Original Article
175	Huang JL, Oshi M, Endo I, Takabe K	消化器・腫瘍外科学	Clinical relevance of stem cell surface markers CD133, CD24, and CD44 in colorectal cancer.	Am J Cancer Res, 11(10): 5141-5154, 2021	Original Article
176	McDonald KA, Oshi M, Kawaguchi T, et al.	消化器・腫瘍外科学	Development of KAM score to predict metastasis and worse survival in breast cancer.	Am J Cancer Res, 11(11): 5388-5401, 2021	Original Article
177	Murthy V, Oshi M, Tokumaru Y, et al.	消化器・腫瘍外科学	Increased apoptosis is associated with robust immune cell infiltration and cytolytic activity in breast cancer.	Am J Cancer Res, 11(7): 3674-3687, 2021	Original Article
178	Okano M, Oshi M, Mukhopadhyay S, et al.	消化器・腫瘍外科学	Octogenarians' Breast Cancer Is Associated with an Unfavorable Tumor Immune Microenvironment and Worse Disease-Free Survival.	Cancers (Basel), 13(12): 2933, 2021	Original Article
179	Patel A, Oshi M, Yan L, et al.	消化器・腫瘍外科学	The Unfolded Protein Response Is Associated with Cancer Proliferation and Worse Survival in Hepatocellular Carcinoma.	Cancers (Basel), 13(17): 4443, 2021	Original Article
180	Satyananda V, Oshi M, Endo I, Takabe K	消化器・腫瘍外科学	High BRCA2 Gene Expression is Associated with Aggressive and Highly Proliferative Breast Cancer.	Ann Surg Oncol, 28(12): 7356-7365, 2021	Original Article

計: 13

181	Satyananda V, Oshi M, Tokumaru Y, et al.	消化器・腫瘍外科学	Sphingosine 1-phosphate (S1P) produced by sphingosine kinase 1 (SphK1) and exported via ABCC1 is related to hepatocellular carcinoma (HCC) progression.	Am J Cancer Res, 11(9): 4394-4407, 2021	Original Article
182	Satyananda V, Oshi M, Endo I, Takabe K	消化器・腫瘍外科学	ASO Visual Abstract:High BRCA2 Gene Expression is Associated with Aggressive and Highly Proliferative Breast Cancer.	Ann Surg Oncol, 28(3): 441-442, 2021	Original Article
183	Ohya H,Kimura H,Watanabe J, et al.	消化器・腫瘍外科学	Preoperative prevalence and risk factors of deep-vein thrombosis in Japanese surgical patients with ulcerative colitis: a retrospective investigational study.	Surg Today, 52(2): 251-259, 2022	Original Article
184	Minegishi Y,Hiroshima Y,Yazawa K, et al.	消化器・腫瘍外科学	CRMP4 Up-regulates M2 Macrophages and Myeloid-derived Suppressor Cells to Promote Pancreatic Cancer in Mice.	Anticancer Res, 42(2): 791-799, 2022	Original Article
185	Oshi M,Sarkar J,Wu R, et al.	消化器・腫瘍外科学	Intratumoral density of regulatory T cells is a predictor of host immune response and chemotherapy response in colorectal cancer.	Am J Cancer Res, 12(2): 490-503, 2022	Original Article
186	Wu R,Oshi M,Asaoka M, et al.	消化器・腫瘍外科学	APOBEC3F expression in triple-negative breast cancer is associated with tumor microenvironment infiltration and activation of cancer immunity and improved survival.	Am J Cancer Res, 12(2): 744-762, 2022	Original Article
187	Angarita FA,Oshi M,Yamada A, et al.	消化器・腫瘍外科学	Low RUFY3 expression level is associated with lymph node metastasis in older women with invasive breast cancer.	Breast Cancer Res Treat, 192(1): 19-32, 2022	Original Article
188	Toritani K,Kimura H,Fukuoka H, et al.	消化器・腫瘍外科学	Preoperative risk factors of incisional surgical site infection in severe or intractable ulcerative colitis.	Surg Today, 52(3): 475-484, 2022	Original Article
189	Yokogawa F, Oe K, Hosokawa M, Masui K	麻酔科学	Lateral position for difficult intubation in a patient with history of hemiglossectomy and flap reconstruction: a case report	JA Clin Rep, 2022 Mar 3; 8(1):16	Case report
190	Gono T, Masui K, Naoshi Nishina, et al.	麻酔科学	Risk prediction modeling based on a combination of initial serum biomarkers in myositis-associated interstitial lung disease.	Arthritis & Rheumatology, 73(4): 677-686, 2021	Original Article
191	Goto S, Ishikawa J, Idei M, et al.	麻酔科学	Life-Threatening Complications Related to Delayed Diagnosis of Euglycemic Diabetic Ketoacidosis Associated with Sodium-Glucose Cotransporter-2 Inhibitors：A Report of 2 Cases.	American Journal of Case Reports, 22： e929773, 2021	Case report
192	Idei M, Junya Ishikawa, Nomura T	麻酔科学	Accumulation of water droplets within the polyurethane cuff 24 hours after tracheal intubation：a single center, retrospective pilot study.	Minerva Anestesiologica, 87(1): 118-119, 2021	Original Article
193	Katakura Y, Nagamine Y, Goto T, Sumikura H	麻酔科学	Association of chorioamnionitis with failed conversion of epidural labor analgesia to cesarean delivery anesthesia：A retrospective cohort study.	PLoS One, 16(5): e0250596, 2021	Original Article

計：　13

194	Kondo Y, Echigo N, Mihara T, et al.	麻酔科学	Intraocular pressure during robotic-assisted laparoscopic prostatectomy：A prospective observational study.	Brazilian Journal of Anesthesiology, 71(6): 618-622, 2021	Original Article
195	Kurisawa K, Yokose M, Tanaka H, et al.	麻酔科学	Multivariate analysis of factors associated with first-pass success in blind placement of a post-pyloric feeding tube：a retrospective study.	Journal of Intensive Care, 9：59, 2021	Original Article
196	Masui K	麻酔科学	Interpretation of laboratory tests for prevention of the SARS-CoV-2 transmission.	Journal of Anesthesia 2021, 35：374-377, 2021	Original Article
197	Matsushima M, Kimura S, Kitaura A, et al.	麻酔科学	Propofol suppresses the His-ventricular conduction in paediatric patients.	J Clin Pharm Ther, 46(2)：433-439, 2021	Original Article
198	Miyabe-Nishiwaki T, Kaneko A, Yamanaka A, et al.	麻酔科学	Propofol infusions using a human target controlled infusion (TCI) pump in chimpanzees (Pan troglodytes).	Scientific Reports, 11：1214, 2021	Original Article
199	Muta K, Miyabe-Nishiwaki T, Masui K, et al.	麻酔科学	Pharmacokinetics and effects on clinical and physiological parameters following a single bolus dose of propofol in common marmosets (Callithrix jacchus).	J Vet Pharmacol Therap, 44(1)：18-27, 2021	Original Article
200	Seino Y, Sato N, Idei M, Nomura T	麻酔科学	Initial Medical Errors After the Implementation of a Clinical Information System in an Intensive Care Unit and Intermediate Medical Care Unit.	Tokyo Women's Medical University Journal, 5：84-92, 2021	Original Article
201	Terada Y, Miyashita T, Nagamine Y, Goto T	麻酔科学	A modified algorithm for choosing the most appropriate intraoperative pacemaker mode for patients with permanent pacemaker in non-cardiac surgery.	Journal of anesthesia, 35(1)：145-149, 2021	Original Article
202	Tojo K, Sugawara Y, Oi Y, et al.	麻酔科学	The U-shaped association of serum iron level with disease severity in adult hospitalized patients with COVID-19.	Scientific reports, 11(1)：16949-16949, 2021	Original Article
203	Tojo K, Yamamoto N, Mihara T, Abe M, Goto T	麻酔科学	Distinct temporal characteristics of circulating alveolar epithelial and endothelial injury markers in ARDS with COVID-19.	Critical Care, 25(1)：169, 2021	Original Article
204	Tsukinaga A, Mihara T, Takeshima T, et al.	麻酔科学	Effect of melatonin and melatonin agonists on postoperative sleep quality in adult patients：A protocol for systematic review and meta-analysis with trial sequential analysis.	BMJ open, 11(9)：e047858, 2021	Original Article
205	Tsukinaga A, Yoshitani K, Kubota Y, et al.	麻酔科学	Anesthesia for Cesarean Section and Postpartum Cardiovascular Events in Congenital Heart Disease：A Retrospective Cohort Study.	Journal of Cardiothoracic and Vascular Anesthesia, 35(7)：2108-2114, 2021	Original Article
206	Yanaizumi R, Nagamine Y, Harada S, et al.	麻酔科学	Prevalence of neuropathic pain in terminally ill patients with cancer admitted to a general ward：a prospective observational study.	Journal of International Medical Research, 49(1)：030006052098772, 2021	Original Article

計：　13

207	Yoshikawa H, Hosokawa M, Kashima Y, et al.	麻酔科学	Remimazolam Tolerance in Long-term Benzodiazepine Users:A Case Report of 2 Cases.	A&A Practice, 15(5): e01460, 2021	Case report
208	Wada K, Sonoda M, Firestone E, et al.	麻酔科学	Sevoflurane-based enhancement of phase-amplitude coupling and localization of the epileptogenic zone.	Clin Neurophysiol. 2022 Feb;134:1-8	Original Article
209	Tsuboi S, Kubota K, Mihara T, et al.	麻酔科学	Predictive factors of postoperative fentanyl consumption in patients with inflammatory bowel disease: a retrospective cohort study.	BMC Anesthesiol. 2022 Mar 11;22(1):70	Original Article
210	Kikuchi M, Sawada M, Nomura T, et al.	麻酔科学	Asymptomatic Penetration of the Median Nerve by a Peripherally Inserted Central Catheter: A Case Report.	A A Pract. 2022 Mar 23;16(3):e01577	Case report
211	Nakano M, Koga M, Hashimoto T, et al.	麻酔科学	Right ventricular overloading is attenuated in monocrotaline-induced pulmonary hypertension model rats with a disrupted Gpr143 gene, the gene that encodes the 3,4-l-dihydroxyphenyalanine (l-DOPA) receptor.	J Pharmacol Sci. 2022 Feb;148(2):214-220	Original Article
212	Nakajima D, Mihara T, Hijikata T, et al.	麻酔科学	Effectiveness of acupuncture therapy for preventing emergence agitation in children: A protocol for systematic review and meta-analysis with trial sequential analysis.	PLoS One. 2022 Mar 29;17(3):e0264197	Original Article
213	Tanaka H, Yokose M, Takaki S, et al.	麻酔科学	Evaluation of respiratory rate monitoring using a microwave Doppler sensor mounted on the ceiling of an intensive care unit: a prospective observational study.	J Clin Monit Comput. 2022 Feb;36(1):71-79	Original Article
214	Goto S, Ishikawa JY, Idei M, Nomura T	麻酔科学	False-Positive Cuff Leak Test due to Glossoptosis.	Am J Respir Crit Care Med. 2022 Jan 15;205(2):e4-e5	Original Article
215	Ogawa F, Oi Y, Nakajima K, et al.	救急医学	Temporal change in Syndecan-1 as a therapeutic target and a biomarker for the severity classification of COVID-19.	Thrombosis Journal, 19(1): 55, 2021	Original Article
216	Minami S, Suzuki N, Okano H, et al.	救急医学	Two cases of post-traumatic inferior vena cava thrombosis.	Acute Medicine & Surgery, 8(1): e691, 2021	Original Article
217	Sakurai A, Oda J, Muguruma T, et al.	救急医学	Revision of the Protocol of the Telephone Triage System in Tokyo, Japan.	Emergency Medicine International, 2021: 8832192	Original Article
218	Saji R, Nishii M, Sakai K, et al.	救急医学	Combining IL-6 and SARS-CoV-2 RNAaemia-based risk stratification for fatal outcomes of COVID-19.	PLoS One, 2021 Aug 11; 16(8):e0256022	Original Article
219	Kimura Y, Nakai Y, Shin J, et al.	救急医学	Identification of serum prognostic biomarkers of severe COVID-19 using a quantitative proteomic approach.	Sci Rep, 2021 Oct 19;11(1): 20638	Original Article

計:　13

220	Miyake S, Higurashi T, Jono T, et al.	救急医学	Real-world evaluation of a computed tomography-first triage strategy for suspected Coronavirus disease 2019 in outpatients in Japan: An observational cohort study.	Medicine (Baltimore), 2021 Jun 4; 100(22): e26161	Original Article
221	Yamaoka Y, Jeremiah SS, Miyakawa K, et al.	救急医学	Whole Nucleocapsid Protein of Severe Acute Respiratory Syndrome Coronavirus 2 May Cause False-Positive Results in Serological Assays.	Clinical Infectious Diseases, 72(7): 1291-1292, 2021	Original Article
222	Tojo K, Sugawara Y, Oi Y, et al.	救急医学	The U-shaped association of serum iron level with disease severity in adult hospitalized patients with COVID-19.	Sci Rep, 2021 Jun 28; 11(1): 13431	Original Article
223	Takakuma A, Nishii M, Valaperti A, et al.	救急医学	Prostaglandin-E2 receptor-4 stimulant rescues cardiac malfunction during myocarditis and protects the heart from adverse ventricular remodeling after myocarditis.	Sci Rep, 2021 Oct 26;11(1):20961	Original Article
224	Saeki T, Ogawa F, Matsumiya M, et al.	救急医学	Long-Term Decreased Exercise Capacity of COVID-19 Patients Who Received Mechanical Ventilation in Japan: A Case Series.	American Journal of Physical Medicine & Rehabilitation, 100(8): 737-741, 2021	Original Article
225	Mori K, Abe T, Matsumoto J, et al.	救急医学	Indications for Computed Tomography in Older Adult Patients With Minor Head Injury in the Emergency Department.	Academic Emergency Medicine, 28(4): 435-443, 2021	Original Article
226	Tojo K, Sugawara Y, Oi Y, et al.	救急医学	Author Correction: The U-shaped association of serum iron level with disease severity in adult hospitalized patients with COVID-19.	Scientific Reports, 11(1): 16949, 2021	Original Article
227	Yamaguchi K, Abe T, Nakajima K, et al.	救急医学	Use of near-infrared imaging using indocyanine green associates with the lower incidence of postoperative complications for intestinal and mesenteric injury.	Scientific Reports, 11(1): 23880, 2021	Original Article
228	Niida S, Ogawa F, Nakajima K, et al.	救急医学	A Case of Central Pontine Myelinolysis Occurred During Treatment of Hyperosmolar Hyperglycemic Syndrome.	International Medical Case Reports Journal, 14: 407-412, 2021	Original Article
229	Minami S, Doi T, Abe T,Takeuchi I	救急医学	Neutrophil gelatinase-associated lipocalin as a biomarker for short-term outcomes among trauma patients: A single-center observational study.	PLoS One, 16(5): e0251319, 2021	Original Article
230	Ogawa F, Oi Y, Nakajima K, et al.	救急医学	An evaluation of venous thromboembolism by whole-body enhanced CT scan for critical COVID-19 pneumonia with markedly rises of coagulopathy related factors: a case series study.	Thrombosis Journal, 19(1): 26, 2021	Original Article
231	Yokoi H, Sakai A, Kodama T, et al.	救急医学	Evaluation of a Treatment Algorithm for Tsushima Mamushi (Gloydius tsushimaensis) Snakebites, after Its Introduction to Tsushima Island, Nagasaki, Japan.	Internal Medicine, 60(19): 3093-3099, 2021	Original Article
232	Yogo N, Toida C, Muguruma T, et al.	救急医学	Simplified Clinical Decision Rule Using Clinically Important Events for Risk Prediction in Pediatric Head Injury: A Retrospective Cohort Study.	Journal of Clinical Medicine, 10(22): 5248, 2021	Original Article

計: 13

233	Toida C, Muguruma T, Gakumazawa M, et al.	救急医学	Age- and Severity-Related In-Hospital Mortality Trends and Risks of Severe Traumatic Brain Injury in Japan: A Nationwide 10-Year Retrospective Study.	Journal of Clinical Medicine, 10(5): 1072, 2021	Original Article
234	Toida C, Muguruma T, Gakumazawa M, et al.	救急医学	Correlation between Hospital Volume of Severely Injured Patients and In-Hospital Mortality of Severely Injured Pediatric Patients in Japan: A Nationwide 5-Year Retrospective Study.	Journal of Clinical Medicine, 10(7): 1422, 2021	Original Article
235	ifumi T, Inoue A, Takiguchi T, et al.	救急医学	SAVE-J II Study Group: Variability of extracorporeal cardiopulmonary resuscitation practice in patients with out-of-hospital cardiac arrest from the emergency department to intensive care unit in Japan.	Acute Medicine & Surgery, 8(1): e647, 2021	Original Article
236	Miyake S, Higurashi T, Kato H, et al.	救急医学	Evaluation of a combination protocol of CT-first triage and active telemedicine methods by a selected team tackling COVID-19: An experimental research study.	Journal of Infection and Public Health, 14(9):1212-1217, 2021	Original Article
237	Shinohara M, Muguruma T, Toida C, et al.	救急医学	Daytime admission is associated with higher 1-month survival for pediatric out-of-hospital cardiac arrest: Analysis of a nationwide multicenter observational study in Japan.	PLoS One, 16(2): e0246896, 2021	Original Article
238	Yamaguchi K, Doi T, Muguruma T, et al.	救急医学	A simulation study of high-flow versus normal-flow three-way stopcock for rapid fluid administration in emergency situations: A randomised crossover design.	Australian Critical Care, 35(1): 66-71, 2021	Original Article
239	Hirayama I, Doi K, Yamamoto M, et al.	救急医学	Evaluation of Autonomous Actions on Bystander-Initiated Cardiopulmonary Resuscitation and Public Access Defibrillation in Tokyo.	International Heart Journal, 62(4): 879-884, 2021	Original Article
240	Okano H, Furuya R, Mishima S, et al.	救急医学	DUAL-energy computed tomography findings in a case of COVID-19.	Acute Medicine & Surgery, 8(1): 1-4, 2021	Original Article
241	Kirigaya J, Iwahashi N, Tanaka R, et al.	救急医学	A Fatal Case of Takotsubo Cardiomyopathy Secondary to Refractory Hypoglycemia in Severe Starvation: An Autopsy Case Report.	Cureus, 14(3):e23287, 2022	Original Article
242	Shinohara M, Iwashita M, Abe T, Takeuchi I	救急医学	Association between post-extubation upper airway obstruction symptoms and airway size measured by computed tomography: a single-center observational study.	BMC Emergency Medicine, 22(1):55, 2022	Original Article
243	Ohta S, Takahashi K, Iwashita M, Abe T, Takeuchi I	救急医学	Detection of Iliopsoas Hematoma by Retrospective Radiography in Veno-Venous Extracorporeal Membrane Oxygenation for a COVID-19 Patient.	Cureus, 14(2):e22571, 2022	Original Article
244	Mori K, Imaki S, Ohyama Y, et al.	救急医学	Rapid screening for severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 infection with a combined point-of-care antigen test and an immunoglobulin G antibody test.	PLoS One, 17(2):e0263327, 2022	Original Article

計:　12

245	Oi Y, Mori K, Yamagata H, et al.	救急医学	Peripheral venous lactate levels substitute arterial lactate levels in the emergency department.	International Journal of Emergency Medicine, 15(1):7, 2022	Original Article
246	Hongo T, Nakamura T, Miyake A, et al.	脳神経外科学	Evaluation of Tumor Cell Infiltration to the Skull in Dermatofibrosarcoma Protuberans of the Scalp: Case Report and Literature Review.	NMC Case Report Journal, 08(1): 287-293,2021	Original Article
247	Iida Y, Mori K, Kawahara Y, et al.	脳神経外科学	Angioarchitecture of the hemorrhagic developmental venous anomaly with stenosis of the collecting vein and cavernous malformation: a case report.	British Journal of Neurosurgery, 21: 1-5, 2021	Case report
248	Iida Y, Mori K, Kawahara Y, et al.	脳神経外科学	Characteristics and Management of Ruptured Aneurysms Originating from the Penetrating Artery of the Distal Middle Cerebral Artery.	NMC Case Report Journal, 8(1): 7-12, 2021	Original Article
249	Nagao K, Sakata K, Kawasaki T, et al.	脳神経外科学	Double Meningioma: A Case of Two Fibrous Meningioma Isolatedly Coexisting in Meningothelial Meningioma.	NMC Case Report Journal, 8: 215-220, 2021	Original Article
250	Takase H, Hamanaka G, Ohtomo R, et al.	脳神経外科学	Roles of A-kinase anchor protein 12 in astrocyte and oligodendrocyte precursor cell in postnatal corpus callosum.	Stem Cell Rev Rep, 17 (4) :1446-1455, 2021	Original Article
251	Takase H, Hamanaka G, Ohtomo R, et al.	脳神経外科学	Transcriptome Profiling of Mouse Corpus Callosum After Cerebral Hypoperfusion.	Front Cell Dev Biol, 9: 685261, 2021	Original Article
252	Tateishi K, Miyake Y, Nakamaura T, Yamamoto T	脳神経外科学	Primary central nervous system lymphoma: clinicopathological and genomic insights for therapeutic development.	Brain Tumor Pathology, 38: 173-182, 2021	Original Article
253	Miyagi E, Arakawa N, Sakamaki K, et al.	産婦人科学	Validation of tissue factor pathway inhibitor 2 as a specific biomarker for preoperative prediction of clear cell carcinoma of the ovary.	Int J Clin Oncol, 26(7): 1336-1344, 2021	Original Article
254	Sukegawa A, Ohshige K, Suzuki Y, et al.	産婦人科学	Ten-year questionnaire study on human papillomavirus vaccination targeting new female medical school students: Follow-up to the 2015 report.	J Obstet Gynaecol Res, 47(10): 3618-3627, 2021	Original Article
255	Iwata A, Kurasawa K, Kubota K, et al.	産婦人科学	Factors predicting rubella vaccination among pregnant women in Japan: An interim report from the Pregnant Women Health Initiative.	Jpn J Infect dis, 74(4): 337-343, 2021	Original Article
256	Suzuki Y, Sukegawa A, Ueda Y, et al.	産婦人科学	Effect of a Brief Web-Based Educational Intervention on Willingness to Consider Human Papillomavirus Vaccination for Children in Japan: Randomized Controlled Trial.	J Med Internet Res, 23(9): e28355, 2021	Original Article
257	Ban T, Kikuchi M, Sato GR, et al.	遺伝子診療科	Genetic and chemical inhibition of IRF5 suppresses pre-existing mouse lupus-like disease.	Nat Commun, 12(1): 4379, 2021	Original Article

計: 13

258	Fukuda H, Yamaguchi D, Nyquist K, et al.	遺伝子診療科	Father-to-offspring transmission of extremely long NOTCH2NLC repeat expansions with contractions:genetic and epigenetic profiling with long-read sequencing.	Clin Epigenetics, 13(1):204, 2021	Original Article
259	Itai T, Miyatake S, Hatano T, et al.	遺伝子診療科	Cerebrovascular diseases in two patients with entire NSD1 deletion.	Hum Genome Var, 8(1):20, 2021	Case report
260	Mizuguchi T, Toyota T, Miyatake S, et al.	遺伝子診療科	Complete sequencing of expanded SAMD12 repeats by long-read sequencing and Cas9-mediated enrichment.	Brain, 144(4):1103-1117, 2021	Original Article
261	Saida K, Tamaoki J, Sasaki M, et al.	遺伝子診療科	Pathogenic variants in the survival of motor neurons complex gene GEMIN5 cause cerebellar atrophy.	Clin Genet, 100(6): 722-730, 2021	Original Article
262	Sakamoto M, Sasaki K, Sugie A, et al.	遺伝子診療科	De novo ARF3 variants cause neurodevelopmental disorder with brain abnormality.	Hum Mol Genet, 31(1): 69-81, 2021	Original Article
263	Sasaki K, Tsujimoto S, Miyake M, et al.	小児科学	Droplet digital polymerase chain reaction assay for the detection of the minor clone of KIT D816V in paediatric acute myeloid leukaemia especially showing RUNX1-RUNX1T1 transcripts.	Br J Haematol, 194(2): 414-422, 2021	Original Article
264	Ito S, Fukuda S, Kobayashi T	小児科学	Epigenetic insights into the pathogenesis of Kawasaki disease.	Pediatr Res, 2022 Jan (オンライン)	Original Article
265	Hamanaka K, Miyoshi K, Sun JH, et al.	遺伝子診療科	Amelioration of a neurodevelopmental disorder by carbamazepine in a case having a gain-of-function GRIA3 variant.	Hum Genet, 141(2): 283-293, 2022	Case report
266	Kameyama S, Mizuguchi T, Fukuda H, et al.	遺伝子診療科	Biallelic null variants in ZNF142 cause global developmental delay with familial epilepsy and dysmorphic features.	J Hum Genet, 67(3): 169-173, 2022	Case report
267	Seyama R, Tsuchida N, Okada Y, et al.	遺伝子診療科	Two families with TET3-related disorder showing neurodevelopmental delay with craniofacial dysmorphisms.	J Hum Genet, 67(3): 157-164, 2022	Original Article
268	Miyazawa T, Hayashibe R, Nozawa T, Nishimura K, Ito S	小児科学	Lipschütz ulcer induced by acute Epstein-Barr virus infection in a young girl.	Pediatr Int. 2022;64(1):e15022	Original Article
269	Nicho N, Nozawa T, Murase A, et al.	小児科学	Difficulties of Diagnosing Idiopathic Hypertrophic Pachymeningitis in Children: Case Report and Literature Review.	Mod Rheumatol Case Rep, 2022 Mar 28; rxac026	Case report
270	Nakachi T, Kato S, Saito N, et al.	放射線診断学	Non-invasive evaluation of patients undergoing percutaneous coronary intervention for chronic total occlusion.	Journal of clinical medicine, 10(20):4712, 2021	Original Article
271	Kato S, Fukui K, Kodama S, et al.	放射線診断学	Cardiovascular magnetic resonance assessment of coronary flow reserve improves risk stratification in heart failure with preserved ejection fraction.	Journal of cardiovascular magnetic resonance, 23(1): 112, 2021	Original Article

計: 14

272	Kobayashi N, Takano S, Ito K, et al.	放射線診断学	Safety and efficacy of peptide receptor radionuclide therapy with 177Lu-DOTA0-Tyr3-octreotate in combination with amino acid solution infusion in Japanese patients with somatostatin receptor-positive, progressive neuroendocrine tumors.	Annals of nuclear medicine, 35(12): 1332-1341, 2021	Original Article
273	Kato S, Fukui K, Kodama S, et al.	放射線診断学	Prognostic value of resting coronary sinus flow determined by phase-contrast cine cardiovascular magnetic resonance in patients with known or suspected coronary artery disease.	Journal of cardiovascular magnetic resonance, 23(1): 97, 2021	Original Article
274	Kato S, Kitamura H, Hayakawa K, et al.	放射線診断学	Coronary artery disease and heart failure in patients with idiopathic pulmonary fibrosis.	Heart and vessels, 36(8): 1151-1158, 2021	Original Article
275	Azuma M, Kato S, Sekii R, et al.	放射線診断学	Extracellular volume fraction by T1 mapping predicts improvement of left ventricular ejection fraction after catheter ablation in patients with non-ischemic dilated cardiomyopathy and atrial fibrillation.	The international journal of cardiovascular imaging, 37(8): 2535-2543, 2021	Original Article
276	Azuma M, Kato S, Fukui K, et al.	放射線診断学	Quantitative pixel-wise analysis of native T1 mapping for identification of cardiac involvement in severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 infection.	European heart journal cardiovascular imaging, 22(9): e143, 2021	Original Article
277	Aoki R, Kobayashi Y, Nawata S, et al.	放射線診断学	Computed tomography imaging of resuscitative endovascular balloon occlusion of the aorta (REBOA): pearls and pitfalls.	Japanese journal of radiology, 39(12): 1133-1140, 2021	Original Article
278	Sugimoto Y, Kato S, Fukui K, et al.	放射線診断学	Impaired coronary flow reserve evaluated by phase-contrast cine magnetic resonance imaging in patients with atrial fibrillations.	Heart and vessels, 36(6): 775-781, 2021	Original Article
279	Miyake S, Higurashi T, Jono T, et al.	放射線診断学	Real-world evaluation of a computed tomography-first triage strategy for suspected Coronavirus disease 2019 in outpatients in Japan: An observational cohort study.	Medicine, 100(22): e26161, 2021	Original Article
280	Imajo K, Kessoku T, Honda Y, et al.	放射線診断学	MRI-based quantitative R2* mapping at 3 Tesla reflects hepatic iron overload and pathogenesis in nonalcoholic fatty liver disease patients.	Journal of magnetic resonance imaging, 55(1): 111-125, 2021	Original Article
281	Aoki R, Iwasawa T, Hagiwara E, et al.	放射線診断学	Pulmonary vascular enlargement and lesion extent on computed tomography are correlated with COVID-19 disease severity.	Japanese journal of radiology, 39(5): 451-458, 2021	Original Article
282	Kato S, Fukui K, Kodama S, et al.	放射線診断学	Acute myocarditis by immune checkpoint inhibitor identified by quantitative pixel-wise analysis of native T1 mapping.	Circulation cardiovascular imaging, 14(5): e012177, 2021	Original Article
283	Nishimiya N, Tajima K, Imajo K, et al.	放射線診断学	Effects of canagliflozin on hepatic steatosis, visceral fat and skeletal muscle among patients with type 2 diabetes and non-alcoholic fatty liver disease.	Internal medicine, 60(21): 3391-3399, 2021	Original Article

計:　12

284	Sato S, Nagatani Y, Hashimoto M, et al.	放射線診断学	Usability of the lateral decubitus position on four-dimensional ultra-low-dose computed tomography for the detection of localized pleural adhesion in the pulmonary apical region.	Acta Radiol, 62(4): 462-473, 2021	Original Article
285	Tanaka R, Samei E, Segars WP, et al.	放射線診断学	Assessment of pleural invasion and adhesion of lung tumors with dynamic chest radiography: A virtual clinical imaging study.	Med Phys, 48(4): 1616-1623, 2021	Original Article
286	Tomita H, Yamashiro T, Heianna J, et al.	放射線診断学	Nodal-based radiomics analysis for identifying cervical lymph node metastasis at levels I and II in patients with oral squamous cell carcinoma using contrast-enhanced computed tomography.	Eur Radiol, 31(10): 7440-7449, 2021	Original Article
287	Murayama D, Kojima D, Hino A, et al.	放射線診断学	A case of bulla formation after treatment for COVID-19 pneumonia.	Radiol Case Rep, 16(5): 1162-1164, 2021	Original Article
288	Matsumoto H, Watabe T, Igarashi C, et al.	放射線診断学	Evaluation of 64Cu-Labeled New Anti-EGFR Antibody NCAB001 with Intraperitoneal Injection for Early PET Diagnosis of Pancreatic Cancer in Orthotopic Tumor-Xenografted Mice and Nonhuman Primates.	Pharmaceuticals, 14(10): 950, 2021	Original Article
289	Murayama D, Yamamoto Y, Matsui A, et al.	放射線診断学	A case of the accumulation of 131-iodine in the mammary gland after remnant ablation for papillary thyroid carcinoma on lactating period.	Radiol Case Rep, 16(5): 3442-3444, 2021	Original Article
290	Okubo Y, Sato S, Osaka K, et al.	放射線診断学	Clinicopathological Analysis of the ISUP Grade Group And Other Parameters in Prostate Cancer: Elucidation of Mutual Impact of the Various Parameters.	Front Oncol, 11: 695251, 2021	Original Article
291	Sekine A, Oda T, Shintani R, et al.	放射線診断学	Spontaneous regression following endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspiration in lung cancer patients.	Respir Investig, 59(5): 691-695, 2021	Original Article
292	Sekine A, Hagiwara E, Iwasawa T, et al.	放射線診断学	Asbestos exposure and tuberculous pleurisy as developmental causes of progressive unilateral upper-lung field pulmonary fibrosis radiologically consistent with pleuroparenchymal fibroelastosis.	Respir Investig, 59(6): 837-844, 2021	Original Article
293	Sawazumi T, Baba T, Iwasawa T, et al.	放射線診断学	Prognostic impact of HNF4α expression in interstitial lung disease.	Pathol Int, 72(1): 25-34, 2021	Original Article
294	Nishii T, Funama Y, Kato S, et al.	放射線診断学	Comparison of visibility of in-stent restenosis between conventional- and ultra-high spatial resolution computed tomography: coronary arterial phantom study.	Japanese journal of radiology, 40(3): 279-288, 2022	Original Article
295	Ishiwata Y, Kentaro M, Mayuko K, et al.	放射線診断学	Comparison of CO-RADS Scores Based on Visual and Artificial Intelligence Assessments in a Non-Endemic Area.	Diagnostics (Basel), 12(3): 738, 2022	Original Article

計:　12

296	Kato S, Ishiwata Y, Aoki R, et al.	放射線診断学	Imaging of COVID-19: An update of current evidences.	Diagnostic and interventional imaging, 102(9): 493-500, 2021	Review
297	Kamagata K, Andica C, Kato A, et al.	放射線診断学	Diffusion Magnetic Resonance Imaging-Based Biomarkers for Neurodegenerative Diseases.	Int J Mol Sci, 22(10): 5216, 2021	Review
298	Yamakawa H, Ogura T, Kameda H, et al.	放射線診断学	Decision-Making Strategy for the Treatment of Rheumatoid Arthritis-Associated Interstitial Lung Disease (RA-ILD).	J Clin Med, 10(17): 3816, 2021	Review
299	Iwasawa T	放射線診断学	Principle and clinical applications of respiratory motion assessment using 4D computed tomography and magnetic resonance imaging.	Pulmonary functional imaging. Springer, 91-106, 2021	Others
300	Mukai Y, Yokota NR, Sugiura M, et al.	放射線治療学	Outcome of radiation therapy for stage IVB uterine cervical cancer with distant lymph nodes metastases; sequential irradiation for distant lymph nodes metastases.	In Vivo, 35(2): 1169-1176, 2021	Original Article
301	Kobayashi N, Takano S, Ito K, et al.	放射線治療学	Safety and efficacy of peptide receptor radionuclide therapy with 177Lu-DOTA0-Tyr3-octreotate in combination with amino acid solution infusion in Japanese patients with somatostatin receptor-positive, progressive neuroendocrine tumors.	Ann Nucl Med, 35(12): 1332-1341, 2021	Original Article
302	Tanifuji T, Okazaki S, Otsuka I, et al.	精神医学	Association of Two Variable Number of Tandem Repeats in the Monoamine Oxidase A Gene Promoter with Schizophrenia.	Neuropsychiatr Dis Treat, 17: 3315-3323, 2021	Original Article
303	Inoue K, Eiro T, Semoto M, et al.	精神医学	First case of Myhre syndrome with schizophrenia.	Clin Dysmorphol, 30: 207-208, 2021	Original Article
304	Nomoto M, Konopaske GT, Yamashita N, et al.	精神医学	Clinical evidence that a dysregulated master neural network modulator may aid in diagnosing schizophrenia.	PNAS, 118(31): e2100032118, 2021	Original Article
305	Nakamura R, Asami T, Yoshimi A, et al.	精神医学	Illness management and recovery program induced neuroprotective effects on language network in schizophrenia.	Schizophr Res, 230: 101-103, 2021	Original Article
306	Hasegawa K, Koichi K, Maruyama H, et al.	精神医学	Efficacy and safety of Zonisamide in dementia with Lewy bodies patients with Parkinsonism: A Post Hoc analysis of two randomized, double-blind, placebp-controlled trials.	J Alzheimers Dis, 79: 627-637, 2021	Original Article
307	Senda M, Ishii K, Ito K, et al.	精神医学	A Japanese multicenter study on PET and other biomarkers for subjects with potential preclinical and prodromal Alzheimer's disease.	J Prev Alz Dis, 4(8): 495-502, 2021	Original Article

計： 12

308	Kishimoto T, Kinoshita S, Bun S, et al.	精神医学	On Behalf of the J-PROTECT Collaborators Japanese project for telepsychiatry evaluation during COVID-19: Treatment comparison trial (J-PROTECT): Rationale, design, and methodology.	Contemporary Clinical Trials, 111:106596, 2021	Original Article
309	Kumamoto A, Chiba Y, Suda A, et al.	精神医学	A Severe Dementia Case in End of Life Care with Psychiatric Symptoms Treated by Perampanel.	J Epilepsy Res, 11(1):93-95, 2021	Original Article
310	Chiba Y, Owen R. Phillips, Takenoshita S, et al.	精神医学	Genetic and demographic predisposing factors associated with pediatric sleepwalking in the Philadelphia Neurodevelopmental Cohort.	J Neurol Sci, 430: 119997, 2021	Original Article
311	Harashima S, Fujimori M, Akechi T, et al.	精神医学	Death by suicide, other externally caused injuries and cardiovascular diseases within 6 months of cancer diagnosis (J-SUPPORT 1902).	Japanese journal of clinical oncology, 51(5): 744-752, 2021	Original Article
312	Yamaguchi H, Hashimoto Y, Sugihara G, et al.	精神医学	Three-Dimensional Convolutional Autoencoder Extracts Features of Structural Brain Images With a “Diagnostic Label-Free” Approach: Application to Schizophrenia Datasets.	Front Neurosci, 15: 652987, 2021	Original Article
313	Okazaki S, Kimura R, Otsuka I, et al.	精神医学	Epigenetic clock analysis and increased plasminogen activator inhibitor-1 in high-functioning autism spectrum disorder.	PLoS One. 2022 3;17(2):e0263478	Original Article
314	Fujita J, Aoyama K, Saigusa Y, et al.	精神医学	Problematic Internet use and daily difficulties among adolescents with school refusal behaviors: An observational cross-sectional analytical study.	Medicine (Baltimore). 2022 Feb 18;101(7):e28916	Original Article
315	Miyazawa A, Kanahara N, Kogure M, et al.	精神医学	A preliminary genetic association study of GAD1 and GABAB receptor genes in patients with treatment-resistant schizophrenia.	Mol Biol Rep. 2022 Mar;49(3):2015-2024	Original Article
316	Yasui-Furukori N, Muraoka H, Hasegawa N, et al.	精神医学	Association between the examination rate of treatment-resistant schizophrenia and the clozapine prescription rate in a nationwide dissemination and implementation study.	Neuropsychopharmacol Rep. 2022 Mar;42(1):3-9	Original Article
317	Kim S, Okazaki S, Otsuka I, et al.	精神医学	Searching for biomarkers in schizophrenia and psychosis: Case-control study using capillary electrophoresis and liquid chromatography time-of-flight mass spectrometry and systematic review for biofluid metabolites.	Neuropsychopharmacol Rep. 2022 Mar;42(1):42-51	Original Article

計:　11

318	Ichihashi K, Kyou Y, Hasegawa N, et al.	精神医学	The characteristics of patients receiving psychotropic pro re nata medication at discharge for the treatment of schizophrenia and major depressive disorder: A nationwide survey from the EGUIDE project.	Asian J Psychiatr. 2022 Mar;69:103007	Original Article
319	Shinko Y, Okazaki S, Otsuka I, et al.	精神医学	Accelerated epigenetic age and shortened telomere length based on DNA methylation in Nicolaides-Baraitser syndrome.	Mol Genet Genomic Med. 2022 Mar;10(3):e1876	Original Article
320	Okazaki S, Boku S, Watanabe Y, et al.	精神医学	Polymorphisms in the hypoxia inducible factor binding site of the macrophage migration inhibitory factor gene promoter in schizophrenia.	PLoS One. 2022 Mar 24;17(3):e0265738	Original Article
321	Ida Y, Takeuchi M, Ishihara M, et al.	眼科学	An open-label, prospective, single-arm study of switching from infliximab to cyclosporine for refractory uveitis in patients with Behcet's disease in long-term remission.	Jpn J Ophthalmol, 65(6):843-848, 2021	Original Article
322	Ishii M, Horita N, Takeuchi M, et al.	眼科学	Inhaled Corticosteroid and Secondary Glaucoma: A Meta-analysis of 18 Studies.	Allergy Asthma Immunol Res, 13(3):435-449, 2021	Original Article
323	Zhong Z, Su G, Zhou Q, et al.	眼科学	Tuberculosis Exposure With Risk of Behcet Disease Among Patients With Uveitis.	JAMA Ophthalmol, 139(4):415-422, 2021	Original Article
324	Teshigawara T, Meguro A, Mizuki N	眼科学	The Effect of Age, Postoperative Refraction, and Pre- and Postoperative Pupil Size on Halo Size and Intensity in Eyes Implanted with a Trifocal or Extended Depth-of-Focus Lens.	Clin Ophthalmol, 15: 4141-4152, 2021	Original Article
325	Teshigawara T, Meguro A, Mizuki N	眼科学	Effects of Rebamipide on Differences in Power and Axis of Corneal Astigmatism Between Two Intra-patient Keratometric Measurements in Dry Eyes.	Ophthalmol Ther, 10(4):891-904, 2021	Original Article
326	Ida Y, Takeuchi M, Ishihara M, et al.	眼科学	An open-label, prospective, single-arm study of switching from infliximab to cyclosporine for refractory uveitis in patients with Behçet's disease in long-term remission.	Jpn J Ophthalmol, 65(6):843-848, 2021	Original Article
327	Kato A, Ishihara M, Mizuki N	眼科学	Interferon-induced sarcoidosis with uveitis as the initial symptom: a case report and review of the literature.	J Med Case Rep, 15(1): 568, 2021	Original Article
328	Kobayashi Y, Tomizawa S-I, Ono M, et al.	眼科学	Tsga8 is required for spermatid morphogenesis and male fertility in mice.	Development. 2021 Apr 15;148(8):dev196212	Original Article
329	Ishii M, Horita N, Takeuchi M, et al.	眼科学	Inhaled Corticosteroid and Secondary Glaucoma: A Meta-analysis of 18 Studies.	Allergy Asthma Immunol Res 13(3): 435-449, 2021	Original Article
330	Ito S, Nakamura J, Fukuta M, et al.	眼科学	Prophylactic and therapeutic vaccine against Pseudomonas aeruginosa keratitis using bacterial membrane vesicles.	Vaccine. 2021: S0264-410X(21)00482-5	Original Article

計: 13

331	Shimada M, Wang H, Ichino M, Ura T, Mizuki N, Okuda K	眼科学	Biodistribution and immunity of adenovirus 5/35 and modified vaccinia Ankara vector vaccines against human immunodeficiency virus 1 clade C.	Gene Ther. 2022 Jan	Original Article
332	Takeuchi M, Mizuki N, Ohno S	眼科学	Pathogenesis of Non-Infectious Uveitis Elucidated by Recent Genetic Findings.	Front Immunol, 12:640473, 2021	Others
333	Nakamura J, Takeuchi M, Ota M, Mizuki N, Ohno S	眼科学	Does the interaction of KIR and HLA affect the development of non-infectious uveitis?	Curr Mol Med, 2021	Others
334	Nishimura G, Sano D, Arai Y, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	The incidence of newly diagnosed secondary cancer; Sub-analysis the prospective study of the second-look procedure for transoral surgery in patients with T1 and T2 head and neck cancer.	Int J Clin Oncol, 26: 59-65, 2021	Original Article
335	Nishimura G, Sano D, Arai Y, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Validation of the risk factors for primary control of early T-stage laryngeal, oropharyngeal, and hypopharyngeal squamous cell carcinoma by transoral surgery: A prospective observational study.	Int J Clin Oncol, 26: 1995-2003, 2021	Original Article
336	Sano D, Shimizu A, Tateya I, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Treatment outcomes of transoral robotic and non-robotic surgeries to treat oropharyngeal, hypopharyngeal, and supraglottic squamous cell carcinoma: A multi-center retrospective observational study in Japan.	Auris Nasus Larynx, 48:502-510, 2021	Original Article
337	Takada K, Aizawa Y, Sano D, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Establishment of PDX-derived salivary adenoid cystic carcinoma cell lines using organoid culture method.	Int J Cancer, 148: 193-202, 2021	Original Article
338	Sugawara-Mikami M, Kaneko H, Nakaminami H	皮膚科学	A family case of community-acquired methicillin-resistant Staphylococcus aureus infection with USA300 clone.	J Dermatol, 48(5): e210-e211, 2021	Case report
339	Sugawara-Mikami M, Ishii N, Yamazaki M, et al.	皮膚科学	Skin manifestations of suspected COVID-19:Complications of the disease or reactivation of latent viral infections?	JAAD Case Rep, 12:15-17, 2021	Case report
340	anaoka M, Matsukura S, Okawa T, et al.	皮膚科学	Efficacy of combination therapy of steroid and methotrexate for refractory pemphigus.	J Cutan Immunol Allergy, 4:123-127, 2021	Original Article
341	Watanabe T, Go H, Saigusa Y, et al.	皮膚科学	Mortality and risk factors on admission in toxic epidermal necrolysis: A cohort study of 59 patients.	Allergol Int, 70(2):229-234, 2021	Original Article
342	Ototake Y, Yamaguchi Y, Asami M, et al.	皮膚科学	Downregulated IRF8 in monocytes/macrophages of systemic sclerosis patients may aggravate the fibrotic phenotype.	J Invest Dermatol, 141(8):1954-1963, 2021	Original Article
343	Sagawa N, Inomata N, Suzuki K, et al.	皮膚科学	Pork-cat syndrome caused by ingestion of beef intestines in an 8-year-old child.	Allergy Int, 70(3):395-397, 2021	Letter

計: 13

344	Totsuka M, Watanabe T, Takamura N, et al.	皮膚科学	A pediatric case of Stevens-Johnson syndrome with acute liver failure, resulting in liver transplantation.	J Dermatol, 48(9):1423-1427, 2021	Case report
345	MH Hsieh, Watanabe T, Aihara M	皮膚科学	Recent dermatological treatments for Stevens-Johnson Syndorome and Toxic Epidermal Necroysis in Japan.	Front Med, 8: 636924, 2021	Review
346	Ikeda T, Okubo T, Saruta J, et al.	口腔外科学	Osteoblast attachment compromised by high and low temperature of titanium and its restoration by UV photofunctionalization.	Materials (Basel), 14(19): 5493, 2021.10月	Original Article
347	Iwai T, Sugiyama S, Kitajima H, et al.	口腔外科学	Endoscopically-assisted intraoral removal of infrageniohyoid dermoid cyst.	Ear Nose Throat J 101(1) 30-32 2022年1月	Case report
348	Iwai T, Sugiyama S, Hirota M, Mitsudo K	口腔外科学	Endoscopically-assisted intraoral resection of lipoma in the masticator space.	Ear Nose Throat J 101(1) 33-35 2022年1月	Case report
349	Kato H, Ohya T, Arai Y, Nakagawa K	口腔外科学	Visualization of droplet spread produced by a nebulizer during the COVID-19 pandemic.	QJM: An International Journal of Medicine, 114(9): 623-624, 2021.11月	Original Article
350	Nozato T, Ozawa T, Hirota M, et al.	口腔外科学	Bilateral multiple impacted paramolars of the maxilla: A case report.	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol, 33(3): 307-309, 2021.5月	Case report
351	Ohashi N, Ideta Y, Takeda A, et al.	口腔外科学	Oral candidiasis caused by ciclesonide in a patient with COVID-19 pneumonia: A case report and literature review.	SAGE Open Med Case Rep, 9: 2050313X211048279, 2021.9月	Case report
352	Ohashi N, Iwai T, Ogawa M, Yokoo S, Mitsudo K	口腔外科学	Malignant transformation of buccal mucosa leukoplakia in a patient with dyskeratosis congenita.	Ear Nose Throat J 101(1) 27-29 2022年1月	Case report
353	Ohya T, Nakagawa K, Arai Y, Kato H	口腔外科学	Visualization of droplets produced by dental air turbines that require infection control measured during coronavirus 2019 outbreaks.	J Hosp Infect, 119: 196-198, 2022.1月	Original Article
354	Saruta J, Ozawa R, Okubo T, et al.	口腔外科学	Biomimetic Zirconia with Cactus-Inspired Meso-Scale Spikes and Nano-Trabeculae for Enhanced Bone Integration.	Int J Mol Sci, 22(15): 7969, 2021.7月	Original Article
355	Sugiyama S, Iwai T, Hirota M, Mitsudo K	口腔外科学	Ectopic thyroid cyst of the lateral neck.	Ear Nose Throat J, 100 (10 Suppl): 1076S-1078S, 2021.12月	Case report
356	Sugiyama S, Iwai T, Mikami T, Hibiya T, Maegawa J	口腔外科学	Endoscopically assisted resection of a cervical multicystic lymphatic malformation in an adult.	Ear Nose Throat J, 100 (10 Suppl): 1079S-1081S, 2021.12月	Case report
357	Sugiyama S, Iwai T, Baba J, et al.	口腔外科学	MR lymphography with superparamagnetic iron oxide for sentinel lymph node mapping of clinically N0 oral cancer: A pilot study.	Dentomaxillofac Radiol, 50(4): 20200333, 2021.5月	Original Article

計: 14

358	Sugiyama S, Iwai T, Izumi T, et al.	口腔外科学	Sentinel lymph node mapping of clinically N0 early oral cancer: a diagnostic pitfall on CT lymphography.	Oral Radiol, 37(2): 251-255, 2022.1月	Original Article
359	Toki A, Nakamura T, Nishimura Y, Sumida M, Tajima F	リハビリテーション科	Clinical introduction and benefits of non-invasive ventilation for above C3 cervical spinal cord injury.	J Spinal Cord Med, 44(1):70-76, 2021	Original Article
360	Kinoshita T, Yoshikawa T, Nishimura Y, et al.	リハビリテーション科	Mobilization within 24 hours of new-onset stroke enhances the rate of home discharge at 6-months follow-up: a prospective cohort study.	Int J Neurosci, 131(11):1097-1106, 2021	Original Article
361	Kawasaki S, Nishimura Y, Kamijo YI, et al.	リハビリテーション科	Relationship between ultrasonographically low-echoic lesions under the skin, wheelchair sitting time, and interface pressure on ischial region in individuals with chronic spinal cord injury.	J Spinal Cord Med, 44(6):978-984, 2021	Original Article
362	Saeki T, Ogawa F, Matsumiya M, et al.	リハビリテーション科	Long-Term Decreased Exercise Capacity of COVID-19 Patients Who Received Mechanical Ventilation in Japan: A Case Series.	Am J Phys Med Rehabil, 100(8):737-741, 2021	Original Article
363	Okamura M, Konishi M, Sagara A, Shimizu Y, Nakamura T	リハビリテーション科	Impact of early mobilization on discharge disposition and functional status in patients with subarachnoid hemorrhage: A retrospective cohort study.	Medicine (Baltimore), 100(51):e28171, 2021	Original Article
364	Nakamura Y, Okamoto W, Kato T, et al.	病理診断科・病理部	Circulating tumor DNA-guided treatment with pertuzumab plus trastuzumab for HER2-amplified metastatic colorectal cancer: a phase 2 trial.	Nat Med, 27: 1899-1903, 2021	Original Article
365	Tsuchida N, Kunishita Y, Uchiyama Y, et al.	病理診断科・病理部	Pathogenic UBA1 variants associated with VEXAS syndrome in Japanese patients with relapsing polychondritis.	Ann Rheum Dis, 80: 1057-1061, 2021	Original Article
366	Ikeda M, Fujii S, Morishita Y, Hayashi R	病理診断科・病理部	Value of intraoperative pathological diagnosis in decision-making regarding resection of well-differentiated retropharyngeal liposarcoma: A case report	Int J Surg Case Rep, 88: 106466. 2021	Case report
367	Hatanaka Y, Kuwata T, Morii E, et al.	病理診断科・病理部	The Japanese Society of Pathology Practical Guidelines on the handling of pathological tissue samples for cancer genomic medicine.	Pathol Int, 71: 725-740, 2021	Original Article
368	Saji R, Nishii M, Sakai K, et al.	病理診断科・病理部	Combining IL-6 and SARS-CoV-2 RNAaemia-based risk stratification for fatal outcomes of COVID-19.	PLoS One. 16: e0256022, 2021	Original Article
369	Jogo T, Nakamura Y, Shitara K, et al.	病理診断科・病理部	Circulating Tumor DNA Analysis Detects FGFR2 Amplification and Concurrent Genomic Alterations Associated with FGFR Inhibitor Efficacy in Advanced Gastric Cancer.	Clin Cancer Res, 27: 5619-5627, 2021	Original Article
370	Sunakawa H, Yoda Y, Takeshita N, et al.	病理診断科・病理部	Endoscopic resection combined with the Cryoballoon focal ablation system in the porcine normal esophagus: a preclinical study.	BMC Gastroenterol, 21: 234, 2021	Original Article

計: 13

371	Shitara K, Baba E, Fujitani K, et al.	病理診断科・病理部	Discovery and development of trastuzumab deruxtecan and safety management for patients with HER2-positive gastric cancer.	Gastric Cancer, 24: 780-789, 2021	Original Article
372	Lam AK, Bourke MJ, Chen R, et al.	病理診断科・病理部	Dataset for the reporting of carcinoma of the esophagus in resection specimens: recommendations from the International Collaboration on Cancer Reporting.	Hum Pathol, 114: 54-65, 2021	Original Article
373	Katada C, Muto M, Fujii S, et al.	病理診断科・病理部	Transoral surgery for superficial head and neck cancer: National Multi-Center Survey in Japan.	Cancer Med, 10: 3848-3861, 2021	Original Article
374	Amemiya R, Miyoshi T, Aokage K, et al.	病理診断科・病理部	Prognostic impact of the tumor immune microenvironment in pulmonary pleomorphic carcinoma.	Lung Cancer, 153: 56-65, 2021	Original Article
375	Suzuki J, Aokage K, Neri S, et al.	病理診断科・病理部	Relationship between podoplanin-expressing cancer-associated fibroblasts and the immune microenvironment of early lung squamous cell carcinoma.	Lung Cancer, 153: 1-10, 2021	Original Article
376	Tsuda H, Yoshida M, Akiyama F, et al.	病理診断科・病理部	Nuclear grade and comedo necrosis of ductal carcinoma in situ as histopathological eligible criteria for the Japan Clinical Oncology Group 1505 trial: an interobserver agreement study.	Jpn J Clin Oncol, 51: 434-443, 2021	Original Article
377	Yagisawa M, Sawada K, Nakamura Y, et al.	病理診断科・病理部	Prognostic Value and Molecular Landscape of HER2 Low-Expressing Metastatic Colorectal Cancer.	Clin Colorectal Cancer, 20:113-120.e1, 2021	Original Article
378	Hasegawa H, Taniguchi H, Nakamura Y, et al.	病理診断科・病理部	FMS-like tyrosine kinase 3 (FLT3) amplification in patients with metastatic colorectal cancer.	Cancer Sci, 112: 314-322, 2021	Original Article
379	Takada K, Aizawa Y, Sano D, et al.	病理診断科・病理部	Establishment of PDX-derived salivary adenoid cystic carcinoma cell lines using organoid culture method.	Int J Cancer, 148:193-202, 2021	Original Article
380	Miyake Y, Fujii K, Nakamaura T, et al.	病理診断科・病理部	IDH-Mutant Astrocytoma With Chromosome 19q13 Deletion Manifesting as an Oligodendroglioma-Like Morphology.	J Neuropathol Exp Neurol, 80: 247-253, 2021	Original Article
381	Imajo K, Tetlow L, Dennis A, et al.	病理診断科・病理部	Quantitative multiparametric magnetic resonance imaging can aid non-alcoholic steatohepatitis diagnosis in a Japanese cohort.	World J Gastroenterol, 27:609-623, 2021	Original Article
382	Yoshioka T, Suzuki Y, Imai Y, et al.	病理診断科・病理部	Inspection for micrometastasis is essential for predicting the prognosis of serous endometrial intraepithelial carcinoma: Case report and literature review.	J Obstet Gynaecol Res, 47: 4484-4489, 2021	Original Article
383	Totsuka M, Watanabe T, Takamura N, et al.	病理診断科・病理部	A pediatric case of Stevens-Johnson syndrome with acute liver failure, resulting in liver transplantation.	J Dermatol, 48: 1423-1427, 2021	Original Article
384	Hongo T, Nakamura T, Miyake A, et al.	病理診断科・病理部	Evaluation of Tumor Cell Infiltration to the Skull in Dermatofibrosarcoma Protuberans of the Scalp: Case Report and Literature Review.	NMC Case Rep J, 8: 287-293, 2021	Case report

計:　14

385	Iwai T, Ohashi N, Sugiyama S, et al.	病理診断科・病理部	Actinomycotic osteomyelitis with proliferative periostitis arising in the mandibular ramus: an unusual case with spontaneous bone regeneration after coronoidectomy.	Oral Radiol, 37: 137-145, 2021	Original Article
386	Sato K, Matsumura M, Anzai Y, et al.	病理診断科・病理部	A lung tumor with features of salivary duct carcinoma.	Pathol Int, 71: 284-286, 2021	Original Article
387	Koike C, Okudela K, Matsumura M, et al.	病理診断科・病理部	Frequent DYRK2 gene amplification in micropapillary element of lung adenocarcinoma - an implication in progression in EGFR-mutated lung adenocarcinoma.	Histol Histopathol, 36: 305-315, 2021	Original Article
388	Minamisawa M, Suzumura T, Bose S, et al.	病理診断科・病理部	Effect of Yuzu (Citrus junos) Seed Limonoids and Spermine on Intestinal Microbiota and Hypothalamic Tissue in the Sandhoff Disease Mouse Model.	Med Sci (Basel), 9: 17, 2021	Original Article
389	Kohei Hamanaka, Keita Miyoshi, Jia-Hui Sun, et al.	難病ゲノム診断科	Amelioration of a neurodevelopmental disorder by carbamazepine in a case having a gain-of-function GRIA3 variant.	Human genetics 141(2):283-293 2022年1月	Case report
390	Noriko Miyake, Sebastián Silva, Mónica Troncoso, et al.	難病ゲノム診断科	A homozygous ABHD16A variant causes a complex hereditary spastic paraplegia with developmental delay, absent speech, and characteristic face.	Clinical genetics 101(3): 359-363 2021年12月	Case report
391	Hiromi Fukuda, Daisuke Yamaguchi, Kristofor Nyquist, et al.	難病ゲノム診断科	Father-to-offspring transmission of extremely long NOTCH2NLC repeat expansions with contractions: genetic and epigenetic profiling with long-read sequencing.	Clinical epigenetics 13(1) 204-204 2021年11月	Original Article
392	Rie Seyama, Naomi Tsuchida, Yasuyuki Okada, et al.	難病ゲノム診断科	Two families with TET3-related disorder showing neurodevelopmental delay with craniofacial dysmorphisms.	Journal of human genetics 67(3):157-164. 2021年11月	Original Article
393	Roar Fjær, Katarzyna Marciniak, Olav Sundnes, et al.	難病ゲノム診断科	A novel somatic mutation in GNB2 provides new insights to the pathogenesis of Sturge-Weber syndrome.	Human molecular genetics 30(21) 1919-1931 2021年10月	Original Article
394	Shinichi Kameyama, Takeshi Mizuguchi, Hiromi Fukuda, et al.	難病ゲノム診断科	Biallelic null variants in ZNF142 cause global developmental delay with familial epilepsy and dysmorphic features.	Journal of human genetics 67(3):169-173 2021年9月	Case report
395	Masamune Sakamoto, Kazunori Sasaki, Atsushi Sugie, et al.	難病ゲノム診断科	De novo ARF3 variants cause neurodevelopmental disorder with brain abnormality.	Human molecular genetics 31(1) 69-81 2021年8月	Original Article
396	Yamada H, Okanishi T, Okazaki T, et al.	難病ゲノム診断科	Gait disturbance in a patient with de novo 1.0-kb SOX2 microdeletion.	Brain & development 44(1) 68-72 2021年7月	Case report

計: 12

397	Hiroki Goto, Masashi Kimura, Junichiro Machida, et al.	難病ゲノム診断科	A novel LRP6 variant in a Japanese family with oligodontia.	Human genome variation 8(1) 30-30 2021年7月	Case report
398	Toshiyuki Itai, Satoko Miyatake, Naomi Tsuchida, et al.	難病ゲノム診断科	Novel CLTC variants cause new brain and kidney phenotypes.	Journal of human genetics 67(1) 1-7 2021年7月	Original Article
399	Koji Sasaki, Shinichi Tsujimoto, Mayuko Miyake, et al.	難病ゲノム診断科	Droplet digital polymerase chain reaction assay for the detection of the minor clone of KIT D816V in paediatric acute myeloid leukaemia especially showing RUNX1-RUNX1T1 transcripts.	British journal of haematology 194(2) 414-422 2021年6月	Original Article
400	Halie J May, Jaehoon Jeong, Anya Revah-Politi, et al.	難病ゲノム診断科	Truncating variants in the SHANK1 gene are associated with a spectrum of neurodevelopmental disorders.	Genetics in medicine : official journal of the American College of Medical Genetics 23(10) 1912-1921 2021年6月	Original Article
401	Mizuguchi T, Toyota T, Miyatake S, et al.	難病ゲノム診断科	Complete sequencing of expanded SAMD12 repeats by long-read sequencing and Cas9-mediated enrichment.	Brain : a journal of neurology 144(4) 1103-1117 2021年5月	Original Article
402	Hiromi Aoi, Takeshi Mizuguchi, Toshifumi Suzuki, et al.	難病ゲノム診断科	Whole exome sequencing of fetal structural anomalies detected by ultrasonography.	Journal of human genetics 66(5) 499-507 2021年5月	Original Article
403	Kamimura D, Cain-Shields LR, Clark D, et al.	臨床検査部	Physical Activity, Inflammation, Coronary Artery Calcification, and Incident Coronary Heart Disease in African Americans: Insights From the Jackson Heart Study.	Mayo Clin Proc, 96(4): 901-911, 2021	Original Article
404	Kurisawa K, Yokose M, Tanaka H, et al.	集中治療部	Multivariate analysis of factors associated with first-pass success in blind placement of a post-pyloric feeding tube: a retrospective study.	J Intensive Care, 9(1): 59, 2021	Original Article
405	Watanabe T, Go H, Saigusa Y, et al.	集中治療部	Mortality and risk factors on admission in toxic epidermal necrolysis: A cohort study of 59 patients.	Allergol Int, 70(2): 229-234, 2021	Original Article
406	Idei M, Ishikawa J, Nomura T	集中治療部	Accumulation of water droplets within the polyurethane cuff 24 hours after tracheal intubation: a single center, retrospective pilot study.	Minerva Anestesiol, 87(1): 118-119, 2021	Original Article
407	Goto S, Ishikawa JY, Idei M, et al.	集中治療部	Life-Threatening Complications Related to Delayed Diagnosis of Euglycemic Diabetic Ketoacidosis Associated with Sodium-Glucose Cotransporter-2 Inhibitors: A Report of 2 Cases.	Am J Case Rep, 22: e929773, 2021	Original Article
408	Seino Y, Sato N, Idei M, Nomura T	集中治療部	Initial Medical Errors After the Implementation of a Clinical Information System in an Intensive Care Unit and Intermediate Medical Care Unit.	Tokyo Women's Medical University Journal, 5: 84-92, 2021	Original Article

計: 12

409	Horita N, Kato H, Watanabe K, et al.	化学療法センター	Decline in mortality due to respiratory diseases in Japan during the coronavirus disease 2019 pandemic.	Respirology. Feb 2022;27(2):175-176	Letter
410	Horita N, Kato H, Watanabe K, et al.	化学療法センター	Declined Mortality Due to Seasonal Influenza in Japan During the Coronavirus Disease 2019 Pandemic.	Clin Infect Dis. Jun 10 2022;74(11):2081	Letter
411	Horita N, Miyagi E, Mizushima T, et al.	化学療法センター	Severe anaphylaxis caused by intravenous anti-cancer drugs.	Cancer Med. Oct 2021;10(20):7174-7183	Others
412	Horita N, Moriguchi S	化学療法センター	Trends in Suicide in Japan Following the 2019 Coronavirus Pandemic.	JAMA Netw Open. Mar 1 2022;5(3):e224739	Others
413	Miwa H, Numata K, Sugimori K, Kaneko T, Maeda S	消化器内科学	Vascular evaluation by transabdominal ultrasound for gallbladder polyp.	J Med Ultrason, 48(2):159-173, 2021	Original Article
414	Wang F, Numata K, Chuma M, et al.	消化器内科学	The value of hepatobiliary phase in EOB-MRI in predicting hypervascularization outcome of non-hypervascular hypointense lesions in high-risk patients for hepatocellular carcinoma.	Abdom Radiol (NY), 46(6):2527-2539, 2021	Original Article
415	Miwa H, Sugimori K, Ishii T, et al.	消化器内科学	Multiple-line Chemotherapy for a Patient with Unresectable Mucinous Cystic Neoplasm of the Pancreas.	Intern Med, 60(16): 2607-2612, 2021	Original Article
416	Kudo M, Matilla A, Santoro A, et al.	消化器内科学	CheckMate 040 Cohort 5: A phase I/II study of nivolumab in patients with advanced hepatocellular carcinoma and Child-Pugh B cirrhosis.	J Hepatol, 75(3):600-609, 2021	Original Article
417	Ozeki Y, Miwa H, Sugimori K, et al.	消化器内科学	Hemoperitoneum due to a ruptured right gastroepiploic artery following non-interventional endoscopic ultrasonography: a case report.	Clin J Gastroenterol, 14(5):1371-1375, 2021	Original Article
418	Tarao K, Nozaki A, Komatsu H, et al.	消化器内科学	Comparison of unenhanced magnetic resonance imaging and ultrasound in detecting very small hepatocellular carcinoma.	World J Hepatol, 13(6):699-708, 2021	Original Article
419	Komiyama S, Numata K, Ogushi K, et al.	消化器内科学	Liver Injury and Use of Contrast-Enhanced Ultrasound for Evaluating Intrahepatic Recurrence in a Case of TACE-Refractory Hepatocellular Carcinoma Receiving Atezolizumab-Bevacizumab Combination Therapy: A Case Report.	Diagnostics, 11(8): 1394, 2021	Case report

計: 12

420	Wang F, Numata K, Takeda A, et al.	消化器内科学	Optimal Application of Stereotactic Body Radiotherapy and Radiofrequency Ablation Treatment for Different Multifocal Hepatocellular Carcinoma Lesions in Patients with Barcelona Clinic Liver Cancer Stage A4-B1: A Pilot Study.	BMC Cancer, 21(1):1169, 2021	Original Article
421	Fukushima T, Morimoto M, Ueno M, et al.	消化器内科学	Comparative study between sorafenib and lenvatinib as the first-line therapy in the sequential treatment of unresectable hepatocellular carcinoma in a real-world setting.	JGH Open, 6(1):29-35, 2021	Original Article
422	Maeda S, Hikiba Y, Fujiwara H, et al.	消化器内科学	NAFLD exacerbates cholangitis and promotes cholangiocellular carcinoma in mice.	Cancer Sci, 12(4): 1471-1480, 2021	Original Article
423	Toyoda H, Leong J, Landis C, et al.	消化器内科学	Treatment and Renal Outcomes Up to 96 Weeks After Tenofovir Alafenamide Switch From Tenofovir Disoproxil Fumarate in Routine Practice.	Hepatology, 74(2): 656-666, 2021	Original Article
424	Toyoda H, Hiraoka A, Uojima H, et al.	消化器内科学	Characteristics and Prognosis of De Novo Hepatocellular Carcinoma After Sustained Virologic Response.	Hepatol Commun, 5(7): 1290-1299, 2021	Original Article
425	Nguyen MH, Atsukawa M, Ishikawa T, et al.	消化器内科学	Outcomes of Sequential Therapy With Tenofovir Alafenamide After Long-term Entecavir.	Am J Gastroenterol, 116(6): 1264-1273, 2021	Original Article
426	Atsukawa M, Tsubota A, Kondo C, et al.	消化器内科学	A novel noninvasive formula for predicting cirrhosis in patients with chronic hepatitis C.	PLoS One, 16(9): e0257166, 2021	Original Article
427	Tarao K, Nozaki A, Chuma M, Taguri M, Maeda S	消化器内科学	Effectiveness of entecavir in preventing hepatocellular carcinoma development is genotype-dependent in hepatitis B virus-associated liver cirrhosis.	World J Hepatol, 13(1):144-150, 2021	Original Article
428	Ioka T, Furuse J, Fukutomi A, et al.	消化器内科学	Hepatobiliary and Pancreatic Oncology Group (HBPOG) of Japan Clinical Oncology Group (JCOG): Randomized phase II study of chemoradiotherapy with versus without induction chemotherapy for locally advanced pancreatic cancer: Japan Clinical Oncology Group trial, JCOG1106.	Jpn J Clin Oncol, 51(2):235-243, 2021	Original Article
429	Miwa H, Sugimori K, Tsuchiya H, et al.	消化器内科学	Safe removal of lumen-apposing metal stent using argon plasma coagulation after EUS-guided cyst gastrostomy (with video).	Endosc Ultrasound, 10(4): 309-310, 2021	Original Article
430	Ishigaki K, Nakai Y, Sasahira N, et al.	消化器内科学	Acquire Study Group: A prospective multicenter study of endoscopic ultrasound-guided fine needle biopsy using a 22-gauge Franseen needle for pancreatic solid lesions.	J Gastroenterol Hepatol, 36(10): 2754-2761, 2021	Original Article

計: 11

431	Ueno M, Morizane C, Okusaka T, et al.	消化器内科学	Comparison of gemcitabine-based chemotherapies for advanced biliary tract cancers by renal function: an exploratory analysis of JCOG1113.; members of the Hepatobiliary and Pancreatic Oncology Group of the Japan Clinical Oncology Group (JCOG-HBPOG).	Sci Rep, 11(1): 12885, 2021	Original Article
432	Kogure H, Kato H, Kawakubo K, et al.	消化器内科学	A Prospective Multicenter Study of "Inside Stents" for Biliary Stricture: Multicenter Evolving Inside Stent Registry (MEISteR).	J Clin Med, 10(13): 2936, 2021	Original Article
433	Kuwatani M, Kawakubo K, Sugimori K, et al.	消化器内科学	Trial protocol: a randomised controlled trial to verify the non-inferiority of a partially covered self-expandable metal stent to an uncovered self-expandable metal stent for biliary drainage during neoadjuvant therapy in patients with pancreatic cancer with obstructive jaundice (PUN-NAC trial).	BMJ Open, 11(7): e04569, 2021	Original Article
434	Kobayashi S, Ueno M, Ogawa G, et al.	消化器内科学	Impact of Renal Function on S-1 + Radiotherapy for Locally Advanced Pancreatic Cancer: An Integrated Analysis of Data From 2 Clinical Trials.	Pancreas, 50(7):965-971, 2021	Original Article
435	Miwa H, Sugimori K, Tsuchiya H, et al.	消化器内科学	Novel clip device for prevention of bleeding after endoscopic papillectomy.	DEN open, 2(1): e51, 2021	Original Article
436	Takizawa K, Ono H, Hasuike N, et al.	消化器内科学	Gastrointestinal Endoscopy Group (GIESG) and the Stomach Cancer Study Group (SCSG) of Japan Clinical Oncology Group: A nonrandomized, single-arm confirmatory trial of expanded endoscopic submucosal dissection indication for undifferentiated early gastric cancer: Japan Clinical Oncology Group study (JCOG1009/1010).	Gastric Cancer, 24(2): 479-491, 2021	Original Article
437	Fukuchi T, Hirasawa K, Sato C, et al.	消化器内科学	Factors influencing interruption of colorectal endoscopic submucosal dissection.	Surg Endosc, 35(10): 5497-5507, 2021	Original Article
438	Nishio M, Hirasawa K, Ozeki Y, et al.	消化器内科学	An endoscopic treatment strategy for superficial tumors in patients with ulcerative colitis.	J Gastroenterol Hepatol, 36(2): 498-506, 2021	Original Article
439	Andrisani G, Fukuchi T, Antonelli G, et al.	消化器内科学	Superficial neoplasia involving the Ileocecal valve: Clinical outcomes of endoscopic submucosal dissection.	Dig Liver Dis, 53(7): 889-894, 2021	Original Article
440	Hirasawa K, Ozeki Y, Sawada A, et al.	消化器内科学	Appropriate endoscopic treatment selection and surveillance for superficial non-ampullary duodenal epithelial tumors.	Scand J Gastroenterol, 56(3):342-350, 2021	Original Article
441	Nishio M, Hirasawa K, Teranishi JI, et al.	消化器内科学	Small intestinal thrombotic microangiopathy following kidney transplantation diagnosed by balloon-assisted enteroscopy.	Ann Gastroenterol, 34(1): 119-121, 2021	Original Article

計: 11

442	Ikeda R, Hirasawa K, Sato C, et al.	消化器内科学	Incidence of metachronous gastric cancer after endoscopic submucosal dissection associated with eradication status of Helicobacter pylori.	Eur J Gastroenterol Hepatol, 33(1): 17-24, 2021	Original Article
443	Ozeki Y, Hirasawa K, Ikeda R, et al.	消化器内科学	Safety and efficacy of water pressure endoscopic submucosal dissection for colorectal tumors with submucosal fibrosis (with video).	Gastrointest Endosc, 94(3):607-617, 2021	Original Article
444	Fukuchi T, Hirasawa K, Sato C, et al.	消化器内科学	Potential roles of gastroesophageal reflux in patients with superficial esophageal squamous cell carcinoma without major causative risk factors.	J Gastroenterol, 56(10):891-902, 2021	Original Article
445	Ozeki Y, Hirasawa K, Sawada A, et al.	消化器内科学	Mixed histology poses a greater risk for noncurative endoscopic resection in early gastric cancers regardless of the predominant histologic types.	Eur J Gastroenterol Hepatol, 32(2): 186-193, 2021	Original Article
446	Tsuyuki S, Takeshima H, Sekine S, et al.	消化器内科学	Comparable genetic alteration profiles between gastric cancers with current and past Helicobacter pylori infection.	Sci Rep, 11(1): 23443,2021	Original Article
447	Liu X, Yamaguchi K, Takane K, et al.	消化器内科学	Cancer-associated IDH mutations induce Glut1 expression and glucose metabolic disorders through a PI3K/Akt/mTORC1-Hif1α axis.	PLoS One, 16(9): e0257090, 2021	Original Article
448	Miyake S, Higurashi T, Kato H, et al.	消化器内科学	Evaluation of a combination protocol of CT-first triage and active telemedicine methods by a selected team tackling COVID-19: An experimental research study.	J Infect Public Health, 14(9): 1212-1217, 2021	Original Article
449	Kunishi Y, Yoshie K, Kato Y, Maeda S	消化器内科学	Polypoid lesions in the stomach and the colon: Cronkhite-Canada syndrome.	Lancet Gastroenterol Hepatol, 6(9): 770, 2021	Original Article
450	Miyake S, Higurashi T, Jono T, et al.	消化器内科学	Real-world evaluation of a computed tomography-first triage strategy for suspected Coronavirus disease 2019 in outpatients in Japan: An observational cohort study.	Observational Study Medicine (Baltimore), 100(22): e26161, 2021	Original Article
451	Fukushima T, Morimoto M, Kobayashi S, et al.	消化器内科学	Repeated transarterial chemoembolization with epirubicin-loaded superabsorbent polymer microspheres vs. conventional transarterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma.	Mol Clin Oncol, 14(6): 119, 2021	Original Article
452	Azuma S, Uojima H, Chuma M, et al.	消化器内科学	Author Correction: Influence of NOS3 rs2070744 genotypes on hepatocellular carcinoma patients treated with Lenvatinib.	Sci Rep, 11(1): 8550, 2021	Original Article
453	Sue S, Sasaki T, Kaneko H, et al.	消化器内科学	Helicobacter pylori rescue treatment with vonoprazan, metronidazole, and sitafloxacin in the presence of penicillin allergy.	JGH Open, 5(2): 307-311, 2021	Original Article

計: 12

454	Tanaka M, Kawakami A, Maeda S, Kunisaki R, Morisky DE	消化器内科学	Validity and Reliability of the Japanese Version of the Morisky Medication Adherence Scale-8 in Patients With Ulcerative Colitis.	Gastroenterol Nurs, 44(1):31-38,2021	Original Article
455	Kunishi Y, Tsukamoto M, Yanagibashi T, et al.	消化器内科学	Cecal Volvulus Resolved Spontaneously.	Intern Med, 60(6): 851-854, 2021	Original Article
456	Sano Y, Morimoto M, Kobayashi S, et al.	消化器内科学	Repeated Lusutrombopag Treatment for Thrombocytopenia in Patients with Chronic Liver Disease.	Digestion, 102(4): 654-662, 2021	Original Article
457	Matsubayashi M, Kobayashi T, Okabayashi S, et al.	消化器内科学	Determining the usefulness of Capsule Scoring of Ulcerative Colitis in predicting relapse of inactive ulcerative colitis.	J Gastroenterol Hepatol, 36(4):943-950,2021	Original Article
458	Fukushima T, Morimoto M, Ueno M, et al.	消化器内科学	Comparative study between sorafenib and lenvatinib as the first-line therapy in the sequential treatment of unresectable hepatocellular carcinoma in a real-world setting.	JGH Open, 17; 6(1): 29-35, 2021	Original Article
459	Inokuchi Y, Watanabe M, Hayashi K, et al.	消化器内科学	A case of esophageal granular cell tumor diagnosed by mucosal incision-assisted biopsy.	Clin J Gastroenterol, 15(1): 53-58, 2022	Original Article
460	Chuma M, Uojima H, Hattori N, et al.	消化器内科学	Safety and efficacy of atezolizumab plus bevacizumab in patients with unresectable hepatocellular carcinoma in early clinical practice: A multicenter analysis.	Hepatol Res. 52(3):269-280,2022	Original Article
461	Ishii T, Kaneko T, Suzuki Y, et al.	消化器内科学	Salvage technique for endoscopic stent removal using a thin-tipped balloon catheter during endoscopic ultrasound-guided hepaticoduodenostomy.	Endoscopy, 10.1055/a-1694-3617, 2022	Original Article
462	H, Konno N, Kobayashi S, Morimoto M, Maeda S	消化器内科学	Modified FOLFIRINOX versus sequential chemotherapy (FOLFIRI/FOLFOX) as a second-line treatment regimen for unresectable pancreatic cancer: A real-world analysis.	Cancer Med,1(4):1088-1098,2022	Original Article
463	Inokuchi Y, Ishida A, Hayashi K, K, et al.	消化器内科学	Feasibility of gastric endoscopic submucosal dissection in elderly patients aged ≥ 80 years.	World J Gastrointest Endosc,16;14(1):49-62,2022	Original Article
464	Yamada H, Kaneko H, Kuwashima H, et al.	消化器内科学	The Origin of Epithelium with Low-Grade Atypia in Early Gastric Cancer.	Digestion, 2022; 103(3):217-223	Original Article
465	Ishii T, Ueda M, Maeda S	消化器内科学	Novel approach to complete anastomotic obstruction after hepaticojejunostomy.	Dig Endosc,34(3):e54-e55,2022	Original Article
466	Kawakami A, Tanaka M, Choong LM, et al.	消化器内科学	Self-Reported Medication Adherence Among Patients with Ulcerative Colitis in Japan and the United Kingdom: A Secondary Analysis for Cross-Cultural Comparison.	Patient Prefer Adherence, 2022 Mar 8;16:671-678	Original Article

計:　13

467	Hamanaka J, Vadalà di Prampero SF, et al.	消化器内科学	Efficacy and Safety of a Novel Triple-anchoring Technique for Colonic Hybrid Endoscopic Mucosal Resection: A Case Series	J Gastrointestin Liver Dis, 19;31(1):25-30,2022	Original Article
468	Nishio M, Hirasawa K, Ozeki Y, et al.	消化器内科学	Magnifying endoscopy is useful for tumor border diagnosis in ulcerative colitis patients.	Dig Liver Dis,54(6): 812-818, 2022	Original Article
469	Asama H, Ueno M, Kobayashi S, et al.	消化器内科学	Sarcopenia: Prognostic Value for Unresectable Pancreatic Ductal Adenocarcinoma Patients Treated With Gemcitabine Plus Nab-Paclitaxel.	Pancreas,1;51(2):148-152, 2022	Original Article
470	Sue S, Maeda S	消化器内科学	Is a Potassium-Competitive Acid Blocker Truly Superior to Proton Pump Inhibitors in Terms of Helicobacter pylori Eradication?	Gut Liver, 15(6):799-810, 2021	Review
471	Numata K	消化器内科学	Abdominal Ultrasound and Treatment of Hepatocellular Carcinoma.	Diagnostics (Basel), 11(7):1268, 2021	Review

計: 5

合計: 471

(注) 1　当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2　報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること（筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。）

3　「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4　「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5　「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月（原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない）; 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
（出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月（オンライン掲載月）の後に（オンライン）と明記すること）。
記載例：　Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9　/　Lancet. 2015 Dec（オンライン）

6　「論文種別」欄には、Original Article、Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文（任意）

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

(注) 1　当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2　記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3　高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

①　倫理審査委員会の設置状況	(有)・無
②　倫理審査委員会の手順書の整備状況	(有)・無
・　手順書の主な内容 委員会の設置、研究機関長、研究者及び研究責任者の業務及び責務、研究責任者による研究実施の準備及び研究の管理に関する業務　など	
③　倫理審査委員会の開催状況	年12回

（注）　1　倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2　前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

①　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	(有)・無
②　利益相反の管理に関する規定の整備状況	(有)・無
・　規定の主な内容 公立大学法人横浜市立大学臨床研究利益相反委員会実施要綱により委員会の設置、所掌事務、組織、自己申告書の審査及び本学が設定する基準額を超える利益関係についてのマネジメントについて定めている	
③　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年30回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

①　臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年11回
・研修の主な内容 臨床研究の倫理に関する講習として，下記の日程で臨床研究セミナーならびに倫理委員向けのセ	

ミナーを行った.

「臨床研究を始める前に全員が知っておくべきこと～ピットフォール～」（講師）須江　聡一郎

2021年5月21日

「知っておきたい国際標準の研究倫理 CITI JapanからAPRINへ」

（講師）福嶋　義光　2021年6月7日

「臨床研究の適正な実施のために　～新倫理指針の概要～」

（講師）佐藤　典宏　2021年6月11日

「研究倫理の近年の動向と課題」（講師）伊吹　友秀　2021年6月23日*

「臨床研究を取り巻くルールの変化にどのように対応するか？」

（講師）中村 健一　2021年6月30日

「第３者委員会の提言をふまえた当院での取り組み」（講師）矢野 裕一朗　2021年8月26日

「臨床研究と利益相反」（講師）中田　はる佳　2021年12月14日*

「責任ある研究活動」（講師）岡野　恵子　2021年12月16日

「倫理審査の視点から考える医学系指針と個人情報保護」（講師）上杉奈々　2022年1月27日*

「医師主導臨床試験のプロトコール遵守について ～医師の裁量権との葛藤を踏まえて～」

（講師）　宮城 悦子　2022年2月15日

「観察研究の倫理審査、何をどう見るべきか」（講師）田代　志門　2022年2月24日*

*：倫理審査委員向けセミナー

他：臨床研究セミナー

（注）前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

本学は20を超す多彩なプログラムを有しており、大学病院の専門診療科及び専門別センターで高度で質の高い医療に従事することができる。また、協力病院をはじめとした地域医療機関での研修によって、臨床研修に引き続きプライマリ・ケアを含めた幅広い研修も行うことができる。研修期間は原則3年間であり、専門医取得に向けた大きな一歩となっている。

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2　研修の実績

上記研修を受けた医師数	82人

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
中島　秀明	血液・リウマチ・感染症内科	教授	36年	
金子　猛	呼吸器内科	教授	37年	
日比　潔	循環器内科	教授	31年	
田村　功一	腎臓･高血圧内科	教授	35年	
田中　章景	脳神経内科･脳卒中科	教授	36年	
寺内　康夫	内分泌･糖尿病内科	教授	34年	
前田　愼	消化器内科	教授	30年	
中島　淳	消化器内科(肝胆膵)	教授	34年	
市川　靖史	臨床腫瘍科	教授	37年	
菱本　明豊	精神科	教授	27年	
伊藤　秀一	小児科	教授	30年	
鈴木　伸一	心臓血管外科･小児循環器	准教授	37年	
利野　靖	消化器･一般外科	准教授	37年	
菅沼　伸康	乳腺･甲状腺外科	講師	25年	
石川　善啓	呼吸器外科	講師	22年	
遠藤　格	消化器外科	教授	38年	
稲葉　裕	整形外科	教授	34年	
山口　由衣	皮膚科	教授	23年	
槙山　和秀	泌尿器科	教授	29年	
宮城　悦子	産婦人科	教授	35年	
水木　信久	眼科	教授	34年	
折舘　伸彦	耳鼻いんこう科	教授	35年	
幡多　政治	放射線科	教授	30年	
光藤　健司	歯科・口腔外科・矯正歯科	教授	34年	

後藤　隆久	麻酔科	教授	36年	
山本　哲哉	脳神経外科	教授	34年	
中村　健	リハビリテーション科	教授	30年	
林　礼人	形成外科	教授	28年	
竹内　一郎	救急科	教授	26年	
藤井　誠志	病理診断科	教授	29年	
山崎　悦子	臨床検査部	准教授	31年	
宇都宮　大輔	放射線部	教授	27年	
太田　光泰	総合診療科	教授	30年	

(注) 1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
(注) 2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
(注) 3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4　医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

①　医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数
②　業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数
③　他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数

(注) 1　高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。
(注) 2　「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1．計画　②．現状
管理責任者氏名	医療情報部　西井　鉄平
管理担当者氏名	医事課長　深澤　博　/　総務課長　岸田　純也

			保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	
		各科診療日誌	各科	
		処方せん	総務課・薬剤部	
		手術記録	総務課	
		看護記録	総務課	
		検査所見記録	総務課	
		エックス線写真	総務課	
		紹介状	総務課	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	総務課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	職員課	
		高度の医療の提供の実績	医事課（病歴室）	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科	
		高度の医療の研修の実績	各診療科	
		閲覧実績	各関係部署	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課（病歴室）	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	総務課・薬剤部	
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療の質・安全管理部	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療の質・安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療の質・安全管理部	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	職員課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	職員課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	総務課	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	職員課	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	職員課	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	職員課	
		医療安全管理部門の設置状況	職員課	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療の質・安全管理部	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療の質・安全管理部	
		監査委員会の設置状況	総務課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療の質・安全管理部	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療の質・安全管理部	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	八景キャンパス総務課	
		職員研修の実施状況	職員課	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療の質・安全管理部	
		管理者が有する権限に関する状況	職員課	
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	八景キャンパス総務課	
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	八景キャンパス企画財務課	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

（様式第6）

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1．計画　②現状
閲覧責任者氏名	医療情報部長　西井　鉄平
閲覧担当者氏名	医事課長　深澤　博　／　総務課　岸田　純也
閲覧の求めに応じる場所	会議室　病歴室（閲覧室）

閲覧の手続の概要

閲覧の手続の概要
医療スタッフの閲覧は「横浜市立大学附属病院　診療録等管理実施要綱」「診療録等の閲覧・貸出要綱」に基づき手続きを行う。
患者側からの個人情報開示の請求があった場合、「横浜市立大学附属病院における診療情報の提供に関する実施要綱」「横浜市立大学附属病院における診療情報の提供に関する事務処理要領」に基づき手続きを行う。
公的監査における診療録の閲覧については、指定を受けた記録について該当記録・書類を病院職員立ち合いのもと開示する。
カルテレビュー形式で閲覧する場合は、会議室に電子カルテ閲覧の環境を設置する。病院職員が操作し指定の記録あるいは診療内容について開示する。

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前　年　度　の　総　閲　覧　件　数		延　0　件
閲　覧　者　別	医師	延　0　件
	歯科医師	延　0　件
	国	延　0　件
	地方公共団体	延　0　件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

別紙①

令和3年度安全管理研修の開催状況

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
新入職者研修	4/1～ (e-Learning)	新採用・ 転入者	623人	各コンテンツ 1.0時間	・知っておきたい医療安全の知識 ・感染対策について ・医療機器総論 ・医薬品の安全管理 ・放射線診療における医療安全 ・手術における医療安全 ・医療安全について ・コンプライアンス・個人情報保護について ・臨床倫理について ・診療記録の記載について ・特定機能病院と地域連携について ・保険医療機関の義務について ・患者対応・接遇、患者の権利について ・附属病院の組織・労務管理・ハラスメントについて ・臨床研究について ・研修医の指導について
復職者研修	4/1～ (e-Learning)	復職者	20人	各コンテンツ 1.0時間	・知っておきたい医療安全の知識 ・感染対策について ・医療機器総論 ・医薬品の安全管理 ・手術における医療安全 ・医療安全について(動画講義) ・コンプライアンス・個人情報保護について ・臨床倫理について ・診療記録の記載について ・附属病院の組織・労務管理・ハラスメントについて
第1回 医療安全講演会	4/1～ (e-Learning)	新採用・ 転入者	1335人	1.0時間	・附属病院の医療安全の歩み
第2回 医療安全講演会	9/22 （ZOOM ウェビナー） 10/1～ (e-Learning)	全職員	1752人	1.0時間	・医療チームにおける心理的安全性の意味と意義
第3回 医療安全講演会	12/10～ (e-Learning)	全職員必須	1862人	1.0時間	・病院機能評価受審に必要な医療安全マニュアルのポイント
第4回 医療安全講演会	2/15～ (e-Learning)	全職員	1124人	1.0時間	・医療放射線安全研修 ・医薬品安全管理研修 ・病院機能評価の振り返り
中心静脈 カテーテル 講習会	5/12 5/18 10/20	医師・ 研修医	29人 30人 13人	1.5時間	講義、シミュレーターを使用した実技演習
新人研修ステップ1	4/5	新人看護師	95人	7.5時間	病院概要、看護部概要を知り、組織の一員として、社会人としての自覚が芽生える。
新人研修ステップⅠ インターンシップ1日目	4/6	新人看護師	87人	7.5時間	横浜市立大学附属病院の雰囲気、看護師の仕事を体験し、自分が働く姿をイメージする。

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
新人研修ステップⅠ インターンシップ2日目	4/7	新人看護師	87人	7.5時間	横浜市立大学附属病院の雰囲気、看護師の仕事を体験し、自分が働く姿をイメージする。
新人研修 ステップⅠ	4/8	新人看護師	87人	7.5時間	病院概要・看護部概要・看護部教育方針・教育体制・新人教育などについて学ぶ。
新人研修 ステップⅠ	4/9	新人看護師	87人	7.5時間	病院概要・看護部概要・看護部教育方針・教育体制・新人教育などについて学ぶ。
新人研修 ステップⅡー①	4/19	新人看護師	45人	7.5時間	患者確認、内服管理、輸液管理
新人研修 ステップⅡー①	4/20	新人看護師	42人	7.5時間	感染の基礎（輸液調剤を含む）、静脈採血（ハイリスク薬の取り扱い）
新人研修 ステップⅡー②	4/24	新人看護師	87人	7.5時間	輸液ポンプ／夜勤開始前の心構え
新人研修 ステップⅡー②	4/24	新人看護師	87人	7.5時間	酸素療法／吸引（気管・口腔・鼻腔）
新人セルフマネジメント 導入編研修	4/26	新人看護師	87人	6.0時間	各時期におけるセルフマネジメントに対する自己の課題を認識し、次のステップに繋げる機会とする
新人処置別感染対策	5/10	新人看護師	46人	3.5時間	尿道留置カテーテル関連尿路感染予防
専門領域 摂食嚥下	5/10	新人看護師	49人	3.5時間	食事介助・口腔ケア
新人ステップ3	5/24	新人看護師	52人	2.5時間	看護記録
新人研修	5/24	新人看護師	49人	1.0時間	心と体の健康パート①
スキンケア基礎編 院内における褥瘡（予防）対策を学ぼう	5/24	新人看護師	49人	2.0時間	褥瘡対策に関する診療報酬の概要及び、入院患者の褥瘡リスクアセスメントと基本的な褥瘡ケアがわかる。

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
専門領域　摂食嚥下（食事介助・口腔ケア）	5/28	新人看護師	38人	3.5時間	基本的な栄養知識を習得する。摂食嚥下に関する基本的知識・技術を習得する。口腔ケアに関する基本的知識・技術を習得する。
新人処置別感染対策 （尿道留置カテーテル関連尿路感染予防）	5/28	新人看護師	35人	3.5時間	基本的な標準予防策に必要な基礎知識を習得する 膀胱留置カテーテル挿入時・留置中の感染対策を学ぶ
新人研修 心と体の健康 パート①	5/31	新人看護師	38人	1.0時間	自身の心と体の状況を確認し、心と体の健康を保つことができる。
新人ステップ3 看護記録	5/31	新人看護師	38人	2.5時間	看護記録における倫理的配慮・法的責任が理解できる。看護記録の意義や記載のルールを理解し、観察した患者の情報を適切に記録できる。看護過程について理解し、看護実践に繋げることができる。
新人ステップ4　業務分担・タイムマネジメント	6/7	新人看護師	45人	2.5時間	ペアで業務を遂行する上で、適切なタイムマネジメントの考えについて学ぶ。受け持ち患者の状況に応じて、自分の置かれた状況をペア看護師に口頭で伝え、同連携をとるか考えることができる。タイムリーな応援を求める事ができる
新人セルフマネジメントフォロー①	6/7	新人看護師	45人	3.5時間	各時期におけるセルフマネジメントに対する自己の課題を認識し、次のステップに繋げる機会とする
BLS② ～心肺蘇生ガイドラインと周辺環境調整～	6/11	２年目看護師	34人	3.0時間	ベッドサイドでの急変時の対応がイメージでき、根拠に基づいた行動がとれる。
フィジカルアセスメント2	6/11	２年目看護師	34人	2.5時間	バイタルサインと患者の身体的側面を合わせ、症状・徴候を評価できる
フィジカルアセスメント2	6/11	２年目看護師	33人	3.0時間	バイタルサインと患者の身体的側面を合わせ、症状・徴候を評価できる
BLS② ～心肺蘇生ガイドラインと周辺環境調整～～	6/11	２年目看護師	28人	3.0時間	ベッドサイドでの急変時の対応がイメージでき、根拠に基づいた行動がとれる。
新人ステップ4 業務分担・ タイムマネジメント	6/29	新人看護師	43人	3.0時間	ペアで業務を遂行する上で、適切なタイムマネジメントの考えについて学ぶ。受け持ち患者の状況に応じて、自分の置かれた状況をペア看護師に口頭で伝え、同連携をとるか考えることができる。タイムリーな応援を求める事ができる
看護管理者としての倫理的感受性を高めよう	7/6	看護師長	33人	1.0時間	スタッフか自部署の倫理的課題を日常的に議論できるよう組織文化を作ることができる
災害看護対応	7/7	新人看護師	26人	4.0時間	災害時の地域特性を理解し、病院施設の対応がわかる。

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
看護管理者対象	7/7	看護師長	6人	1.0時間	災害拠点病院における災害時の対応 災害拠点病院の役割を理解する。災害本部の役割を理解する。アクションカードの使用方法がわかる。防災備品の配置場所がわかる。
ステップ6 フィジカルアセスメント1「VSの意味を知る」	7/12	新人看護師	44人	3.5時間	バイタルサイン測定の意味や留意点を学び、正しい想定方法を用いて、適切に患者情報収集できる。
ステップ5 災害看護の基礎	7/12	新人看護師	48人	2.0時間	災害発生時の対応を理解し、初期対応がわかる。
ステップ5 BLSⅠ～急変時の一時処置	7/12	新人看護師	48人	1.5時間	心肺停止時に適切な心肺蘇生鵬を行うことができる
CVC管理研修 （復職者対象）	7/13	復職者	4人	1.5時間	「中心静脈カテーテル挿入と管理マニュアルVer7.1]に則って静脈注射（CVC管理）の実施承認者に対し必要な知識の教育を行う。
BLS研修 （技術更新）	7/15	ラダーⅡ～Ⅲの承認を目指す者	25人	1.8時間	看護職員として心肺蘇生を習得し、患者急変時の対応ができる。
BLS研修 （技術更新）	7/15	ラダーⅡ～Ⅲの承認を目指す者	23人	1.5時間	看護職員として心肺蘇生を習得し、患者急変時の対応ができる。
BLS研修 （技術更新）	7/26	ラダーⅡ～Ⅲの承認を目指す者	29人	1.8時間	看護職員として心肺蘇生を習得し、患者急変時の対応ができる。
スキンケアを見直そう　2年目必須	7/26	２年目看護師	33人	4.0時間	スキンケアの基本的な知識と技術を習得し、自身の日常のスキンケアを見直し、患者に適切に実施できる
ステップ6 フィジカルアセスメント1「VSの意味を知る」	7/29	新人看護師	41人	3.5時間	バイタルサイン測定の意味や留意点を学び、正しい想定方法を用いて、適切に患者情報収集できる
ステップ5 BLSⅠ～急変時の一時処置	7/29	新人看護師	42人	1.5時間	心肺停止時に適切な心肺蘇生鵬を行うことができる
ステップ5 災害看護の基礎	7/29	新人看護師	41人	2.0時間	災害発生時の対応を理解し、初期対応がわかる。
小論文の書き方	8/3	ラダーレベルⅠ	10人	1.5時間	小論文の基本的な書き方を知り、進学・研究に活かす

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
専門領域　摂食嚥下（食事介助・口腔ケア）	8/17	ラダーレベルⅠ	15人	3.5時間	基本的な栄養知識を習得する。摂食嚥下に関する基本的知識・技術を習得する。口腔ケアに関する基本的知識・技術を習得する。
臨床倫理教育について ZOOM	8/23	ラダーレベルⅢ以上の看護師	20人	2.0時間	臨床倫理教育について学び、日々の業務に活かすことができる。
災害時医療救護活動研修会	9/2	ラダーレベルⅠ	14人	3.8時間	災害発生時に的確／迅速な医療救護活動を可能にするため、災害時の医療にかかる基礎的な知識や対応について身につけることを目的とする。
静脈注射（血管確保）	9/10	新人看護師	44人	3.8時間	正確に安全な静脈注射（血管確保）が実施できる。
静脈注射（血管確保）	9/13	新人看護師	41人	3.8時間	正確に安全な静脈注射（血管確保）が実施できる。
ハイリスク薬・麻薬の取り扱い（2年目必須研修）	9/21	２年目看護師	55人	2.5時間	当院のハイリスク薬、麻薬の正しい取り扱いを理解できる。インシデントを予防し発生時の対処方法がわかる。
指示の受け方・見方（2年目必須研修）	9/21	２年目看護師	55人	1.5時間	指示を受ける際の注意点を学ぶ。指示を確認する際に発生しやすいインシデント予防策を学ぶ。
看護管理者としての倫理的感受性を高めよう	9/21	看護師長	33人	1.0時間	スタッフか自部署の倫理的課題を日常的に議論できるよう組織文化を作ることができる
終末期・看取りの看護Ⅰ	9/27	ラダーレベルⅠ～Ⅱ	17人	3.5時間	終末期から臨死期における、患者と家族の意向を大切にしたケアと看取り期の環境を考える。
CVC管理研修（新人・継続承認対象）	10/4	新人看護師	41人	3.5時間	中心静脈カテーテル管理の基本的な知識、技術を習得する
CVC管理研修（新人・継続承認対象）	10/4	新人看護師	44人	4.0時間	中心静脈カテーテル管理の基本的な知識、技術を習得する
高齢者の理解と看護～学研ナーシングサポート研修～	10/8	ラダーレベルⅠ以上	8人	3.5時間	高齢者の身体的、精神的、社会的特徴を理解できる。高齢者をアセスメントする為の情報を収集し整理することができる。 高齢者に特徴的な環境整備や生活支援について検討することができる。
CVC管理研修（新人・継続承認対象）	10/12	新人看護師	1人	1.5時間	中心静脈カテーテル管理の基本的な知識、技術を習得する

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
認知症対応力向上研修（認知症ケア加算Ⅱ対応研修）	10/16	ラダーレベルⅠ～Ⅴ	61人	7.0時間	認知症の基本的知識と認知症患者へのアセスメントや看護について学び、認知症患者の視点に立った看護実践に活かすことができる。
看護倫理Ⅱ	10/25	ラダーレベルⅡ～Ⅲ	13人	4.0時間	看護倫理の基礎知識を学び、日常の看護提供場面における倫理的ジレンマを表現し倫理的課題を検討できる。
CVC管理研修（新人・継続承認対象）	10/26	新人看護師	2人	1.5時間	中心静脈カテーテル管理の基本的な知識、技術を習得する
BLS研修（技術更新）	10/29	ラダーⅡ～Ⅲの承認を目指す者	16人	1.8時間	看護職員として心肺蘇生を習得し、患者急変時の対応ができる。
BLS研修（技術更新）	10/29	ラダーⅡ～Ⅲの承認を目指す者	11人	1.5時間	看護職員として心肺蘇生を習得し、患者急変時の対応ができる。
看取りにおける尊厳の尊重と苦痛の緩和	11/2	ラダーⅢの承認を目指す者	21人	2.0時間	ラダーレベルⅢ到達のために、事例を通して4つの力を学習し実践に活用できる 看取りのプロセスにおける尊厳の尊重や苦痛の緩和、コミュニケーションを学ぶ 講義
CVC管理研修（新人・継続承認対象）	11/9	新人看護師	32人	1.5時間	中心静脈カテーテル管理の基本的な知識、技術を習得する
ケアの受け手の自己決定を支える多職種の協働	11/9	ラダーⅣの承認を目指す者	3人	2.0時間	ラダーレベルⅣ到達のために、事例を通して4つの力を学習し実践に活用できる
協働におけるコンサルテーションと多職種カンファレンス	11/10	ラダーⅢの承認を目指す者	14人	2.0時間	ラダーレベルⅢ到達のために、事例を通して4つの力を学習し実践に活用できる
BLS研修（技術更新）	11/12	ラダーⅡ～Ⅲの承認を目指す者	7人	1.5時間	看護職員として心肺蘇生を習得し、患者急変時の対応ができる。
BLS研修（技術更新）	11/12	ラダーⅡ～Ⅲの承認を目指す者	7人	1.8時間	看護職員として心肺蘇生を習得し、患者急変時の対応ができる。
急変の予測と救命救急場面の対応	11/12	ラダーⅢの承認を目指す者	30人	2.0時間	ラダーレベルⅢ到達のために、事例を通して4つの力を学習し実践に活用できる
認知症対応力向上研修（認知症ケア加算Ⅱ対応研修）	11/13	ラダーレベルⅠ以上	61人	7.0時間	認知症の基本的知識と認知症患者へのアセスメントや看護について学び、認知症患者の視点に立った看護実践に活かすことができる。

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
看取りにおける尊厳の尊重と苦痛の緩和	11/15	ラダーⅢの承認を目指す者	9人	2.0時間	ラダーレベルⅢ到達のために、事例を通して4つの力を学習し実践に活用できる
ステップ7 リスクアセスメント研修	11/22	新人看護師	41人	3.5時間	看護場面におけるリスクについて学び、安全な看護を考えることができる
ステップ7 リスクアセスメント研修	11/22	新人看護師	42人	3.5時間	看護場面におけるリスクについて学び、安全な看護を考えることができる
協働におけるコンサルテーションと多職種カンファレンス	11/26	ラダーⅢの承認を目指す者	18人	2.0時間	ラダーレベルⅢ到達のために、事例を通して4つの力を学習し実践に活用できる
看護倫理Ⅲ	11/29	ラダーⅢの承認を目指す者	22人	4.0時間	倫理的課題のある事例を検討するプロセスを通して必要な情報や関係者の意向や価値観の違い・対立を明確にできる
BLSⅢ （急変時対応）	12/1	ラダーⅢの承認を目指す者	8人	3.5時間	効果的なチームダイナミクスのもと、急変時対応ができる。
新人ステップ8 看護倫理1研修	12/7	新人看護師	42人	3.0時間	看護倫理について基礎的な知識を学び、看護署としての責任ある行動や態度・姿勢を身につけることができる。
協働におけるコンサルテーションと多職種カンファレンス	12/7	ラダーⅢの承認を目指す者	19人	2.0時間	ラダーレベルⅢ到達のために、事例を通して4つの力を学習し実践に活用できる
ケアの受け手の全体像を把握するためのアセスメントの統合	12/8	ラダーⅢの承認を目指す者	35人	2.0時間	ケアの受け手の全体像を把握するために必要なアセスメントの統合方法を学ぶ
高齢者の理解と看護　Ⅰ	12/10	ラダーⅠの承認を目指す者	13人	3.5時間	高齢者の心身の特徴を知り、日々の看護実践に活かすことができる。
新人ステップ8 看護倫理1研修	12/13	新人看護師	45人	3.0時間	看護倫理について基礎的な知識を学び、看護署としての責任ある行動や態度・姿勢を身につけることができる。
がん看護 新人看護職員研修	12/13	新人看護師	46人	4.0時間	当院におけるがん看護に必要な基本知識（地域がん診療拠点病院の役割機能、がん患者との関わり方、がん疼痛治療に用いる医療用麻薬の管理、血管外漏出、抗がん剤曝露対策、）を習得する
急変の予測と 救命救急場面の対応	12/14	ラダーⅢの承認を目指す者	35人	2.0時間	急変の予測するための視点を学ぶ。また、救命救急場面におけるリーダーシップについて学ぶ。

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
CVC管理研修（新人･継続承認対象）	12/14	ラダーレベルⅠ以上	55人	1.5時間	中心静脈カテーテル管理の基本的な知識、技術を習得する
看護助手研修（BLSⅠ～急変時の一時処置）	12/16	看護助手	28人	1.0時間	心肺停止時に適切な心肺蘇生鵬を行うことができる
看護助手研修（BLSⅠ～急変時の一時処置）	12/16	看護助手	28人	1.0時間	心肺停止時に適切な心肺蘇生鵬を行うことができる
看護助手研修（BLSⅠ～急変時の一時処置）	12/16	看護助手	20人	1.0時間	心肺停止時に適切な心肺蘇生鵬を行うことができる
ケアの受け手の意思決定における権利擁護	12/20	ラダーⅢの承認を目指す者	39人	2.0時間	意志表示が困難なケアの受け手の意思決定における権利擁護について学ぶ
看護管理者としての倫理的感受性を高めよう	12/21	看護師長	26人	1.0時間	スタッフか自部署の倫理的課題を日常的に議論できるよう組織文化を作ることができる
フィジカルアセスメントⅣ（臨床推論）	12/22	ラダーⅡ～Ⅲ	7人	3.5時間	臨床推論プロセスを看護の実践で活用する。
ケアの受け手の自己決定を支える多職種の協働	12/22	ラダーⅡ～Ⅲ	3人	2.0時間	患者のケアのプロセスに応じて、希望に沿ったケアを提供するために、他職種／地域で協働し看護師として行う部Kことや考え方を学ぶ。
BLS研修Ⅳ（急変対応　～チーム蘇生）	1/18	ラダーレベルⅢを目指す者	9人	2.0時間	急変対応に関す津指導的役割が担える。
ケアの受け手の全体像を把握するためのアセスメントの統合	1/21	ラダーレベルⅢを目指す者	9人	2.0時間	ケアの受け手の全体像を把握するために必要なアセスメントの統合方法を学ぶ
ケアの受け手の意思決定における権利擁護	1/24	ラダーレベルⅢを目指す者	16人	2.0時間	意志表示が困難なケアの受け手の意思決定における権利擁護について学ぶ
CVC管理研修（新人･継続承認対象）	1/25	ラダーレベルⅠ以上	62人	1.5時間	中心静脈カテーテル管理の基本的な知識、技術を習得する
CVポート管理研修	1/27	ラダーⅢ～Ⅳ	6人	2.0時間	CVポート管理の基本的知識、穿刺･抜針の技術を習得する

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
高齢者の理解と看護	1/28	ラダーレベルⅠ以上	5人	3.5時間	高齢者に多い疾患や緊急入院する高齢者の特徴を知り、症状アセスメントと看護を考え、日々の看護実践に活かすことができる。
看護と安全1（2年目看護師必須研修）	2/2	2年目看護師	27人	3.5時間	医療安全に関連するインシデント事例方、患者側にたった安全行動がとれているかを振り返ることができる。
新人セルフマネジメントフォロー②	2/7	新人看護師	43人	3.5時間	各時期におけるセルフマネジメントに対する自己の課題を認識し、次のステップに繋げる機会とする
管理者のストレスマネジメント研修	2/8	看護師長	32人	1.0時間	看護師長に必要なストレスマネジメントの知識を学び、職員の支援に活かすことができる。
CVC管理研修（新人・継続承認対象）	2/8	ラダーレベルⅠを目指す者	48人	1.5時間	中心静脈カテーテル管理の基本的な知識、技術を習得する
終末期・看取りの看護Ⅱ～事例検討～	2/8	ラダーレベルⅢ以上	5人	2.0時間	終末期から臨死期における、患者と家族との関係の中で起こりうる倫理的問題について検討し、解決の糸口を見いだす。
ケアの受け手の意思決定における権利擁護	2/9	ラダーレベルⅢ以上	3人	2.0時間	意志表示が困難なケアの受け手の意思決定における権利擁護について学ぶ
認知症対応力向上研修（認知症ケア加算Ⅱ対応研修）	2/11	ラダーレベルⅠ以上	28人	6.3時間	認知症の基本的知識と認知症患者へのアセスメントや看護について学び、認知症患者の視点に立った看護実践に活かすことができる。
看護と安全1（2年目看護師必須研修）	2/15	2年目看護師	25人	3.5時間	医療安全に関連するインシデント事例方、患者側にたった安全行動がとれているかを振り返ることができる。
看護倫理Ⅱ	2/18	ラダーレベルⅡ	18人	4.0時間	看護倫理の基礎知識を学び、日常の看護提供場面における倫理的ジレンマを表現し倫理的課題を検討できる。
新人セルフマネジメントフォロー②	2/21	新人看護師	36人	3.5時間	各時期におけるセルフマネジメントに対する自己の課題を認識し、次のステップに繋げる機会とする
フィジカルアセスメントⅡ＊	2/22	ラダーレベルⅡ	7人	2.0時間	バイタルサインと患者の身体的所見から病態変化を考え、必要な看護を考えることができる
災害看護研修（公開）	2/25	ラダーレベルⅠ以上	6人	3.0時間	災害時の対応方法について基本的な知識を学ぶ。

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
急変予兆（フィジカルアセスメントⅢ）	2/28	ラダーレベルⅢ	24人	4.0時間	急変に結びつく危険な徴候に気づく事ができ、迅速な対応ができる
認知症対応力向上研修（認知症ケア加算Ⅱ対応研修）	3/5	ラダーレベルⅠ以上	28人	6.5時間	認知症の基本的知識と認知症患者へのアセスメントや看護について学び、認知症患者の視点に立った看護実践に活かすことができる。
CVC管理研修（新人・継続承認対象）	3/23	ラダーレベルⅠ以上	1人	1.5時間	中心静脈カテーテル管理の基本的な知識、技術を習得する
「呼吸管理」 公開研修	3/25	ラダーレベルⅠ以上	16人	3.0時間	人工呼吸管理の基本的知識と管理を学び、必要な看護ケアを考える事ができる
放射線部新採用職員医療安全研修	4/6	新採用職員	4人	1.5時間	患者確認方法、インシデント、ドクターコール、感染、職場改善情報等の運用されている取り組み
放射線業務従事者向けの放射線安全取り扱い講習会（継続）	9/27～10/31	放射線技師	106人	1.0時間	当院の医用安全の知識・医療安全演習
患者急変時訓練	9/24	放射線科医師 看護師 放射線技師	10人	1.0時間	透視検査室における患者急変時訓練
患者急変時訓練	9/29	放射線科医師 看護師 放射線技師	10人	1.0時間	一般撮影室における患者急変時訓練
患者急変時訓練	10/15	放射線科医師 看護師 放射線技師	10人	1.0時間	CT検査室における患者急変時訓練
患者急変時訓練	10/20	放射線科医師 看護師 放射線技師	10人	1.0時間	RI検査室における患者急変時訓練
患者急変時訓練	10/22	放射線科医師 看護師 放射線技師	10人	1.0時間	放射線治療室における患者急変時訓練
患者急変時訓練	10/26	放射線科医師 看護師 放射線技師	10人	1.0時間	MR検査室における患者急変時訓練
患者急変時訓練	10/29	放射線科医師 看護師 放射線技師	10人	1.0時間	血管治療室における患者急変時訓練

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
危険予知トレーニング	10/12	放射線技師	4人	1.0時間	一般撮影時の危険予知トレーニング
危険予知トレーニング	3/15	放射線技師	4人	1.0時間	安全確認ポイントの確認。新採用職員のヒヤリハット事例紹介
血管確保研修	9/10、9/13	看護師	85人	40分	薬剤の基礎知識と管理
補助循環装置 定期研修第1回	8/1〜9/30 e-Learning	医師 看護師 臨床工学技士	193人	e-Learning/ 資料配布	当院のECMO装置と回路
補助循環装置 定期研修第2回	12/1〜3/31 e-Learning	医師 看護師 臨床工学技士	188人	e-Learning/ 資料配布	ECMO装置とトラブルシューティング
人工呼吸器 定期研修第1回	7/1〜3/31 e-Learning	医師 看護師 臨床工学技士	474人	e-Learning/ 資料配布	当院の装置・ポータブル機の注意事項
人工呼吸器 定期研修第2回	1/1〜3/31 e-Learning	医師 看護師 臨床工学技士	455人	e-Learning/ 資料配布	マスクフィッティング方法
人工呼吸器 (小児・新生児) 定期研修第1回	7/1〜9/30 e-Learning	医師 看護師 臨床工学技士	95人	e-Learning/ 資料配布	小児用人工呼吸器VN500の機能・使用方法
人工呼吸器 (小児・新生児) 定期研修第2回	1/1〜3/31 e-Learning	医師 看護師 臨床工学技士	89人	e-Learning/ 資料配布	小児用人工呼吸器VN500　HFO入門編
血液浄化装置 定期研修第1回	6/1〜8/31 e-Learning	医師 看護師 臨床工学技士	274人	e-Learning/ 資料配布	HD原理・トラブルシューティング
血液浄化装置 定期研修第2回	1/1〜3/31 e-Learning	医師 看護師 臨床工学技士	255人	e-Learning/ 資料配布	CHDF原理・トラブルシューティング
除細動装置 定期研修第1回	7/8〜2/9 e-Learning	医師 看護師 臨床工学技士	282人	e-Learning/ 資料配布	使用方法・接触抵抗に関する注意事項
除細動装置 定期研修第2回	2/10〜3/31 e-Learning	医師 看護師 臨床工学技士	215人	e-Learning/ 資料配布	同期式・非同期式除細動について

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
閉鎖式保育器 定期研修第1回	6/1～8/31 e-Learning	医師 看護師 臨床工学技士	75人	e-Learning/ 資料配布	閉鎖式保育器概要　Incu iトラブルシューティング
閉鎖式保育器 定期研修第2回	12/1～2/28 e-Learning	医師 看護師 臨床工学技士	73人	e-Learning/ 資料配布	閉鎖式保育器概要　Incu i取扱い
麻酔器 定期研修第1回	7/1～9/30 e-Learning	医師 看護師 臨床工学技士	61人	e-Learning/ 資料配布	麻酔器概要　Flow-i使用方法
麻酔器 定期研修第2回	3/11～3/31 e-Learning	医師 看護師 臨床工学技士	58人	e-Learning/ 資料配布	エイシス7使用方法　トラブルシューティング
新規導入機器研修 除細動器DFM100	4/16～8/31 e-Learning	医師 看護師	837人	e-Learning/ 資料配布	除細動器DFM100取扱い説明
新規導入機器研修 低圧持続吸引器 MS-009	5/1～6/30 e-Learning	看護師 臨床工学技士	622人	e-Learning/ 資料配布	低圧持続吸引器MS-009取扱い説明
新規導入機器研修 血行動態モニタリング装置ヘモスフィア	6/1～9/30 e-Learning	医師 看護師 臨床工学技士	119人	e-Learning	血行動態モニタリング装置ヘモスフィア取扱い説明
新規導入機器研修 シリンジポンプTE-382	7/26～10/31 e-Learning	医師 看護師 臨床工学技士	783人	e-Learning/ 資料配布	シリンジポンプTE-382取扱い説明
新規導入機器研修 搬送用保育器インキュアーチ	9/13～12/31 e-Learning	医師 看護師 臨床工学技士	72人	e-Learning/ 資料配布	搬送用保育器インキュアーチ取扱い説明
新規導入機器研修 血液浄化装置TR-2020	11/15～ 12/31 e-Learning	医師 看護師 臨床工学技士	133人	e-Learning/ 資料配布	血液浄化装置TR-2020取扱い説明
新規導入機器研修 経皮血液ガスモニタ TCM5	2/1～3/31 e-Learning	医師 看護師 臨床工学技士	43人	e-Learning/ 資料配布	経皮血液ガスモニタTCM5取扱い説明
新規導入機器研修 麻酔器Flow-e	3/11～3/31 e-Learning	医師 看護師 臨床工学技士	58人	e-Learning/ 資料配布	麻酔器Flow-e取扱い説明
新規導入機器研修 TE-SS835N	9/3～9/14	医師 看護師 臨床工学技士	58人	15分	スマートポンプ取扱い説明

研修名	開催日	対象者	参加数	研修時間	研修内容
新規導入機器研修 人工呼吸器 HAMILTON-MR1	4/19～4/27	医師 看護師 臨床工学技士	60人	15分	人工呼吸器HAMILTON-MR1取扱い説明
新規導入機器研修 ベッドサイドモニタ DS-8007	4/22～4/23	看護師 臨床工学技士	25人	15分	ベッドサイドモニタDS-8007取扱い説明
新規導入機器研修 血液浄化装置ACH-Σ	5/6～7/19	医師 看護師	109人	15分	血液浄化装置ACH-Σ取扱い説明
新規導入機器研修 血液浄化装置DBB-200Si	5/6～7/19	医師 看護師	109人	15分	血液浄化装置DBB-200Si取扱い説明
新規導入機器研修 高頻度人工呼吸器 IPV-1C	11/5～1/6	医師 看護師 臨床工学技士	56人	10分	高頻度人工呼吸器IPV-1C取扱い説明
新規導入機器研修 人工呼吸器 HAMILTON-C6	4/15～4/22	医師 看護師 臨床工学技士	63人	30分	人工呼吸器HAMILTON-C6取扱い説明

別紙②

【組織図】

病院長

統括安全管理者(副病院長)

医療の質向上・安全管理センター

医療の質向上・安全管理センター長（統括安全管理者・医療安全管理責任者）
医療の質向上・安全管理副センター長（担当課長）

医療の質・安全管理部

医療の質・安全管理部長
（安全管理指導者）
医療安全管理者（看護師）
医療安全管理者（薬剤師）
担当係長（事務）
職員
医師（兼務）
放射線技師（兼務）
臨床工学技士（兼務）
臨床検査技師（兼務）
CRC 担当係長（兼務）
担当課長（副ｾﾝﾀｰ長兼務）
担当課長（総務課長兼務）

高難度新規医療技術評価部

高難度新規医療技術評価部長
高難度新規医療技術評価部員
（医師兼務）

未承認新規医薬品等評価部

未承認新規医薬品等評価部長
未承認新規医薬品等評価部員
（医師兼務）

組織横断的医療チーム

医療放射線安全管理責任者

医療機器安全管理責任者

医薬品安全管理責任者

規則第１条の11第１項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
・ 指針の主な内容： 1. 医療安全管理の基本方針 2. 医療安全管理のための組織体制 3. 報告及び再発防止、医療事故発生時の対応 4. 高難度新規医療技術を用いた医療提供及び未承認新規医薬品等を用いた医療の提供 5. 説明同意による患者・家族と医療従事者間の情報共有 6. 患者からの相談等への対応 7. 医療安全のための職員教育・研修 8. 外部監査、内部通報制度 9. その他医療安全の推進	

②　医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況
・　設置の有無（ (有)・無 ） ・　開催状況：年23回 ・　活動の主な内容： 安全管理対策委員会　（年12回）：院内医療安全の方針を協議決定 リスクマネジャー会議（年11回）：安全管理対策委員会の方針周知、医療安全の推進、安全課題検討、情報交換

③　医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年161回
・　研修の内容（すべて）：別添①参照	

④　医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況
・　医療機関内における事故報告等の整備　（ (有)・無 ） ・　その他の改善のための方策の主な内容： 1. インシデントシステムを用いた院内のインシデント報告の収集を実施。収集したインシデントの課題・問題点を医療の質・安全管理部内（多職種ミーティング）で分析し、QIミーティング等で報告する体制を構築 2. 医療安全に関する規定（指針・ガイドライン・マニュアル）の改正・周知 3. 他施設の医療安全に関するニュースや機構から発出された情報等をリスクマネジャー会議で紹介すると共に、月間医療安全ニュースで院内の職員全員に周知 4. 患者確認の２段階プロセス（患者本人の同定、患者本人と対象物の患者情報の照合）などの、院内全体に繰り返し周知すべき行動について、電子カルテのスクリーンセイバーを利用した周知を実施

5. インシデントの件数、事故報告等は医療機能評価機構へ報告し、広く情報共有する

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の 11 第２項第１号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

①　院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
・ 指針の主な内容： 1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 委員会等の組織に関する基本的事項 3. 職員研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. 院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
②　院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容： 1. 医療関連感染防止等についての検討（COVID-19対策含む） 2. 感染症発生状況の把握 3. 感染症発生時及び防止のための迅速な対応を行うための審議・検討 4. 感染対策マニュアル等の検討 5. 環境ラウンド・感染対策推進部会の活動把握 6. 分離菌、CLABSI, CAUTI,VAE,SSIサーベイランスの把握	
③　従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年33回
・ 研修の内容（すべて）： 1. 感染対策の基本と院内ルールについて（新採用者） 2. 感染対策講演会：『経口抗菌薬～薬局薬剤師からお勧めの逸品たち』『済生会横浜市東部病院の取り組み～新型コロナウイルス感染症対策』（全職員） 3. 感染対策講演会：『がん患者の感染対策』（全職員） 4. 標準予防策（新人看護師・研修医） 5. 静脈注射研修・CVC研修・ミキシング・処置別感染対策（看護師） 6. 療養環境整備について、標準予防策、抗菌薬治療（感染リンクナース会） 7. 清掃業者に対する感染対策・工事業者に対する感染対策（委託業者） 8. 部署の感染対策（ハイケア・放射線部・MEセンター） 9. COVID-19感染対策について（全職種） 10. PPE着脱演習（看護師・救急科医師）	
④　感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備　（ (有)・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 病棟別検出菌発生頻度、材料別菌発生頻度、主要分離菌の検出と推移などの感染レポートを作成している。院内感染対策が必要な耐性菌やウィルス疾患の検査結果が判明した際には、臨床検査部から感染制御部と担当医師に報告され、また、部門システム上からも感染症発生状況を随時把握できる体制がある。また、部署での感染症把握時は、管理者から感染制御部に報告がある。感染制御部部員は、必要時に訪問し状況把握に努め、助言や指導を行い院内感染拡大防止に努めている。また、COVID-19に関連した本部会議が定期的に開催され情報共有や対策を協議している。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： 各部署・部門にて、年間計画に沿った感染対策の取り組み 手指衛生サーベイランス（病棟・外来・中央部門）の実施 感染対策推進部会にて、血液体液曝露の減少に向けた取り組み CLABSI、CAUTI、VAE、SSIの減少にむけた報告や、療養環境整備の取り組み	

感染制御部及び感染対策推進部員の院内ラウンドによる感染対策チェック 抗菌薬適正使用支援のためのモニタリングと積極的な介入

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の11第２項第２号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医薬品安全管理責任者の配置状況	(有)・無
②　従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年4回

・　研修の主な内容：
- 医薬品の安全管理（対象：新採用職員及び転入職員）
- 「麻薬の処方」に関する研修（対象：研修医）
- 「静脈注射」に関する研修（対象：看護師）
- 医薬品安全管理研修
  ―周術期休薬に関連するインシデントを防ぐための新たな取り組み―（対象：全職員）

③　医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

・　手順書の作成　　　　（ (有)・ 無　）
・　手順書の内訳に基づく業務の主な内容：
　　手順書に基づく業務の実施状況を確認するために、リスクマネジャーを通して各棟および部門のチェックリストによる定期確認を行っている（R3年度： 6・10・12・3月）

④　医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・　医薬品に係る情報の収集の整備　　　　（ (有)・ 無　）
＜参考＞薬剤師が情報収集した件数
　62 件（禁忌：36 件、適応外：26 件）
・　未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：
【未承認薬の使用】
- HIV 母子感染予防のためのレトロビルシロップ・注射液の使用

【適応外使用】
- 先天性サイトメガロウイルス感染症に対するバルガンシクロビルの使用
- 妊孕性温存のためのGnRHアナログ療法

・　その他の改善のための方策の主な内容：
院内の体制：
　R2年度までは禁忌・適応外使用について臨床倫理委員会で審議していたが、R3年度から未承認医薬品と共に、未承認新規医薬品等評価部での審議対象とした。
レベル別の審議・モニタリングの構築
　未承認・適応外使用について、使用の根拠、安全性でリスク分類を作成し、院内の審議、審議後のモニタリング体制を構築した。（運用はR4年度から開始）

薬剤師の関与
　未承認新規医薬品等評価部の副評価部長、専門委員として参画している。
　また、薬剤師が収集した情報は、DI室にて①薬剤師が把握した情報等をDI室にて情報を一元管理、②有用性・安全性のエビデンスを調査・評価、③医薬品安全管理責任者と共有の上、④未承認新規医薬品等評価部へ報告している。また、必要に応じて診療科への指導など安全対策も実施した。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の11第２項第３号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療機器安全管理責任者の配置状況	(有)・無
②　従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年　34　回
・　研修の主な内容： 主要7品目（麻酔器を加えた8品目）を中心とした研修を実施 放射線業務従事者向けの放射線安全取扱い講習会 医療機器の使用方法に関する事項 医療機器の使用に関して特に法令上順守すべき事項 新規導入装置についての研修	
③　医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・　医療機器に係る計画の策定　（(有)・無　） ・　機器ごとの保守点検の主な内容： 主要7品目（麻酔器を加えた8品目）を中心とした点検（メーカー点検含む）を実施 医療機器年間保守点検実施計画に則りメーカー点検簿に基づく定期点検の実施 中央管理機器点検計画に則り汎用医療機器の定期点検を実施	
④　医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・　医療機器に係る情報の収集の整備　（(有)・無　） ・　未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：無し ・　その他の改善のための方策の主な内容： 汎用医療機器の安全使用のため管理方法の変更を行った ①　使用前と使用後の機器を明確に区別するため点検・整備識別テープを導入 ②　臨床工学技士による外来医療機器ラウンド実施 ③　日常点検表に基づいた使用者による外来医療機器の日常点検の実施	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第９条の２０の２第１項第１号から第１３号の二に掲げる事項の実施状況

①　医療安全管理責任者の配置状況	有・無
・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 　別添②組織図の通り	
②　専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（7名）・無

③　医薬品安全管理責任者の業務実施状況

・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況

薬剤部医薬品情報管理室（DI）に専任担当者を 3 名配置し、定期的な情報収集・発信を行っている。

【収集・発信情報の例】

・医薬品等安全性情報、添付文書改訂情報、Up to date（適応症の追加などの月刊情報）
　—　年 39 回、全診療科あて通知、院内ポータルに掲示
・医薬品適正使用情報
　—　随時、昨年は 1 回発行
・採用医薬品集
　—　4 月発行、10 月追補版発行、マニュアル等一覧に掲示
・薬事委員会速報
　—　年 12 回、奇数月に速報、偶数月に追補版、院内ポータルに掲示
・禁忌適応外医薬品情報収集報告（DI 室で収集した件数）
　—　62 件
・医薬品安全性情報報告書（PMDA に報告）
　—　25 件

・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況

未承認新規医薬品等評価部を設置し、未承認新規医薬品等評価部の審査を基に未承認新規医薬品評価委員会にて審議・承認し、未承認医薬品等評価部が使用を許可する体制としている。また、使用症例については開始報告、経過観察報告、終了報告を受け、事務局でモニタリングすると共に評価部で共有している。

・担当者の指名の有無（有・無）

・担当者の所属・職種：

（所属：手術部，職種　医師）　（所属：看護部　，職種　看護師）
（所属：ＭＥセンター，職種　臨床工学技士）　（所属：薬剤部　，職種　薬剤師）
（所属：総務課　，職種　事務）

④　医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無　（有・無）	

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 ：ガイドラインに則した監査の実施及び監査結果の報告

⑤　診療録等の管理に関する責任者の選任状況	(有)・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 【確認を行うメンバー】 ・情報管理運営員会メンバー（42 名） ・看護情報管理運営委員会メンバー（24 名） ・診療情報管理士（2 名） 【実施時期】 1 クール 4 ヶ月間で 6 月～3 月までに 3 クール実施 【確認方法】 ①　診療科医師、病棟看護師による自己監査 ②　管理士による事務局監査 ③　情報管理運営委員会メンバーによる第三者監査 ④　その結果を①実施者へフィードバック １か月改善活動、結果報告を繰り返し行う。	
⑥　医療安全管理部門の設置状況	(有)・無
・所属職員　：専従（４）名、専任（３）名、兼任（１３）名 うち医師　：専従（１）名、専任（１）名、兼任（５）名 うち薬剤師：専従（１）名、専任（０）名、兼任（０）名 うち看護師：専従（１）名、専任（１）名、兼任（２）名 （他職種　：専従（１）名、専任（１）名、兼任（６）名（事務、臨床検査技師、放射線技師、臨床工学技士、ＣＲＣ）） （注）報告書を提出する年度の 10 月１日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： 医療に係る安全管理対策の推進、医療に係る安全管理についての情報収集、分析、評価等に関する	

業務を行う。

・安全管理対策委員会、リスクマネジャー会議等の運営

・インシデント、アクシデント発生時の報告管理、再発防止策の検討

・医療安全のための職員教育、研修実施

・説明同意による患者・家族と医療従事者間の情報共有

・患者からの相談等への対応

・外部監査受審

・医療の質・安全に資するモニタリング実施

中心静脈穿刺同意書取得率、中心静脈穿刺早期合併症発症率、中心静脈穿刺 X 線確認実施率、中心静脈穿刺超音波使用率、死亡症例数、手術関連死亡症例数、手術患者の血栓予防率、術後肺血栓症発生率、アレルギー情報入力率、入院患者転倒転落発生率、入院患者転倒転落レベル別発生件数、重要フラグ付き画像診断報告書患者対応実施率、病理結果未確認率、手術部位マーキング忘れ

※　平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
※　医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦　高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（10 件）、及び許可件数（8 件）

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ ㊒・無 ）

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ㊒・無 ）

・活動の主な内容：

1.申請案件の審査

2.申請、審査手続きに関する整備

3.承認された高難度新規医療技術の実施状況の確認（モニタリング）

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ㊒・無 ）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ ㊒・無 ）

⑧　未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（44 件）、及び許可件数（37 件） ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ） ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ） ・活動の主な内容： 1.申請案件の審査 2.申請、審査手続きに関する整備 3.承認された高難度新規医療技術の実施状況の確認（モニタリング） ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ） ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無　（ 有・無 ）
⑨　入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況
・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 251 件（外来死亡、死産除く） ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 578 件（オカレンス 562 件、3b 事例 16 件） ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 全死亡患者の診療記録を原則 24 時間以内に医療の質・安全管理部で確認し、病院長に報告を行う。医療事故に該当する可能性のある死亡及び３ｂ事例に関しては院内医療事故会議を開催し、事例の検討を行い、安全管理対策委員会で報告する。
⑩　他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況
・他の特定機能病院等への立入り（ 有（病院名：防衛医科大学校病院）・無）書面審査 ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ 有（病院名：筑波大学附属病院）・無）書面審査 ・技術的助言の実施状況：助言無し
⑪　当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況
・体制の確保状況 患者相談窓口を設置し、平日時間内の相談に適宜応じている。当事者や部署責任者への連絡を行い、患者説明の調整を行っている。QI ミーティングにて改善に向けた報告を定期的に行っている。 時間外については救急外来事務や病棟看護師で内容を伺い、必要に応じて翌営業日に担当者が対応を

行っている。

⑫　職員研修の実施状況
・研修の実施状況 平成 28 年度に「教職員研修委員会」を設置し、研修年間計画を策定するほか、病院として研修受講歴の一元的な管理に取り組んでいる。 中でも、医療安全講演会(研修会)は年４回開催しており、医療安全の基本的な考え方やインシデント事例をふまえた具体的対策・改善等に関して研修を実施している。各講演会では参加者アンケートを実施しており、学習効果の測定も合わせて行っている。 また、多職種による連携と協働を推進するための取組としては、平成 26 年度から TeamSTEPPS 研修を開催しており、毎年新採用職員を中心に、当院で働くすべての教職員が受講できるようにしているが、令和 2～4 年度については、COVID-19 の影響により集合研修は中止している。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬　管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況
・研修の実施状況 公益財団法人日本医療機能評価機構主催研修（11～２月開催）を受講 後藤　隆久（管理者/病院長）継続５時間　2022 年 2 月 14 日受講 前田　慎（医療安全管理責任者）継続５時間　2022 年 2 月 14 日受講 佐橋　幸子（医薬品安全管理責任者）継続５時間　2022 年 2 月 14 日受講 水野　祐介（医療機器安全管理責任者）継続５時間　2022 年 2 月 14 日受講

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況
・第三者による評価の受審状況 2022 年 1 月に病院機能評価 3rdG:ver.2 認定 ※現状は条件付き認定中で、6 か月以内に確認審査受審予定。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

当院ホームページで公表しています。

・評価を踏まえ講じた措置

2022 年 1 月の認定後も引き続き、指摘項目についてすでに改善策を講じており、改善した効果を院内で経時的に検証中です。

一方で、医師を安全管理指導者、看護師・薬剤部を専従の安全管理者とし、病棟ラウンドやカンファレンスを実施しています。また各部署のリスクマネージャーを中心として部署単位での医療安全活動を行うなど、医療安全に向けた取り組みを引き続き積極的に継続して行っています。

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第７条の２の２第１項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
・ 基準の主な内容 公立大学法人横浜市立大学附属病院長候補者選考基準に関する規程により規定している。 （選考基準） 第２条　候補者となることのできる者は、次に掲げる要件を満たす者とする。 （１）医師免許を有している者 （２）医療安全の確保のために必要な資質及び能力を有している者 （３）組織管理能力等の当該病院を管理運営するうえで必要な資質及び能力を有している者 （４）横浜市立大学附属病院（以下「当院」という。）の使命を遂行するために必要な資質及び能力を有している者 （医療安全） 第３条　前条第２号に定める医療安全の確保のために必要な資質及び能力とは、医療安全管理業務の経験及び患者の安全を第一に考える姿勢及び指導力等をいう。 ２　前項に定める医療安全管理業務とは、次のいずれかの業務をいう。 （１）　医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の業務 （２）医療安全管理委員会の構成員としての業務 （３）医療安全管理部門における業務 （４）その他上記に準ずる業務 （管理運営） 第４条　第２条第３号に定める組織管理能力等の当該病院を管理運営するうえで必要な資質及び能力とは、当院又は当院以外での組織管理経験等、高度な医療を司る特定機能病院を管理運営するうえで必要な資質、能力及び経営改善能力等の資質、能力をいう。 （使命遂行） 第５条　第２条第４号に定める当院の使命を遂行するために必要な資質及び能力とは、当院の理念及び基本方針に掲げる事項を継続的かつ確実に推進する姿勢及び指導力等をいう。

・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 大学ホームページにて公開

規則第７条の３第１項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・無
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	特別の関係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第９条の２３第１項及び第２項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	(有)・無

・合議体の主要な審議内容

病院運営の重要事項に関すること、病院の中期計画、年度計画に関すること、病院の予算・決算に関すること、その他病院長が必要と認めた事項。

・審議の概要の従業者への周知状況

学内（院内）グループウェアへ会議資料（議事録含む）を掲載、各診療科・部門の長へメールで同資料を送付。

・合議体に係る内部規程の公表の有無（　有・(無)　）

・公表の方法

・外部有識者からの意見聴取の有無（　(有)・無　）

合議体の委員名簿

氏名	委員長 （○を付す）	職種	役職
後藤　隆久	○	医師	病院長
田村　功一		医師	副病院長/腎臓・高血圧内科部長
山本　哲哉		医師	副病院長/脳神経外科部長
前田　愼		医師	副病院長/消化器内科部長
濱崎　登代子		看護師	副病院長／看護部長
佐橋　幸子		薬剤師	薬剤部長
林　健一		事務	医学・病院統括部長

規則第１５条の４第１項第１号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限
・　管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ） ・　公表の方法 ・　規程の主な内容 ①公立大学法人横浜市立大学教員管理職規程 ②横浜市立大学附属病院規程 ・　管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割 ①副病院長　役割：病院長を補佐する役割 ②病院長補佐　役割：特定の業務に関して病院長を補佐する役割 ※現在の病院長補佐は２名任命している。 １名は、医療安全に関する業務を補佐する役割を担い、 もう１名は検査体制（臨床検査・病理・輸血）を統括する役割として病院長を補佐している。 ・　病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況 平成30年度から本学で「病院経営の変革に取り組む人材を育成するプログラム」を開始し、令和2年度も当院から将来の病院幹部候補者として6名が参加している。令和3年度は8名が履修した。 また、一般社団法人日本病院経営支援機構が主催する病院経営者（事務長）育成塾に令和２年度から事務職の副課長級が参加している。

規則第１５条の４第１項第２号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	有・無（有に○）

・監査委員会の開催状況：年２回

・活動の主な内容：

前回指摘事項に対する対応状況

医療に係る安全管理の業務状況

医療を受ける立場の方からの視点に基づく監査について

医療安全管理部門の体制比較について

公表に行った医療事項の経過について

・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ 有（○）・ 無 ）

・委員名簿の公表の有無（ 有（○）・ 無 ）

・委員の選定理由の公表の有無（ 有（○）・ 無 ）

・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ 有（○）・ 無 ）

・公表の方法：

大学のHPで公開

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
相馬 孝博	千葉大学医学部附属病院　医療安全管理部	○	医療に係る安全管理に識見を有する者	有・無（無に○）	1
水地 啓子	森法律事務所		医療に係る法律に識見を有する者	有・無（無に○）	1
足立 雅子	病院ボランティア ランパスの会		医療を受ける立場の者	有・無（無に○）	2
寺内　康夫	本学医学部長		その他の学識経験を有する者（内部委員）	有・無（有に○）	1
上野　圭介	法人事務局副局長		その他の医療従事者以外の者（内部委員）	有・無（有に○）	2
				有・無	

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者

2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第１５条の４第１項第３号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況
・体制の整備状況及び活動内容   ・ 専門部署の設置の有無（ 有・無 ）（有に○） ・ 内部規程の整備の有無（ 有・無 ）（有に○） ・ 内部規程の公表の有無（ 有・無 ）（無に○） ・ 公表の方法

規則第１５条の４第１項第３号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 法人の理事長、副理事長および理事により構成される経営審議会を設置しており、法人の経営に関する重要事項を審議している。月１回の開催を原則としており、病院長も理事として参画している。 ・ 会議体の実施状況（　年11回　） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ 有・無　）（　年11回　）（「有」に丸印） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・無　）（「有」に丸印） ・ 公表の方法　大学webサイトに経営審議会議事録を掲載している。
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：
会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 （○を付す）	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

（注）　会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第１５条の４第１項第４号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有・ 無 ） ・通報件数（年 11 件）**※令和 3 年度受付分（医療安全管理関連は“なし”）** ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有・ 無 ） ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有・ 無 ） ・周知の方法 「医療安全アニュアル」「医療安全マニュアルポケット版」に掲載